

ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友 10



2018
OCTOBER
VOL.66 NO.10



歴史でつながる

— 明治150年を記念して —

米山月間
半世紀を超え
受け継がれるバトン

— 新旧理事長対談 —

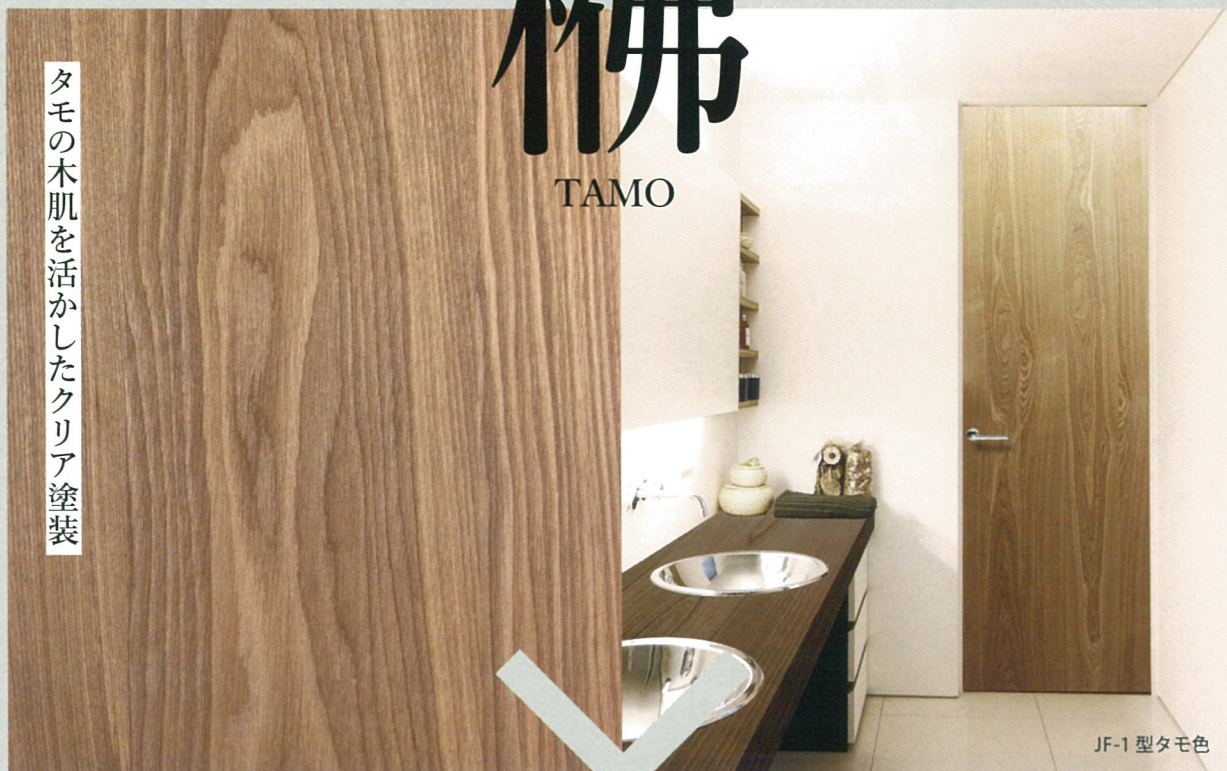
Rotary



拂

TAMO

タモの木肌を活かしたクリア塗装



JF-1 型タモ色

JF-1 型グレインアッシュ色



力強い木目を強調したラステイック仕上げ

FULL HEIGHT DOOR®

フルハイトドア

その美しい木目から家具やフローリングなど、様々な木製品に形を変えて愛されてきた拂（たも）がフルハイトドアのシリーズに登場。素のままの風合いを生かした「タモ」と、より木目を強調して表情豊かに仕上げた「グレインアッシュ」。キャラクターの異なる2つからお選びください。※高さ 2700 mm まで対応可能です。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203 フルハイトドア 検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL www.kamiya-yokohama.co.jp/



フルハイトドアの
神谷コーポレーション



PRESIDENT'S MESSAGE

RI 会長メッセージ



インスピレーションになるう

ロータリアンの皆さま

毎週木曜日の朝、ポリオ撲滅の最新情報に関する E メールが世界保健機関（WHO）から私の元に届きます。このメールには、現在実施している予防接種活動の場所や実施方法、予防接種を受けた子どもたちの数、環境調査により判明したウイルス蔓延の兆候が見られる場所といったポリオに関するさまざまな情報が記載されています。しかし、毎週のことですが、E メールが受信ボックスに届くと、最初の数行に目を通し、その週に野生ポリオウイルスによるまひを発症した子どもがいないと確認するまで、心臓が一瞬止まるような緊張感を覚えます。

皆さん、これが今、私たちがポリオ撲滅に取り組んでいる現状です。E メールを開いた時に私が気になることは、つい最近まで私たちが心配していたような、1 年間にどれだけ多くの患者が発生するのか、ということではありません。知りたいのは、「今週は新しい症例があったのか、それともなかったのか」ということだけです。30 年前までは、毎日 1,000 人もの子どもたちがポリオによるまひを発症していました。それ以降、私たちは年を追うごとに、そして週ごとに進歩を続け、ポリオ撲滅を宣言した数多くの国や地域を祝福してきました。目標の達成に近づくにつれ、新たな患者の発生数も減少の一途をたどっています。この数にも反映されていますが、感染している子どもたちの数も次第に少なくなってきています。木曜日に E メールを開いた時、私が気になるのは、そこに書かれている数字ではなく「今週はまひを発症した子どもはいなかったのか、それともいたのか」、これだけです。

ポリオ撲滅という夢はもう手の届くところにあります。しかし、私たちにはまだまだすべきことがたくさん残っています。

今月、私は全てのロータリークラブに対し、10 月 24 日の世界ポリオデーに合わせ、「End Polio Now」の取り組みを後押しするよう呼び掛けています。昨年は世界各地の何千ものロータリークラブがさまざまなイベントを主催し、ポリオ撲滅の啓蒙活動と募金活動を行いました。そして今年も、世界ポリオデーのイベントの登録数がこれまで以上になることを願っています。もし既にイベントを企画している場合は、endpolio.org に登録して広報し、参加者を増やしましょう。まだイベントを企画していなくても、まだまだ間に合います。endpolio.org では、さまざまなアイデアや、今年のライブ配信に関する情報、イベントを成功に導くリソースを用意しています。ぜひご覧ください。

世界ポリオデーは地域社会でロータリーに光を当て、これまでのポリオ撲滅に関する私たちの取り組みを知ってもらう大きなチャンスです。また、ポリオ撲滅のためにロータリーが集めた金額に対し、その倍額を上乗せする、というビル＆メリンダ・ゲイツ財団の取り組みを生かすことで大きな効果があります。10 月 24 日の世界ポリオデーに、共に参加し、ポリオのない世界を実現するインスピレーションになりましょう。

BARRY RASSIN

2018-19年度 国際ロータリー（RI）会長

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから

RI RI 会長メッセージ 3

RI 会長 バリー・ラシン

特集

歴史でつながる 7

—— 明治 150 年を記念して ——

会津と薩摩、 因縁を超えロータリーが結んだ縁

会津若松西 RC 田中文雄／鹿児島中央 RC 海江田順三郎

大政奉還百五十周年記念植樹事業

京都南 RC 藤本高全

角館戦線の戦友同士の姉妹クラブ交流

角館 RC 高橋佐知

150 年の絆 —— 秋田竿燈、九州・武雄へ

武雄 RC 花田晴年

特集

米山月間

半世紀を超え 受け継がれるバトン 13

—— 新旧理事長対談 ——

海外米山学友会総会日程のお知らせ

ロータリー米山記念奨学会資料

米山梅吉生誕 150 年記念 18

米山梅吉 20 代 アメリカでの 8 年

私の米山梅吉

熊谷 RC 前嶋修身

特集

経済と地域社会の発展月間

ロータリーが目指す 経済と地域社会の発展 21

菜の花と河津桜で開花した町おこし

渥美 RC 川口敏郎

RI Ich bin ein Hamburger 24

—— 私はハンブルグ市民です ——

文 Jenny Llakmani 写真 Samuel Zuder

THE ROTARIAN 9 月号から

People of action around the world 34

世界中で活躍「世界を変える行動人」THE ROTARIAN 10 月号から

第 47 回ロータリー研究会は 神戸の地で開催します 36

RIJYEC から RIJYEM に 37

多地区合同青少年交換プログラム

RIJYEM アドバイザー 近藤真道

NEW GENERATION 38

ローテックス 加藤 光／ローターアクター 小早川拓馬

CLUB INNOVATION 40

アメリカ ラングホーン RC

THE ROTARIAN 10 月号から

- 6 ● ロータリーとは
- 39 ● パズル de ロータリー／詰め碁
- 41 ● エバンストン便り
- 42 ● 財団管理委員長からのメッセージ **RI**
- 43 ● お知らせ IAC 名称変更／新 RAC／広報誌『世界と日本』刊行のご案内／友事務所出版物のオンライン注文が可能に／地区別クラブ数・会員数一覧表／『友』11 月号主要記事予定
- 44 ● 日本ロータリー分布図／奥付
- 45 ● 投稿規定（ご投稿をお待ちしています！）
- 46 ● パズルの答え
- 47 ● 詰め碁の答え／編集部のおとあがき

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



- 本誌中のRCはロータリークラブ、RIは国際ロータリーの略です。
●縦組みの目次は、反対側の表紙を開いたページにあります。●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

10月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です



2019年6月1～5日に国際大会が開かれるドイツ・ハンブルグ。取扱貨物量が年1億3,000万tを超えるハンブルグ港のにぎわいは、エルベ川沿いの住宅街の静けさとは対照的です (P24～33) © Samuel Zuder / Rotary International

ロータリーの友
委員会

委員長 片山 主水 (名古屋東南)
副委員長 鈴木 宏 (宇都宮北)
RI理事 石黒 慶一 (鶴岡西)
RI理事 三木 明 (姫路)

特別顧問 上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
清水 良夫 (横浜)
顧問 柳谷 悦磨 (能代)
田山 雅敏 (上野東)
柳澤 光秋 (高知東)
新本 博司 (那覇)
浅田 豊久 (東京六本木)
板橋 敏雄 (足利東)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)

地区
代表委員 2500 石岡 幸雄 (帯広北)
2510 櫻井 政経 (札幌)
2520 勝部 民男 (盛岡)
2530 佐藤 和子 (福島中央)
2540 加賀 美奈 (大曲)
2550 村上 龍也 (宇都宮西)
2560 米山 智哉 (三条)
2570 矢島 淳一 (本庄)
2770 恵川 一成 (大宮シティ)
2790 椎名 博信 (習志野)
2800 大泉 好 (酒田東)
2820 小貫 啓司 (水戸西)

2830 葛西 敏 (弘前)
2840 市村 信也 (藤岡南)
2580 田村 浩康 (東京臨海)
2590 今村 嘉男 (横浜中)
2600 滝沢義一郎 (駒ヶ根)
2610 堂田 重明 (富山)
2620 佐藤 正幸 (甲府)
2630 若山 雅彦 (岐阜加納)
2750 大日方 真 (東京赤坂)
2760 古田 嘉且 (江南)
2780 中村 辰雄 (相模原南)
2640 竹中 喜廣 (和歌山)

2650 中西 知 (あすか)
2660 木村 芳樹 (大阪南)
2670 三浦 聖人 (観音寺)
2680 松尾 邦光 (加古川中央)
2690 松山 忠造 (岡山)
2700 浦山 隆行 (門司西)
2710 松下 雅人 (尾道)
2720 赤川 治之 (大分中央)
2730 深尾 兼好 (鹿児島西)
2740 遠田 公夫 (佐世保)
編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語らって、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,748、会員総数1,208,448人（2018年8月14日RI公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,258、会員数88,956人（2018年7月末現在）となっています。

2018 - 19 年度 RI テーマ



インスピレーションになろう

BE THE INSPIRATION

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

歴史でつながる

—— 明治 150 年を記念して ——

1868 年 10 月 23 日（新暦）、元号が江戸から明治に改元されてから今年で満 150 年。これを記念し、全国ゆかりの地でさまざまなイベントなどが行われています。

国内で、この明治 150 年にまつわる交流や活動を行っているクラブが数多くあります。歴史ある全国組織ならではのエピソードをご紹介します。

1868



会津と薩摩、因縁を超えロータリーが結んだ縁

戊辰戦争の敵同士という立場を乗り越えて友好クラブ締結に至った、福島県の会津若松西ロータリークラブ（RC）と鹿児島県の鹿児島中央RCの会員の方に、当時の思い、エピソードを伺いました。

ツバキに託す願い

会津若松西RC 田中 文雄

会津には会津藩の子孫が多数。強硬な反対意見も

鹿児島市にある島津家別邸内の仙巖園^{せんがんえん}の丘に、1本のツバキが生えている。この丘からは、もうもうと噴煙を上げる桜島を望むことができる。そばに、このツバキの植樹の由縁を記した小さな看板がある。

「会津と薩摩は戊辰戦争を敵味方に分かれて戦った。その恩讐^{おんしゅう}を離れ、近代日本の礎となった両藩の土風を次代を担う若者たちに伝えていきたい」

看板を設けた福島県会津若松市と鹿児島市の思いがにじむ文だ。このツバキは会津若松西ロータリークラブ（RC）、鹿児島中央RCが1997年に友好クラブを結んだ証しとして、2009年に植樹された。

会津藩の城下町だった会津若松市と、薩摩藩のあった鹿児島市。戊辰戦争では会津が東軍（旧幕府軍）、薩摩が西軍（新政府軍）の主力として戦火を交えた。東軍、西軍の雄藩の拠点だった両市の2クラブが友好の手を結ぶまでには、紆余曲折^{うよくせつ}があった。

鹿児島側で友好クラブの締結に大きな役割を果たした

HISTORY

会津と薩摩

1868（慶応4／明治元）年から翌1869（明治2）年にかけて起きた戊辰戦争は、明治新政府を樹立した薩摩藩・長州藩・土佐藩らを中核とした新政府軍と、旧徳川幕府勢力および奥羽越列藩同盟とが戦った国内戦です。名称は、1868年の干支が「戊辰」であることに由来しています。

戦では多くの血が流され、また戦後処置に関して、敗軍側には大きな痛みが生じました。特に会津の地は、薩摩藩の猛攻を受け城下町がそのまま戦場となり、ほぼ1カ月後には鶴ヶ城も開城となりました。このように苛酷^{かこく}な市街戦を経験したこともあり、時を超え、戊辰戦争の記憶が市民の中に残りました。

会津と鶴岡

戊辰戦争当時、会津藩と現在の鶴岡市が位置する庄内藩は、会津・庄内同盟（会庄同盟^{あいしょう}）を結んだ仲であり、薩摩側からは共に「朝敵」とされ、敗戦後には共に苦杯を喫したという過去があります。

のは、締結当時の1996－97年度の鹿児島中央RC会長で、薩摩藩主を務めた島津家第32代当主・島津修久氏^{のぶひさ}。ちなみに会津側の当時の会長は、私である。

1996年、鹿児島中央RCから友好交流の打診を受けた時は、会員の一部から強硬な反対意見が上がった。会員の理解を得るのが困難なのは、火を見るよりも明らかだった。当時の会員76人のうち、20人ほどは戊辰戦争で薩摩藩と戦火を交えた会津藩士の子孫だった。

自分は粘り強く説いた。「和解しようというのではない。次の時代を担う人たちのためにも交流に向け、長年閉ざされてきた門を開きたい。会津であろうと鹿児島であろうと、同じ日本人ではないか」。因縁をこれ以上、引きずるべきではないと考えた。そして、反対や批判の声に静かに耳を傾け、「それでもなお異論があれば、直接自分に申し出てほしい」と訴えた。以降、反対の声は出なくなった。

そして1997年1月、会津若松西RCから17人が鹿児島を訪問し、友好クラブを締結。2009年の冒頭の鹿児島でのツバキ植樹に続き、2010年には会津若松市内で、新政府軍の将兵が眠る西軍墓地にもツバキを植樹した。約1,100km離れた2つの町のツバキの成長を見ながら、交流の輪をますます広げたいと考えている。

時を経て友好を築き、協同奉仕も——これぞロータリー

実は会津の私たちは、山形県の鶴岡西RCの石黒慶一会員（現・国際ロータリー理事）との出会いを機に、1991年にかつての盟友、庄内にある鶴岡西RCとも友好クラブを締結した。



会津若松市の西軍墓地内に2クラブが記念植樹（2010年4月）



調印式で署名を終え、握手の手を掲げる鹿児島中央RCの島津会長（左）と会津若松西RCの田中会長（1997年1月）



大熊町に「絆号」を贈呈（2014年4月）



鹿児島中央RC会員が会津若松市内の西軍墓を訪問（2014年4月）



戊辰戦争の激戦地・鶴ヶ城で（2011年10月）



2011年の東日本大震災の後、会津若松市は福島県大熊町の避難住民を受け入れた。以後3年間、義援金、物資、軽ワゴン車などを鶴岡西RC、鹿児島中央RC、会津若松西RCが協同で寄贈したのである。

いずれも戊辰戦争を契機とした縁。時を経て、友好クラブを結び、交流を広めていくことができる。これまさに「ビバ！ ロータリー」である。

（第2530地区 福島県）

怨讐を超えて友好クラブを結成

鹿児島中央RC 海江田順三郎

ロータリアン同士なら会津の人とも仲良くなれる

「学生時代、下宿の友人から『君は会津の人に、僕は鹿児島人だ、と言わないほうがよい』と注意されていたけれども、ロータリアン同士なら、会津の人とも仲良くなれると思う」という鹿児島中央RCのさる会合での東北大学出身の今村勉会員（当時）の発言をきっかけに、会津のクラブと友好クラブを結成できるだろうか、という話になり、会員の同意を得た。

1996－97年度の第2730地区ガバナーを務めることになった私は、ガバナーエレクトとして1996年2月、国際協議会に参加した。その時、第2530地区の初瀬行雄ガバナーエレクト（福島県・郡山RC）に、私たちのクラブと友好クラブの縁を結んでくれる会津のクラブの推薦と、その盟約の仲介をお願いした。

「大変難しいが、やってみます」

引き受けていただいてから半年が過ぎたころ、初瀬氏から「会津若松西RCを訪問してください」との指示を受けた。当クラブの島津修久会長、中原勲幹事、わが地区の大津篤造パストガバナーと私の4人が会津に向向

き、先方の例会に出席。改めて友好クラブの申し入れを行った。

会長が島津家第32代当主。「交流に不足はない」

ほどなくして、会津若松西RCの田中文雄会長が鹿児島を来訪され、「当方のクラブでは『戊辰の仇敵・鹿児島島のクラブと友好クラブになるとはいかなものか』と異論もありました。しかしながら、『過去の怨讐を乗り越えてロータリーの友情の絆を結ぼう』と、会長として説得に努めた結果、『鹿児島中央RCの島津会長が島津家第32代の当主であれば、戊辰後の交流に不足はない』と賛意も多くなり、鹿児島側の申し入れを受けることに決定しました」と表明された。

こうして1997年1月、ちょうど創立20周年を迎えたわがクラブの記念式典で会津若松西RCとの友好クラブ盟約式を実施。田中・島津両会長がにこやかに握手を交わすと、会場は万雷の拍手に包まれた。

以後、両クラブ間では周年行事の相互訪問、会津若松・鹿児島市内での記念植樹を行ったほか、毎回研究テーマを決めたテレビ合同例会も実施している（これまでの



会津若松市役所を訪問、室井照平市長（左）に義援金を贈呈（2011年10月）



会津若松西RCが鹿児島を訪問。仙巖園を案内（2000年2月）

テーマは「会津の日新館と薩摩の郷中教育」*「大山巖と山川捨松」*「会津の酒と鹿児島焼酎」*「朝河寛一と入来文書」*など。東日本大震災が起きてからは、特に福島県大熊町への協同支援などを行った。今後は、双方の青少年交流事業や、戊辰150年を回顧する事業などの実施を望んでいる。

最後になるが、両クラブの盟約に仲介の労を惜しまれなかった今は亡き初瀬パストガバナーに、心からの謝意と弔意を表したい。

（第2730地区 鹿児島県 1996 - 97年度ガバナー）



会津若松西RC創立35年式典で。海江田氏夫妻（右2人）と、友好クラブを仲介した第2530地区・初瀬行雄パストガバナー

Annotation

日新館：1803（享和3）年に創られた会津藩の藩校。日本最古のプールといわれる水練場や、天文台も備わっていました。白虎隊の少年たちなどが学び、多くの人材を輩出しましたが、1868（慶応4）年、戊辰戦争により消失。

郷中教育：薩摩藩士の子弟教育法。郷中とは「方限（ほうぎり）」と呼ばれる自治組織のことで、今の町内会単位の自治会組織に相当します。城下には数十戸を単位として、約30ほどの郷中があったと言われています。

大山巖（1842～1916）：薩摩藩士。西郷隆盛のいここに当たり、明治政府で軍人・政治家として活躍。

山川捨松（1860～1919）：会津藩家老の娘として生まれ、津田梅子らと一緒に官費留学後「鹿鳴館の花」に。大山巖夫人。

朝河寛一（1873～1948）：歴史学者、エール大学教授。日本とヨーロッパ封建制研究で知られました。「入来文書」とは「入院家文書」として薩摩国入来院の地頭に伝来した古文書で、1929年、朝河により英訳付きで刊行され国際的に注目を浴びた史料。

大政奉還百五十周年記念植樹事業

京都南RC 藤本 高全

1867年11月9日（慶応3年10月14日）、15代将軍・徳川慶喜が京都の二条城の大広間で政権返上を朝廷に申し入れ、翌日受諾されました。この大政奉還150周年を記念して、京都南RCは、世界遺産にもなった二条城の北側



に広がる桜の庭園に、樹高5mのソメイヨシノを2本植栽。また、その桜を両側に見ることが出来る桜のトンネルの通路に、訪れた観光客が休憩してくつろげる、御影石製ベンチ5基を寄贈・設置しました。

2017年12月4日、門川大作京都市長を招き、植樹式と贈呈式を行いました。クラブでは二条城への樹木の植栽を継続的に続け、一層の景観の充実を計画しています。

（第2650地区 京都府）



角館戦線の戦友同士の姉妹クラブ交流

角館 R C 高橋 佐知



角館・常光院で戦没者を追悼(1998年10月)

締結30周年を記念モニュメントを建立(2010年10月)



大村公園内の濱田勤吾像を訪ねる(1997年11月)

秋田藩は、戊辰戦争時の角館戦線において、長崎県の大村藩と戦友の関係にありました。この縁で、角館 R C は大村 R C (第2740地区・長崎県)と、38年間にわたり姉妹クラブ交流を続けております。

交流の節目の年には、会員同士のお互いのクラブへの訪問や記念モニュメントの制作などを行い、当クラブにおいてクラブ奉仕、社会奉仕の要の活動になっています。2010年には姉妹クラブ締結30周年を記念し、モニュメントを大村神社境内の入り口付近に設置しました。

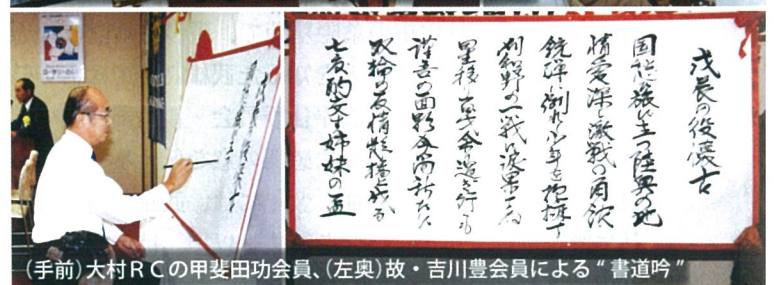
「二葉より 手くれ水くれ待つ花の 君が御為に咲けやこの時」。この歌は当時、15歳で角館に散った大村藩士の濱田謹吾少年の母が、大村からの出陣の折に贈ったものとして、同少年の墓石にも刻まれています。

明治維新から150年を数える今年、現在まで当たり前のように行われてきた、官軍からの視点に偏りがちだった教育にも、疑問の声が発せられるようになってきました。昨今、私たちは戦う大義も知らされないまま、藩命を固持しながら命を落とした少年に、平和の大切さを再認識させられるばかりです。

汗牛充棟な戊辰戦争の歴史書や、郷土史書では学ぶこ



1983年2月、角館での締結再調印式。かまくらも経験



(手前)大村 R C の甲斐田功会員、(左奥)故・吉川豊会員による「書道吟」

とのできない、ロータリーの姉妹クラブを通じての歴史交流が、今後も続けられることを願ってやみません。

(第2540地区 秋田県)

写真提供:大村ロータリークラブ

HISTORY

角館と大村

戊辰戦争時、奥羽地方に新政府軍が侵攻してきました。奥羽諸藩は「奥羽列藩同盟」を盟約しましたが、秋田藩はそこから離脱。これに対し、庄内藩などが秋田藩を攻撃、その激戦は秋田・角館の地で行われました。

1868(明治元)年7月、秋田藩への加勢として大村藩(現在は長崎県)の総勢326人が東北へ出発。この中に15歳の濱田謹吾少年がいました。各地を転戦するも、9月14~15日の刈野の戦いで、彼は壮烈な戦死を遂げました。血で染まった衣服の襟には、母がわが子の出征を励ますために書きしるした歌「二葉より……」が縫い込んであり、これを見た角館の人々は心を打たれ、少年を手厚く葬りました。

1935(昭和10)年ごろ、角館の皆さんにより、常光院内官軍墓地にこの歌碑が建てられました。この縁で、1979(昭和54)年、秋田県角館町と大村市は姉妹都市を結び、友好を深めています。謹吾少年の故郷・大村公園内にも、鼓手姿の像が建てられています。

150年の絆——秋田竿燈、九州・武雄へ

武雄RC 花田 晴年

明治150年の今年、東北・秋田の「竿燈まつり」が九州・佐賀の武雄へやって来た。5月12日開催の「秋田竿燈まつり I N 武雄」である。人口約5万人の武雄の街は、8万人を超える人波で埋め尽くされた。



しなる竿燈の先頭に立った穂積志秋田市長は「150年前、武雄の皆さんのおかげで、秋田は戦火を免れました」と集まった見物客を前に語った。戊辰戦争では孤立した秋田藩を救うべく、最新鋭の阿姆斯特朗砲を携えて出征した佐賀藩の武雄隊が、陥落寸前の秋田を守ったという史実がある。150年の時を超えて続く秋田と武雄の交流、この大きな成果を導いたのは、実はわが武雄RCである。

毎年10月、秋田市の葉隠墓苑で、戦没佐賀藩士の慰霊祭が続けられていることを知った武雄RCでは、当時（2009－10年度）の社会奉仕委員会・親睦委員会の協同事業として、秋田の人々に感謝の意を伝えるべく、会員二十数人が慰霊祭に参加。翌年には、武雄市内の各団体に呼び掛けて市民墓参団を結成。以後、毎年訪秋して秋田の人々との交流を深めてきた。

その後も秋田市長の慰霊祭参列、武雄市長の墓参、と年々交流が広がり、2年前には武雄RCの仲立ちで、秋田において両市長が会談。両市の交流事業として、明治150年に当たる2018年、「秋田竿燈まつり I N 武雄」開催が決定した。

ロータリークラブの枠を超えた交流が両市の市長を動



左：戊辰の役戦没佐賀藩士慰霊団から「戊辰の桜」が武雄市に贈られた。今回、武雄RCが武雄市新庁舎に植樹 右：その新市庁舎前で、初披露された秋田の竿燈まつり 下：秋田市内・葉隠墓苑を墓参

かし、武雄市や近郊を巻き込んでの大きな興奮と感動を生み出す契機となったのである。今回、秋田から贈られ「戊辰の桜」と名付けられたヤマザクラの樹が、竿燈会場となった武雄市新市庁舎の一角に植えられ、両市の150年来の報恩と感謝の絆を見守っている。

（第2740地区 佐賀県）

HISTORY

武雄と秋田の関わり

戊辰戦争には、現在の佐賀県武雄市に相当する佐賀藩武雄領から800～1,000人の「武雄隊」が、新政府軍の一員としてはるばる九州から羽州（秋田）へ赴き、旧幕府軍と戦いました。武雄領では、早くから西洋式兵術を導入しており、当時としては最新式の軍備が整っていたことが、新政府軍や朝廷に期待されたのです。

この時の戦いを「羽州戦争」と称するように、武雄の軍勢は秋田、山形を転戦しますが、東北の地での武雄の戦病死者は、14人を数えました。秋田市では今も、異郷で亡くなった武雄の人々への慰霊が続けられ、武雄市との交流が深まっています。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 ロータリー日本国内全地区合同プロジェクト



半世紀を超え受け継がれるバトン

—— 新旧理事長対談 ——

2018年9月、米山記念奨学会の理事の改選が行われ、2014年から理事長を務めた小沢一彦氏に代わって、直前国際ロータリー（R I）理事の斎藤直美氏が第7代米山記念奨学会理事長に就任しました。奨学会は昨年、財団設立50年を迎え、今年は次の100年に向けた一歩を踏み出しました。今回は米山月間特集として、新旧理事長に、米山のこれまでと、今後の課題、抱負について語っていただきました。聞き手・岩邊俊久（米山記念奨学会事務局長）



斎藤 直美（＝写真右）

1938年生まれ。豊田RC会員。2006－07年度第2760地区（愛知県）ガバナー。16－18年度R I理事。18年から米山記念奨学会理事、18年9月に理事長就任。

小沢 一彦（＝写真左）

1937年生まれ。横須賀RC会員。2000－01年度第2780地区（神奈川県）ガバナー。07－09年度R I理事。13年から米山記念奨学会理事、14年から理事長。現・名誉理事長。

4年間を振り返って

岩邊 まず、4年間を振り返っての感想を、小沢前理事長にお伺いしたいと思います。

小沢 米山の事業に最初に携わったのは今から19年前、ガバナーエレクトとして評議員になった時でした。その当時は年間約1,100人の奨学生がいましたが、理事長に就任した4年前は、700人台に減少していました。過去最高で年間20億円集まった寄付金も、12億円くらいしか集まらない。正直、「これは大変なところに来たな」と思いました。なぜ、このような状況に陥ったかという、日本経済が右肩上がりの時代と同じやり方をしているのではないかと。ですから、新しい時代に合わせてやっていけるように、変えるべきことは全て変えようと思いました。その代わり、4年しかやらないと最初から決めて、4年間で必ずそれを成し遂げる。それが、理事長就任に当たっての決意でした。

岩邊 その後、米山の歴史にとっても画期的な出来事が続きました。特に、2014年のR I理事会で「学友」の定義が拡大され、米山学友も「ロータリー学友」の一員として認められたのを機に、米山学友の存在感が増したように思います。それについては、どのように捉えていますか。

小沢 事業に携わるほどに「学友が米山の財産である」との思いが強くなりました。奨学生として面倒を見るのは1～2年のことですが、彼らは永久に日本の、そしてロータリーの理解者になる。これは、手放してはいけない米山の財産であり、彼らを活用していかなければならないと、皆さんに訴えてきました。そのために私は、米山学友をロータリーの学友にしたかった。そうすることで、彼らに世界への扉を開き、いろいろな機会を与えたかった。R Iの理事会が認めてくれたことは、米山にとって大きな一歩でした。

岩邊 2016年のソウル国際大会には、ロータリー学友

として世界中から多くの米山学友が参加しました。

小沢 ソウル国際大会で、初めて米山記念奨学会の分科会を開催することができ、米山学友がたくさん集まってくれました。他のR Iのプログラムから参加した学友よりも、はるかに多かったと聞いています。世界のロータリアンが米山の存在にびっくりしたのではないのでしょうか。たまたま私がソウル国際大会の共同委員長だったこともあり、タイミングが良くて、自分としても納得のいく成果だったと思っています。その年度のロータリー研究会では、よねやま親善大使を務める学友4人が登壇して、ロータリーモメントのスピーチをしたところ、海外から出席していたR I会長や財団管理委員長らが「米山記念奨学事業の英語の資料がほしい」と言い出し、急ぎよ資料を配ったりもしました。これも、米山を世界に知らせる良い機会になったと思います。

20年以上にわたる米山との縁

岩邊 それでは、小沢前理事長からバトンを受け取られた斎藤新理事長にお伺いしたいと思います。これまでの米山との関わりをまずお話し願えますか。

斎藤 僕の米山との関わりは、地区の大先輩だった故・加納泉パストガバナーとのご縁で始まりました。加納先生は、同じ大学の先輩であり、学生時代、加納先生から産婦人科の講義を受けたこともありました。先生は長年にわたって、第2760地区の米山理事を務めており、非常に熱心に米山記念奨学事業に取り組んでおられた。加納先生がガバナーの時（1991－92年度）に「斎藤、来い」と、より広くロータリーを学ぶ機会を得て、その際、米山の事業にも関心を持つようになりました。

岩邊 当時は、米山記念奨学事業のことをどのようにご覧になっていましたか。

斎藤 「そこまでやるのか」と思うくらい、奨学生を大事にしていましたね。ただ、うちのクラブでも失敗例がありました。至れり尽くせりになってしまうことがあり、地区では「そんなに甘やかすな」「特別扱いするな」と、反省の声が上がりました。その軌道修正をしたのも加納先生です。特定の奨学生を大事にするのではなく、地区にいる奨学生、そして学友もひっくるめて全員を大事に育てようと。忘年会や研修旅行などを実施して、地区全体で、米山奨学生・学友との関わりを広げ、つながりを強くする土台づくりに取り組むようになりました。

岩邊 ご自身の、米山奨学生との思い出はありますか。

斎藤 僕もカウンセラーをしたんですよ。中国出身の韓^{ハン}君という名古屋大学医学部の学生を米山奨学生として受け入れることになり、「同じ整形外科だから、カウ

ンセラーをやってくれ」と頼まれまして。彼が素晴らしい青年だったので、「こういう子を育てたご両親に会ってみたい」と、妻と一緒に、故郷の天津にも行きました。彼はその後、名古屋大学で博士号を取り、アメリカのフィラデルフィアにあるトーマス・ジェファーソン大学の研究所に移りました。そこで北京大学を出た才媛の奥さんと出会って結婚し、男の子が生まれたというので、かぶととこいのぼりを持って、また、妻と一緒にフィラデルフィアまでお祝いに行きました。確か、米山記念奨学会が博士号を取得した学生に贈っている腕時計も持っていましたよ。

岩邊 斎藤理事長の行動力もすごいですね。

斎藤 彼が奨学生だったのはもう20年以上前で、現在は天津医科大学国際医学院の院長となっていますが、今に至るまでずっと付き合いが続いています。彼のような学友の活躍を見るにつけ、今後一層、学友への支援を強化していきたいと思いますね。特に、故郷に戻った学友たちが奉仕の精神を発揮して活動を始めた場合、それを支援するのも今後の大きな仕事ではないかと。その意味で、全世界の学友会や学友ネットワークへのてこ入れもしていきたいと考えています。

小沢 海外米山学友会はこの4年で4つ増え、現在は9団体になっています。在任中、地震の影響から総会が定期開催されなかったネパールを除いて、他の全ての海外学友会の総会に参加してきました。斎藤さんにも、ぜひ地区やクラブの仲間を誘って、海外の学友会に出かけてもらいたいと思います。

少しずつでも全員から支援を

岩邊 他に、斎藤理事長が今後の課題と思われることは何でしょうか。

斎藤 小沢さんもそうだったと思いますが、やはり年間約14億円で動いているこの事業の原資として、米山へのご寄付を続けていただくにはどうしたらいいか、というのが一番の心配事であり、課題だと思います。

小沢 寄付は決して強要するものではありませんからね。あくまでも善意の自由意思によるものでなければならぬ。ですから、名古屋名東ロータリークラブの坂本精志さんから、経営する（株）ホシザキの株式を米山に寄付したいとの申し出をいただいたのを機に、さまざまな議論を経て、有価証券も受けられるよう、定款を改正しました。検討した結果、公益事業を営む団体を支援するために、坂本さんが設立された坂本ドネイション・ファウンデーション（株）の株式を譲渡してもらって、その配当金を奨学金に使っていくことになりました。

岩邊 これまで現金に限っていた寄付を、有価証券にも広げるには、慎重な意見もありました。

小沢 「育てていただいた社会に全てお返ししたい」と言う坂本さんだからこそ受けた話でもあります。坂本さんは3人の米山奨学生のカウンセラーをしてこられて、「決して皆が素晴らしい学生だったわけではない。それでもこの事業は、ロータリーにとって、そして日本にとって、非常に価値があると思う」と、米山の意義を深く理解してくださっている。これまでに個人・法人寄付を合わせて、2億4,600万円もの寄付を米山にしてくださっています。こんな方は他にいません。とはいえ、今回はあくまでも特別なケースであり、本来は全国約9万人の会員から少しずつでもご寄付いただくのが理想です。寄付をすることによって、会員に参画してもらい、関心を持ってもらうのが、この事業の本質であると考えています。

「足で稼ぐ」フットワークを生かして

岩邊 それでは最後に、小沢前理事長から、後を託される斎藤理事長へのエールをお願いします。

小沢 4年という短い期間でしたが、事務局の体制も含めて、新しい時代に通用する米山に変えてきたつもりです。あとは斎藤さんが軌道に乗せていってくればいい。改革を仕上げていくのはさらに大変な仕事だから、斎藤さんには最低6年は頑張ってもらいたい。これは、あなたのような人柄でなければできないことだと思っています。

岩邊 小沢前理事長からのエールを受けて、あらためて斎藤理事長から抱負をお聞かせください。

斎藤 僕は小沢さんのように大胆に改革する力も実績もないので、やはり、皆さんの意見を聞きながら、そして、協力を仰ぎながら進めていこうと思っています。今、「しっかり維持して、軌道に乗せてくれ」との申し伝えを受けましたので、急な変化は起こせないかもしれませんが、最も得意とする「足で稼ぐ」でいこうかと。フットワークがいいのが僕の特長ですので、全国の地区米山記念奨学委員長のセミナーとか、海外学友会総会とか、どこにでも出掛けていって、そこで得た情報や意見を全国に広め、地区やクラブにつないでいく。それが最初の仕事かなと思っています。また、会員が米山を十分に理解していないというのは、長年の最大の課題ですので、もっと米山に関する発言の場を求めて、きちんと伝えていく。そのためには、小沢前理事長や事務局長、理事・監事、評議員の皆さんからいろいろなアドバイスやアイデアをいただいて、取り組んでいきたいと思っています。

岩邊 本日は、どうもありがとうございました。

海外米山学友会 総会日程のお知らせ



海外米山学友会では、日本のロータリアンの来訪を歓迎しています。毎年、米山学友たちとの交流を楽しみに、リピーターとなって参加する会員がいます。初めて参加した会員からも「まるで所属クラブの例会のような安心感で、初対面の学友とも会話が弾みました」と好評です。母国に帰った米山学友たちの活躍を知り、年月を経ても変わらぬ日本やロータリーへの思いを感じて、米山記念奨学事業の意義を実感していただける機会です。ご興味のある方は、ぜひお出掛けください。問い合わせは、米山記念奨学会（横組みP17参照）までお気軽にどうぞ。

【海外米山学友会 各総会日程】※確定分

- ★ 韓国 2018年11月17日（土）
- ★ 台湾 2018年12月1日（土）
- ★ マレーシア 2019年2月24日（日）
- ★ ミャンマー 2019年3月3日（日）

速報！

「絆 in モンゴル」開催

昨夏、国内外から米山学友、ロータリアンが大集合して開催された「感謝 in 熊本」。その第2弾となる「絆 in モンゴル」がモンゴル・ウランバートル市内で下記の通り開催されます。モンゴル米山学友会がホストを務め、同学友はもちろん、世界各地から集まる米山学友と日本のロータリアンが交流する一大イベントです。奮ってご参加ください。

【日時】2019年

7月27日（土）

式典：14～17時

懇親会：19～22時

※翌28日にはモンゴル米山学友会主催の歓迎行事として、遊牧祭を実施する予定です。

【会費】ロータリアン：1万円／米山学友・奨学生：5,000円（※渡航費など別途必要）

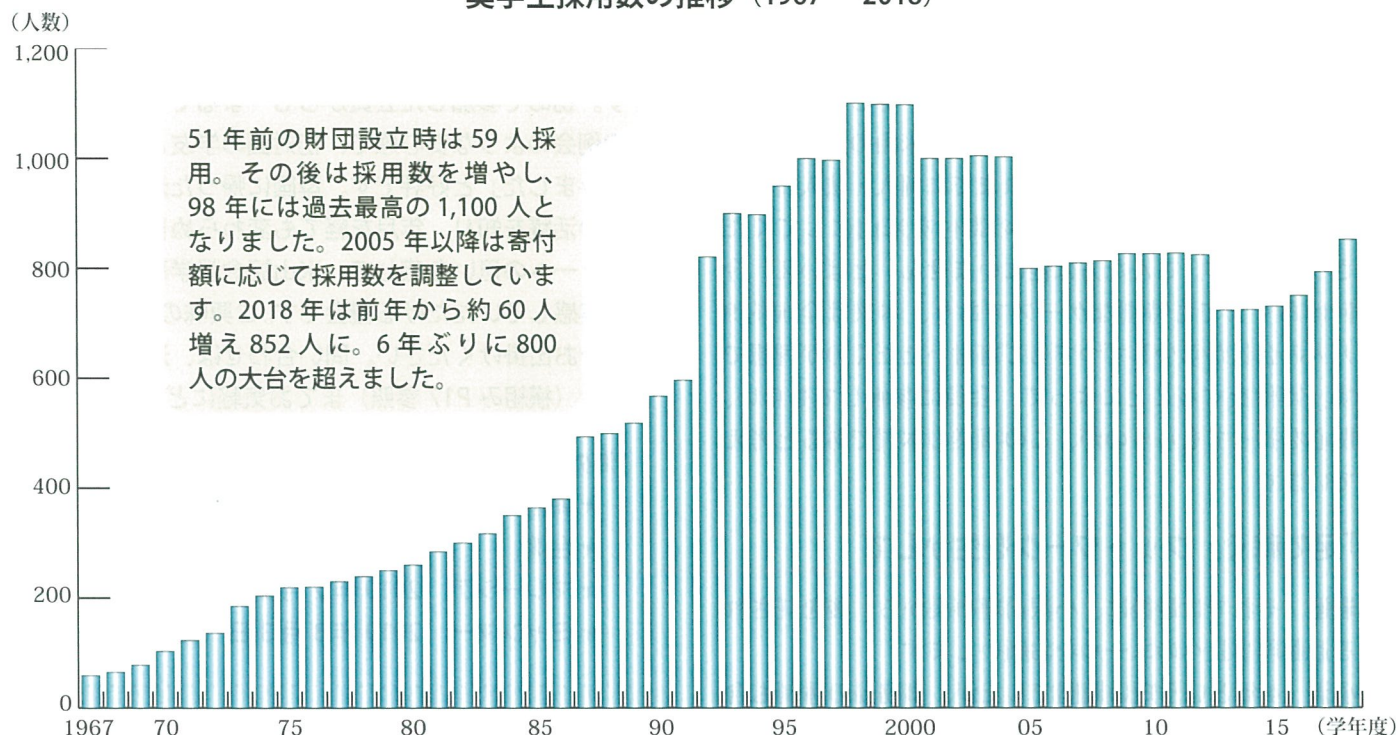
【問い合わせ】実行委員会・幹事（ボロルマー）

E-mail：mongolianyoneyama@gmail.com



ロータリー米山記念奨学会資料

奨学生採用数の推移（1967 - 2018）



理事および監事（2018年9月現在）

理事は、採用数の決定や事業の計画、予算策定など。監事は、理事の職務執行の監査などを行っています。

理事長	斎藤 直美 (2760)				
副理事長	堀 東男 (2820)	若林 紀男 (2660)			
常務理事	武田 和夫 (2800)	山崎 淳一 (2830)	水野 功 (2750)	滝澤 功治 (2680)	
理事	柴田 和明 (2500)	塚原 房樹 (2510)	皆川 清 (2520)	大橋 廣治 (2530)	村上 勘一 (2540)
	飯村 慎一 (2550)	新保 清久 (2560)	加藤 玄静 (2570)	井橋 吉一 (2770)	関口 徳雄 (2790)
	高木貞一郎 (2840)	鈴木 孝雄 (2580)	大野 清一 (2590)	島田甲子雄 (2600)	中川可能作 (2610)
	井上 雅雄 (2620)	村橋 元 (2630)	後藤 定毅 (2780)	前窪 貫志 (2640)	栗田 幸雄 (2650)
	須之内淳二 (2670)	森田昭一郎 (2690)	安増 惇夫 (2700)	天野 肇 (2710)	岡村 泰岳 (2720)
	秦 喜八郎 (2730)	駒井 英基 (2740)			
監事	真下 和男 (2570)	森島 庸吉 (2790)	浅川 皓司 (2580)		
名誉理事長	末永 直行 (2700)	板橋 敏雄 (2550)	小沢 一彦 (2780)		
事務局長	岩邊 俊久				

評議員は、理事の業務を監督し、理事・監事の選任と解任、定款変更や決算の承認などの役割を担っています。

評議員（2018年9月現在）

評議員	成瀬 則之 (2500)	渡邊 恭久 (2510)	小野寺則雄 (2520)	味戸 道雄 (2530)	佐藤 博明 (2540)
	比企 達男 (2550)	石本隆太郎 (2560)	立原 雅夫 (2570)	三國 明 (2770)	得居 仁 (2790)
	新関彌一郎 (2800)	長谷川國雄 (2820)	松本 康子 (2830)	竹内 正幸 (2840)	石川 正一 (2580)
	市川緋佐磨 (2590)	宮坂 宥洪 (2600)	高柳 功 (2610)	積 惟貞 (2620)	桑月 心 (2630)
	坂本 俊雄 (2750)	田中 正規 (2760)	仲田 昌弘 (2780)	成川 守彦 (2640)	橋本 長平 (2650)
	高島 凱夫 (2660)	稲山 三治 (2670)	柴田 整宏 (2680)	庄司 尚史 (2690)	吉田 知弘 (2700)
	沖田 哲義 (2710)	赤山 武興 (2720)	伊藤 学而 (2730)	宮崎 清彰 (2740)	

地区別寄付額・功労者数・奨学生数

地区	寄付額			功労者数（人）		特別寄付金 寄付者割合 （個人）	奨学生数（人）	
	2017－18 年度（円）	個人平均（円）	累計（千円）	2017－18 年度	対前年度 増減		2018 学年度	累計
2500	15,356,000	6,682	637,757	67	5	19.5%	11	160
2510	29,777,456	11,457	1,140,869	139	27	40.5%	17	446
2520	18,069,055	7,856	836,957	79	－ 10	18.6%	13	571
2530	32,331,390	13,460	990,967	148	19	48.1%	19	312
2540	11,129,641	9,788	358,694	29	0	30.4%	8	172
2550	43,781,175	24,777	1,380,530	184	5	71.7%	22	671
2560	38,353,971	18,006	1,269,682	190	10	66.5%	27	440
2570	19,707,365	12,031	1,189,596	82	－ 8	35.3%	15	514
2770	68,535,716	26,079	2,425,541	217	14	72.2%	36	761
2790	41,519,215	14,686	1,791,597	340	－ 22	34.9%	27	667
2800	17,735,136	11,029	588,083	119	－ 1	40.9%	12	216
2820	48,645,292	24,580	1,789,120	107	－ 73	76.3%	31	904
2830	11,093,400	9,229	371,021	159	－ 2	44.0%	11	150
2840	45,937,465	21,771	1,244,670	132	24	83.4%	23	384
2580	58,418,530	19,147	2,513,827	142	24	23.4%	35	1,499
2590	64,539,000	31,193	2,503,250	570	－ 5	78.6%	37	941
2600	27,198,418	13,757	1,417,808	526	65	20.2%	17	427
2610	36,805,950	13,728	1,326,883	148	－ 4	27.6%	24	453
2620	43,865,910	14,410	1,622,561	190	11	68.3%	25	469
2630	33,786,202	10,621	1,793,762	156	－ 29	44.4%	16	441
2750	81,203,278	18,029	3,391,348	133	－ 4	36.1%	48	1,353
2760	65,903,525	13,493	3,169,150	201	27	29.1%	54	880
2780	53,752,460	22,632	2,072,540	69	－ 11	79.5%	32	634
2640	26,937,500	14,282	2,380,416	73	－ 6	45.0%	17	677
2650	109,224,177	23,453	4,608,881	138	17	82.6%	50	1,205
2660	96,344,075	26,424	3,700,472	302	－ 31	73.7%	48	1,055
2670	43,302,240	14,178	1,418,219	288	－ 43	31.0%	21	453
2680	42,208,388	14,956	1,723,289	389	5	44.4%	28	702
2690	45,136,592	14,697	1,638,405	251	－ 15	41.5%	30	527
2700	39,006,167	12,102	1,392,483	214	8	11.9%	24	651
2710	43,859,012	13,162	1,694,962	57	3	34.8%	25	632
2720	27,814,581	11,170	936,230	286	10	43.0%	18	414
2730	24,297,576	10,170	729,062	54	3	27.2%	15	282
2740	28,182,966	12,426	1,030,709	228	－ 3	18.8%	16	445
その他	51,000	0	26,089					
合計	1,433,809,824 (注 1)	16,068	57,105,430	6,407 (注 2)	10	45.4% (注 3)	852	20,508 (注 4)

※太字は、各項目の上位 5 位の地区です。

(注 1) 地区以外からの寄付金は除外しています。地区以外からの寄付金は累計 2,608 万 9,286 円です。

(注 2) 2017 年 7 月～2018 年 6 月までに特別寄付をして、米山功労者として表彰された人数です。

(注 3) 2017 年 7 月～2018 年 6 月までに特別寄付をしていただいた個人の割合です。

(注 4) 奨学期間中の地区移動や、過去の再応募制度で他地区の奨学生となった人は、それぞれの地区でカウントしています。そのため、実際の奨学生累計数（2 万 396 人）を上回っています。

※米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで。

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281 Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp

特集 米山月間



福島喜三次と共にロータリー日本の創始者
東京ロータリークラブの創立者

米山梅吉は本年生誕150年を迎えました

米山梅吉は、1868（慶応4・明治元）年2月4日、江戸の芝は田村町、植村家家中・和田竹造の三男として出生しました。そして1920（大正9）年の52歳の時、東京ロータリークラブ（RC）を創立し、初代会長に就任します。

以後、ガバナー、スペシャルコミッショナーなど歴任していきます。その間、三井銀行常務取締役から三井報恩会理事長に就任し、社会奉仕に献身し続け、78歳でその生涯を閉じました。

在米当時
21歳の
米山梅吉



米山梅吉 20代 アメリカでの8年

——『米山梅吉傳』（発行者：青山学院初等部）より

佐々木邦著「創意と奉仕の一生」中の「滞米八年」より抄録——

米山梅吉記念館評議員 小林聰一郎（甲府北RC）

サンフランシスコでの生活

アメリカ出発の年月ははっきりしないが、明治20年も押し詰まって入籍しているので、明治21年早々だろうと想像される。親友の稲村真里氏は21年と記憶している。

そのころ渡米する日本青年の多くは、日本人経営のキリスト基督教・福音会に辿り着く。大抵はあらかじめそこを紹介してもらって出発するからである。福音会はメソジスト派の伝導機関で教会の隣にあって二階建ての別館、下は講堂、上の部屋には一室に数人が入って、40～50人の青年がいたらしい。

火鉢を置いて鉄瓶をかけてお茶も飲めるような設備があった。小規模ながらも日本の出店もあって、昼間働いて帰ってくる青年達もホームシックをしのげた。賄い料は1日25セントだった。

福音会は日本人青年を収容するとともに就職の便宜も図り、宗教的指導もした。米山さんが後年、青山学院で関係を持つメリマン・コルバート・ハリス監督の指導も受けた。労働目的の者、商売を始めようとする者、大学入学の支度をする者などが足溜まりとした。

ここでの記録の米山さんの印象は、ただ「きれいな顔をしている人」とだけ記されている。「先

アメリカから梅吉が送った長兄和田栄次郎と次兄和田菊松宛ての手紙



代幸四郎に間違われた」と自分でも言っているくらいで、後年、日本での旅先の宿屋主人に「高麗屋さんでしょう？」と訊かれたエピソードもあった。

本多庸一先生との出会い

しばらくして週刊雑誌『蒸気船（Steamer）』を教育の似通った人と語らって、謄写版刷りで発行を始めている。文筆が好きな米山さんらしい、余暇の道楽である。ちょうど、青山学院長の本多庸一先生が渡米して、少しの間サンフランシスコに逗留した。米山さんより20歳先輩で津軽藩の侍の子、米山さんと似通ったところがある。基督教に入る前は専ら漢学で鍛えられている。

優れた人と優れた人が偶然出会った。毎晩先生の部屋に押し掛けたのだろう。ある晩、先生は話の合間合間に火鉢の灰に火箸で文字を書いていた。米山さんがその灰の字をそれとなく辿ってみると、そこには「巧遅」「拙速」という文字が書かれていた。功なれども遅し、拙なれども速し。米山さんはピンときた。本多先生は米山さんの性格を察して、功を急がないようにとそれとなく戒めたのである、と。米山さんはこれを一生の座右の銘とした。

アメリカでの苦学

アメリカには貧乏な青年のために生活する道が開けていた。スクールボーイは1週1ドル。部屋を与えられて仕事の合間には通学が許された。これはアメリカの青年もやっていることだ。皿洗いは1週3ドル。お金

米山梅吉記念館は、2019年9月に創立50周年を迎えます

米山梅吉記念館創立50周年を迎えるにあたり、記念事業・記念式典などを計画中です。

今後も米山梅吉を顕彰する、ロータリー日本共有の記念館として努めてまいります。会員皆さまのお越しを、お待ちしております。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

Tel. 055-986-2946 Fax. 055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

〔開館時間〕午前10時～午後4時

〔休館日〕月曜日 12月28日～1月4日

整理のための休館日(5月・8月の特定日)



をためて学校に入る、お金がなくなればまた1年働く。従って通常の倍の年月がかかる。

米山さんはカナダのベルモント・アカデミーに入る。大学に入る準備のための高等学校だが、大人になっている優秀な米山さんが少年たちに混じって学ばなければならないので、ここは手軽く学業を終え、ハリス監督の推薦でオハイオ州ウェスレアン大学に進んだ。この大学はメソジスト派の大学で、神学部に入ることを勧められたが、米山さんは応じなかった。

その後ニューヨーク州のシラキュース大学に転じたが、どちらの大学に何年いたのか、どのような学問を修得したのかの記録は一切ない。ロチェスター大学でも学んだようだ。やはり学費を稼ぎながらの勉強だった。オハイオ大学からマスター・オブ・アーツを得ている。

滞米8年。苦学生は社会との接触が緊密なので、得る所も多かったのだろう。

英語で落語を一席

当時アメリカでは、中国人はチンチン、チャイナマンとからかわれ、日本人はジャップと軽蔑された。気位の高い侍の子の米山は、特別辛かったらしい。しかし、日清戦争が始まって日本が連勝すると、日本人への評価も次第に高まってきた。

帰国の日も近づいてきたある日、ナイヤガラ瀑布見物に出掛け、途中ジャップ、ジャップと呼び掛けた青年がいたので、いつになく憤激して青年を殴りつけ、さあこいと身構えた。相手がいい塩梅に逃げていってくれて幸いだったが、米山さんの腕力沙汰はこれが唯一だった。「戦勝国の意識が高かったからだろう」とは米山さんの後の弁である。馬鹿にされて黙っている人ではない。

米山さんから直接聞いたところによると、会があると

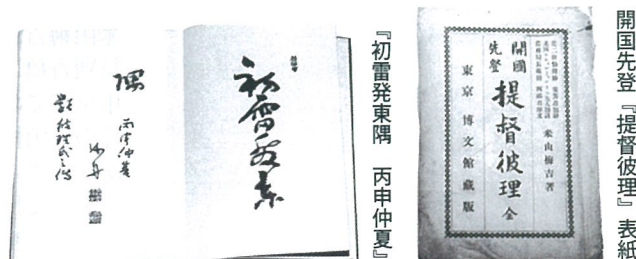
食後のスピーチの代わりに落語を英語でやって、これは喝采を博したそう。その一つに「声(鯉)が高い」というのが一番受けたらしい。どうして落語をご存じですかと聞いたら、若いころ寄席で聞いたと答えた。それは東京府の吏員だった芝愛宕町時代にほど近い琴平町の、恵智十という寄席に、夜分お母さんを案内して、せめてもの孝行をしたのではないかと察せられる。木戸銭は3銭だったころの話である。

日本の教養と心

明治26(1893)年にはシカゴの万国博覧会で、5月から10月まで日本出品の説明を引き受けている。誰にもできることではない。既に学校を卒業して、在留日本人の間に存在を認められていたからだと思われる。

8年の歳月をアメリカで過ごし、明治28年に帰国した。尊いことは、日本の教養を少しも失わず、その上にアメリカの生活で洗練されてきたのだ。アメリカかぶれのようなことは一切なかった。

しかしそのころ会った人の記憶によると、米山さんは大変なハイカラだったそう。元来容姿端正の人だったから、服装などはアメリカの流行の先端だったのだろう。



在米中に米山が原稿執筆、帰国後の1896(明治29)年の夏、知己の勝海舟に持ち込んだ『提督彼理(ペルリ)』。海舟は読んで喜び、題字として「初雷発東隅」の揮毫(きごう)を贈ってくれました。世界の東方より雷鳴がとどろくような本が出た、という意でしょうか。



私の米山梅吉

歴史上の人物として、一人の人として、
人それぞれの米山梅吉との出会いがあります。
あなたの梅吉との出会いをお聞かせください。

■三井信託のご縁

前嶋 修身（熊谷 R C）

熊谷ロータリークラブ(R C)に41歳で入会してすぐ、何か思い出のある名前に遭遇しました。

ほどなく、米山記念奨学会の「米山梅吉」は、私がかつて在籍した三井信託銀行(当時)の初代社長である「米山梅吉」であることに、気が付きました。何も知らなかったロータリーワールドの中で、勝手に心強い知己を得た気持ちになり、ひそかにうれしい思いをした記憶があります。

三井信託銀行本店は現在、千代田区丸の内に移転しましたが、私の入行当時は、日本橋室町の三井本館(現在は国指定重要文化財)にありました。入行後の最初の新人研修会で、私は日本における「信託」のファウンダーとして、米山梅吉の名を覚えました。「信託」とは、委託者が受託者(信託会社)を信じて財産を託すことであり、米山梅吉は、信託の理念は「奉仕の精神」の遂行であると考えていました。静岡県長泉町にある米山の墓所へは、三井信託銀行静岡支店長が毎年、墓参をする習わしがあると聞いています。

米山梅吉は、三井銀行常務(1909～23)時代の1920年に東京 R C を創立、その後、三井信託会社(後の三井信託銀行、現・三井住友信託銀行)の初代社長(1924～34年)を務めました。1914年、『実業之日本』誌上に「新隠居論」を発表し、実業界の元老に隠居を勧め、しかる後に公衆のために奉仕するべきことを説いて

います。これは1913年の欧米出張での見聞や、渋沢栄一(1840～1931)の「道德経済合一」説の影響ともいわれています。

米山は、1917年出発の政府特派財政調査団の一員として訪米中の1918年にダラスに出張し、三井物産ダラス副支店長福島喜三次の家に逗留しました。福島はダラス R C 会員であり、米山はこの時ロータリーの「奉仕の精神」に共鳴したと思われます。1920年、米山・福島が中心となり、メンバー24人で東京 R C が創立されました。

私は大学を卒業して三井信託銀行に入行、5年間お世話になった後、あらためて勉強し直し、税理士・ファイナンシャルプランナーとして、現在の道を歩んでいます。

三井信託の良き社風のおかげで、当時の上司、友人とのお付き合いが現在も続いています。特に、私が辞めた時の支店長を囲んでの行員の会は、日本橋で2カ月ごとに四十数年続いており、私もできる限り出席して、和やかな良き風を受けています。

第2570地区(埼玉県)2016～17年度ガバナー

Annotation

福島喜三次 (1881～1946)

日本人第一号のロータリアン。米山梅吉とともに日本にロータリークラブ(東京 R C)を創設し、初代幹事を務めました。

目で見える米山梅吉の全貌

米山梅吉の幼少から晩年までを網羅した写真集で、米山研究には欠かせない一冊

日本の実業家・歌人・漢詩人・俳人・教育者・政治家であり国際的人格者

『人物写真集 米山梅吉』



米山梅吉翁 B4判横長/特製布貼り装丁
題字他金箔押し仕上げ ケース付
総ページ460ページ 1万5,000円(消費税込)
お問い合わせは米山梅吉記念館まで

米山梅吉翁・目次

特別寄稿/米山梅吉年譜略/米山梅吉の家系/梅吉少年の映雪舎・沼津中学校での活躍/日本と世界の偉人との出会い/実業家への歩み/数多くの米山梅吉の著書/米山梅吉の貴重な愛読書/学校教育界へ重要な役割を果たす/教育者としての米山梅吉/国際的奉仕の理想を唱える/社会事業と文化事業の発展を援助

米山家先祖代から所蔵されている古文書・名刀等/北に富士の霊峰を仰ぐ長泉村下土狩米山別邸/米山家代代の由緒ある菩提寺/米山梅吉の遺品・愛用品、などの内容別に数多くの写真が収録されています。

執筆・編集者 米山 聡 写真撮影・編集者 大川孝昭
1997(平成9)年4月28日発行



ロータリーが目指す経済と地域社会の発展



ロータリーでは、世界で最も支援が必要とされる人道的ニーズが何かと考え、長期的な変化をもたらすために、特に6つの分野（平和と紛争予防／紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）に重点を置いて活動しています。

ロータリーで、10月は、経済と地域社会の発展月間です。人々が生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援しています。

「経済と地域社会の発展」分野の目的と目標

ロータリー財団は、ロータリアンが以下のような形で、持続可能で測定可能な長期的改善を地域社会と人々の暮らしにもたらすために、人々に投資することを可能にします。

1. 貧しい地域社会の経済発展を促すための、起業家、地域社会のリーダー、地元団体、地域社会ネットワークの能力の向上。
2. 生産性の高い仕事の機会の創出。
3. 支援が行き届いていない地域社会での貧困の削減。
4. 経済と地域社会の発展に関連した仕事で活躍していくことを目指す専門職業人のための奨学金支援。

世界各地の活動紹介

ナイジェリア・アボロータリークラブ（RC）：配偶者を失った女性に小口融資を行い、ビジネスを成功させるための研修を実施しました。

インド・ジャムシェドプルウエストRC：家族を養わなければならない少女・女性を対象に、食品加工、服飾仕立て、コンピュータスキル、起業などの職業研修を実施しました。

ウガンダ・カンパレンサンビヤRC：地元住民を対象とした、資産管理、貯蓄、ローン、投資、保険、老後計画に関する研修を実施しました。

フィリピン・マカティーサン・ロレンツォRC：米生産者1,500人への小口融資を実施し、ビジネスの効率を上げることを目的とした精米機の使用管理に関する研修を行いました。

このような活動を行うに当たり、ロータリー財団のグローバル補助金を申請することができます。詳細な受領資格の判断基準は、国際ロータリーのウェブサイトからご覧ください。次ページで紹介する渥美RCの活動は、グローバル補助金プロジェクトではありませんが（地区補助金を活用）、地域社会を大切にするロータリーの活動事例の一つです。

皆さまのクラブや地区での、地区補助金、グローバル補助金を活用して実施した経済と地域社会の発展の分野のプロジェクトの事例を、『友』編集部までお寄せください。

▶▶▶ E-mail : hensyu@rotary-no-tomo.jp



菜の花と河津桜で開花した町おこし

渥美RC 川口 敏郎

沈滞したムードを破ろうと

2004 年は平成の大合併の最中、渥美ロータリークラブ（RC）の所在区域である渥美町も、翌年には田原市との合併が決定していました。長く親しんだ渥美町という名も、町役場もなくなるといことで、地域全体に沈滞ムードが漂っていました。そんな時、クラブ会長から「ロータリー 100 周年を記念した、ロータリー財団の補助金があるから、これを利用して地域を明るく、元気にできるような事業を考えてほしい」との要請が出ました。そして提案されたのが「菜の花と河津桜^{かわづざくら}による、まちなかにぎわい作り事業」でした。この事業が形になるには 10 年はかかると予想されましたが、それでもやろうと、会員全員が覚悟し、事業に着手しました。

地域住民を巻き込んでの植樹から

初年度に行ったのは、300 本の河津桜の植樹でした。渥美町の中心市街地・福江地区を流れる免々田川^{めめだ}沿いを、候補地としました。県の河川局、渥美町の土木課、それぞれの担当者に現地に来てもらい、「川べりはダメだけど、道路を挟んだ反対側なら許可する」との言を得ました。桜並木をロータリーのものではなく、住民みんなのものにするため、「桜のオーナーになりませんか」と公募することにしました。2,000 円での募集でしたが、これはオーナーとしての名札代。苗木代や支柱代、肥料代などは地区補助金と、クラブの周年事業積立金を取り崩しての一大事業となり、その年の 11 月 28 日、オーナーとその家族を巻き込んで大植樹会を開きました。

その後 4 年間は、木の育成のため、下草刈り、施肥、枝のせん定といった作業を、クラブの社会奉仕事業の中心的活動として続けました。

植樹をきっかけに広がる事業

2009 年、クラブ創立 40 周年を迎えるに当たり、桜の木もだいぶ成長したので、記念イベントをやろうということになり、3 月 7 日に「免々田川 菜の花・桜まつり」を開催しました。このイベントはその後毎年開き、今

年で 10 回目となりました。当初は 1 日だけの開催でしたが、5 回目以降、2 月半ばから 3 月半ばまでと期間を広げ、その中で 4 日間のイベント日を設けるようになりました。清田・福江校区まちづくり推進協議会、渥美青年経済研究会、渥美商工会など、地元の団体の協力が大きな力となりました。

また、祭りに必要な菜の花を育成するため、地元の保育園児、小学生に参加してもらい、一緒に種まきを行っています。清田・福江校区まちづくり推進協議会には、桜育成作業にも参加してもらっています。

せっかく大勢の人が桜を見に来てくれるのだから、桜並木だけでなく街中にも足を延ばしてもらおうと、「福江＊つるし飾りロード」を始めました。保育園児、小学生、中学生それぞれに「つるし飾り」を作ってもらい、街中の商店や住宅の軒先に、のれんとプランターの花とのセットで飾らせてもらっています。この活動に連動して、田原市立福江中学校の生徒たちが「つるし飾りロードマップ」を制作しました。こうした活動などが評価され、平成 28 年度都市景観大賞の「景観まちづくり活動・教育部門」において大賞（国土交通大臣賞）を受賞。翌年も連続で大賞を受賞しました。

さらには行政が桜並木を「免々田川 WALK」として散策路に指定し、公衆トイレ、ガードレールを設置し、道路を整備。14 年前、「地域を明るく、元気にしよう」と誓った会員の思いや行動は、地域住民の参加を促し、桜の成長と並行し着実に進展していると確信しています。

クラブは地域と共に、花と共に

この事業を始めた時、形になるには 10 年かかるとの予想通り、10 年を過ぎた頃から新聞やテレビで免々田川の桜が頻繁に報道されるようになりました。それに伴い、市外、県外からの観光客が急増しました。街中の飲食店は「行列のできるお店」へと変貌していきました。

渥美半島の観光といえば、海水浴をはじめとした夏場が中心でした。しかし、現在は菜の花や桜が開花する 2 ～ 3 月へと広がりを見せています。飲食店や土産物店



今年の「免々田川 菜の花・桜まつり」は2月14日～3月14日に開催。特に、おもてなし販売コーナーを設けた週末には、大勢の観光客が訪れました

の入客数、道路の渋滞発生状況からも、それは明らかです。桜の植樹会からスタートしたこの事業が、地域発展の一助になっていることを、うれしく思っています。

かつて、この地域で住民に「ロータリークラブ」と言っても、ほとんど知られていませんでした。今は、「免々田川の桜を管理している団体ね。ご苦労さま」と言われます。もちろん、私としては「ロータリーは桜だけではないのですよ」と他の活動の説明もしていますが……。何はともあれ、住民から愛され続ける桜であり、全国から来た人たちから「わ、きれい。わ、すごい」の言葉が聞けることを楽しみに、今後も桜の手入れに汗を流すことになると思っています。（第2760地区 愛知県）

最近、ワクワクしたことありますか？

私は愛知県田原市福江町にある「^すし^{かね} ^{おかみ}」の女将です。常春の渥美半島の先端、旧・渥美町にて、創業130年の小さな店を切り盛りしています。時代の波に揉まれ、次代にも継がせるには大変な時です。そんな頃、近くの免々田川に渥美RCさんが河津桜を植え、町の活性化への道しるべを置き、それまでの観光にメスを入れ、半島を巡る一つの魅力を生みだしてくれました。

最近「桜を見に来たよ」って寄ってくれる、県内外のお客さんが増えています。河津桜は一足早い春のお誘い、町のにぎわいも半端ではないものとなりました。渥美RCさんの斬新なアイデアと行動力は、私の心と家業をワクワクさせてくれます。地域の活力に力を注いでくれる存在です。その力が、河津桜から始まって地域に未来が広がっていきます。桜が成長するように、私たちも地域も頑張っていけたらと思います。

寿司兼女将 上村 ひさ



THE ROTARIAN 9月号から

2019年国際大会

RI 指定記事

—私はハンブルグ市民です—

Ich bin ein Hamburger

世界へのゲートウェイ、ハンブルグにいきなりを下ろせば、
気分はすっかり地元市民

寄稿者：Jenny Llakmani | 写真：Samuel Zuder





ハンブルグに着いて、駅を歩いていると、夫のアントンが小さなバーでおいしそうにたばこを吸いながらビールを飲んでいる男性に目を留めました。黒いコーデュロイのジャケットにベスト、ベルボトムのパンツ、古びたシルクハット……。この独特のいでたちで、どういう人かすぐ分かりました。彼はジャーニーマン（Wandergesellen）。旅する職人です。中世から続く伝統に倣って、着替えとわずかな小銭、そして技術を携えて2～3年間世界を旅します。

私たちと同様に、彼もハンブルグへの訪問者なのです。実際の人物がいる実在する街——それが、この街の魅力なのだと分かってきました。



観

光地がどこも旅行客を楽しませようと躍起になる中で、ハンブルグは変わることなく自らのペースを守っています。真の都市、ハンブルグでは、旅行者に「やあ」と明るく声を掛けると、すぐに街の日常に戻り、後はそっとしておいてくれるため、旅行者はこの街の魅力を心ゆくまで楽しめます。

2019年ロータリー国際大会の開催地ハンブルグは、北海へ流れるエルベ川沿いにある、欧州第3の港町で国際貿易の中心地です。大きな港町と川の向こうには、橋や運河（地元住民はアムステルダムやベネチアよりも多いと主張）や風光明媚な湖がある、魅惑の街が広がります。世界のマルクトブラッツ（市場）というだけあって、買い物にも、エンターテインメントにも事欠きません。土曜の夜にはあらゆる年齢層の人々が、かつては風俗街とし

て知られた歓楽街、レーパーバーンに集います。1960年代前半にビートルズが活動していたことでも有名です。帆を張った船のような形で、川に突き出ている建物、エルブフィルハーモニー（愛称はエルプ）は、れんがとガラスで造られたコンサートホール。その劇的な外観と洗練された内装から、ヨーロッパ大陸にエルプありと言われるようなコンサートホールを建てよう、というハンブルグの思いが伝わってきます。

こういった見どころが全て、徒歩でも自転車でも公共交通機関でも、さらにはボートでも観て回れるのがハンブルグの良さでしょう。

運河を眺めれば、何がこの街を動かしているのかが分かります。国際大会ホスト組織委員会の委員長で第1940地区パストガバナーのホルガ・クナークさんはこう簡潔に言い表します。「ハ

上：ハンブルグの魅力を本当に理解するには水辺に出よう。ツアーボートはアルスター湖、エルベ川、ハンブルグに張り巡らされた何本もの運河をクルージング。自分でコースを決めなければ、足こぎボートやヨット、カヌー、カヤックをレンタルしても

右上：市内を周回するツアーバスもあるが、大会参加者はこのハンブルグ地下鉄（Uバーン）を含む全ての公共交通機関が無料で利用できる

前のページ：歴史的な倉庫街のシュバイヒャーシュタットの上空にそびえるハンブルグの新しいランドマーク、エルブフィルハーモニーの波打つ屋根



ンブルグはどこもかしこも水だらけ」。ハンブルグ（Hamburg）のHamは昔のサクソン語で沼地を意味します。

この臨海都市の中心にあるのが、800年前に小川をせき止めて造られたアルスター湖です。この湖は内アルスター湖と外アルスター湖に分かれています。その一方で、町の生命線であるエルベ川が流れています。北海から約100kmも離れているにもかかわらず、ハンブルグでは、エルベ川とその運河の水位が潮の満ち引きで変わります。

内アルスター湖沿いのユングフェルンシュティークでは、かつてハンブルグの裕福な商家の家族が未婚の娘を連れて散歩を楽しんでいました。今でも地元の人たちが闊歩するおしゃれな地区です。ここのオープンカフェで一服。赤や白の観光船が停泊し、ここから外アルスター湖や運河、エルベ川へと旅

立っていくのを眺めました。

ここで私たちは外アルスター湖を徒歩で回ること。釣りをする人、日光浴する人、読書する人、犬の散歩をする人、サイクリングする人、舟遊びする人。個人所有のモーターボートは許可されていないので、「湖でセーリングするのは夢ですね」と、先祖代々ハンブルグ市民のアンドレアス・フォン・メラーさんは言います。第1890地区のバスターガバナーであるフォン・メラーさんは、クナークさんと共にホスト組織委員会の委員長を務めています。

外周6kmの湖岸にはカフェやレストランが並びます。セルフサービスのカフェ、Alsterperleは、以前は公衆トイレだった建物とは思えないほどのきれいなカフェです。ここで地図を取り出して、次にどこへ行くかとしばし検討していると、相席になった女性に

どこから来たのかと聞かれました。口を開くや否や、別の客が私たちのところにやってきて、「シカゴからですって？ シカゴは大好きなんです！」と言うのです。この新しい友人たちが、ザンクト・ゲオルク地区のお薦めを教えてくださいました。アルスター湖の眺めならメリディアンホテルの最上階にあるバー、夕陽を楽しむならホテルゲオルクのテラス。こんな友人がいたら、地図なんていりませんよね。

街の特徴が水路だとしても、街を形作ったのは炎と言えるでしょう。1回目は1842年の大火、2回目は第2次世界大戦中の連合国の空襲。これら2つの大火でハンブルグは燃やし尽くされ、中世の街並みはほとんど姿を消してしまいました。1回目の

左：ラートハウス（市庁舎）の塔はハンブルグ中の見晴らしの良い場所から見ることができ、市街地の中心にあるため、絶好の待ち合わせ場所。正面のプラザや、公開されているネオ・ゴシック建築の玄関ホールにはベンチが設置されている

右：聖ニコライ教会跡は戦争の恐ろしさを伝えるために保存された。今日でもハンブルグでもっとも高い約 150m の尖塔には、エレベーターで昇れる展望台がある。

下：街中の歩道に埋め込まれた「つまずきの石」も、戦争の犠牲となった人々のことを教えてくれる



ハンブルグ大火は 13 世紀に造られた堤防の上にあるダイヒ通りが火元でした。そうした歴史にもかかわらず、この通りでは唯一今でもかつてのハンブルグ式の建築物を見ることができます。その一つ、ダイヒ通り 25 番地にある建物は、Zum Brandanfang（「火が出たところ」という意味）というレストランになっています。ちなみに、旧市街にはブランゼンデ（「火が消えたところ」という通りがあります。

中世の大火とは規模を全く異にしたのが戦争でした。1943 年 7 月の 10 日間にわたる空襲で、少なくとも 4 万人が死亡し、街は焦土と化しました。何が起こったのかを如実に物語るのが、聖ニコライ教会跡です。ハンブルグの五大教会で最も高い尖塔を持つ聖ニコライ教会は、全ての戦没者を弔う記念碑として、爆撃で破壊された姿のまま残されています。その地下室に

は、ハンブルグ市民だけでなく、爆撃機の乗組員にとっての空襲がどういうものだったのかを教えてくれる、小規模ながら強い印象を残す博物館があります。

さらに歩くと、第 2 次世界大戦の遺物に再び遭遇しました。シュトルパーシュタイン（つまずきの石）です。ユダヤ人、ローマ人、同性愛者、反体制派など、ナチス政権の犠牲になった人たちが最後に暮らした建物の前の歩道に真鍮プレートが埋め込まれています。プレートに刻み込まれているのは、犠牲者の氏名と、たいていは生まれた年と強制収容所に収容された年と没年。1996 年にベルリンのアーティストであるグンター・デムニツヒさんにより始められたプロジェクトですが、今ではヨーロッパの至るところでこの「つまずきの石」が見られます。

運

河へと向かってダイヒ通りから細い路地を歩くと、歴史的な商家の裏側に出ます。世界中の港から運ばれた品々が 1 階に保管されています。2 階は伝統的に事務所や顧客のための広々とした応接間で、家族は 3 階以上に居住していました。近隣のシュパイヒャーシュタット地区もまた運河で有名で、高いれんがの倉庫（シュパイヒャー）が建ち並ぶ間に細い水路が走り、北部ドイツとベネチアが合わさったような光景を生み出しています。

この地区の 19 世紀的な統一感、隣のハーフェンシティに入ると、現代的な光景にがらりと一変します。レンゾ・ピアノ（1937 年～）、レム・コールハース（1944 年～）、フィリップ・スタルク（1949 年～）などの建築家の設計による店舗、レストラン、マンション、事務所が入った新しい建物と古い建築物が融合するこの河畔開発プ

モイン・モイン

ハンブルグの昔の言い方で「こんにちは」。ハンブルグのロータリアンは皆さんを歓迎します。ハンブルグ国際大会ホスト組織委員会は、ハンブルグを多方面からお見せし、地元のロータリアンを紹介するために、大会期間中は毎晩、文化イベントを企画しています。詳しい情報とチケット購入は ric2019.rotary.de/en で

6月1日

市街地の中心にある歴史的なハンブルグ商工会議所で、大会参加者のために歓迎パーティーを開催します

6月2日

有名なナショナル・ユース・バレエが大会参加者のために公演を行います。ジョン・ノイマイヤー総監督は来年 80 歳の誕生日を迎えるとともに、ハンブルグ州立バレエ団所属 46 年目を迎えます

6月3日

ハンブルグの新たなランドマーク、エルブフィルハーモニーでのクラシックコンサートに 2 公演、ホスト組織委員会が貸し切りしました。建築も音響も絶賛されている、エルブからの眺めは最高です

6月4日

地元のクラブが歓迎イベントを開催します。ドイツのおもてなしをご堪能ください

公開イベント

ホスト組織委員会は、オーストリアを出発しドイツ中を回りハンブルグでゴールする自転車ツアーなど、いくつかの無料イベントを企画しています。サイクリストたちは道中で連日、ポリオ撲滅のための認識向上イベントを行います。ツアーは 6 月 1 日の朝にラートハウスでゴールを迎えます。参加には事前登録が必要ですが、ゴール地でツアーの終了を祝うのは大歓迎です。また、ハンブルグの主な大通りにはロータリーの 6 つの重点分野を説明するブースが設置されます



郷（ハンブルグ）に入れば……

地元の人のお勧め

「市街地にある Café Paris。あそこのチョコレートタルトは絶品で、父の好物です。私はブレックファスト・フォー・トゥーにシャンパンが好き」

「国際大会だけではなく、大会後も滞在して海辺に行ってみてください。北海とバルト海にはどちらも1～2時間で行けます。バルト海沿岸のリュベックはすてきな古い町ですよ」

—ハンブルグ・ヴィンターフーデRC会員イヴェット・グレイヴさん

「外アルスター湖の外周を散歩。とても景色が良くて、ハンブルグの街並みが見られます。500m おきにレストランやカフェがありますが、一番のお勧めはイタリアンレストランの Portonovo。そこから見た湖が見事なんです」

「ハンブルグは海が近いのでおいしい魚が食べられます。有名店の Fischereihafen はドイツでも指折りのレストランです」

—ホスト組織委員会マーケティング委員長アンドレアス・ヴェンデさん

「フィッシュマルクトは魚とフルーツ、生花、お土産品、食品の青空市場です。日曜の朝に開かれます。ザンクト・パウリで土曜の夜一晩中パーティーをして、徹夜明けにそのままフィッシュマルクトにフィッシュフリカデッレ（丸パンのフィッシュバーガー）を買いに行くのが王道です」

「おいしいドイツのパンが食べたいければ、ヨーロツパパッサージュの Bäcker Gaus お勧め。Dat Backhus はチェーン店ですが、こちらもおいしいパンがあります。シナモンと砂糖がかかったハンブルグの甘い菓子パンのフランツブロートヒェンをぜひお試しあれ」

—ロータリー地域コミュニケーションスペシャリスト、グンドゥラ・ミスケさん

プロジェクトが2030年に完成すれば、市街地の規模は2倍近く拡張されます。

ハーフェンシティの目玉となる建築物はすでに完成しています。築2年になる、26階建てのエルプフィルハーモニー・コンサートホールです。れんがの倉庫を再利用した土台の部分から、突如として、高波を思わせるガラスの上部構造へと切り替わります。中階層のテラスからは、一方にはエルベ河と対岸の約70kmという広大な港に立ち並ぶ巨大なクレーン群、もう一方にはラートハウス（市庁舎）、聖ニコライ教会、聖ミヒャエル教会、聖ペトリ教会、聖ヤコビ教会、聖カタリーネン教会の尖塔がのぞく市街地といった、ハンブルグの本質をとらえたような対照的な光景が望めます。

ハンブルグはとても特別で、オープンな街です。その建築物も、考え方の面でも、ドイツで最も現代的

な街の1つでもあります、とクナークさんは言います。コスモポリタンな考え方は、自由港湾都市（しかも、ただ都市というだけではなく、独立した都市国家）としての800年の歴史の中で培われたものです。正式名称の自由ハンザ都市ハンブルグ（Freie und Hansestadt Hamburg）は、1200～1500年頃に北海とバルト海での貿易を支配していた北欧の都市連合・ハンザ同盟にハンブルグが所属していたことをしのばせます。

「港が生活の基盤です」とフォン・メラーさん。「ハンブルグの生命源ですから。世界へのゲートウェイなんです」

「巨大な貨物船を近くで見るとはザンクト・パウリ地区の浮きドック、ランドウングスブリュケを出発するクルーズがお勧め」とクナークさんとフォン・メラーさんが教えてくれました。丘陵の斜面に点在する別荘から人気のビーチを見晴らせるオーヴェルゲンネの郊外を周遊します。

私たちはロシアの潜水艦を改修した



UボートU-434ミュージアムと、アルトナ・フィッシュマルクトを通り過ぎ、さらに上流へと向かうと、ドライドックで巨大な貨物船に2万個ものコンテナが積み込まれるところに遭遇しました。最後にリックマー・リックマースという博物館になっている船を通り過ぎ、エルプの下まで行き、出発したドックに戻ってきました。

ザンクト・パウリ地区のリーパーバーンは、かつて縄職人が麻を広げていた長い大通りで、1世紀以上にもわたって船乗り向けの酒場が栄えてきました。1848年にはこの地区に19軒の合法売春宿がありました。1960年代初期にビートルズがここに住み、KaiserkellerやStar Clubで毎晩演奏していた頃と比べ、治安はずっと良くなっています。

「私は妻と毎週土曜日の晩にはリーパーバーンに出かけるんですよ。あそこの劇場にね」と、ホスト組織委員会のマーケティング長でアーレンスブルク・ロータリークラブ(RC)会員のアンドレアス・ヴェンデさんは言いま

す。「20～40歳くらいの若者は金曜と土曜の晩にはリーパーバーンに行くのが普通です。土曜の夜10時か11時に出かけて、翌朝5時か6時頃までパーティーをして、それから日曜の朝にはフィッシュマルクトに行くんです」。ビートルズの曲、「ア・ハードデイズナイト」の逆パターンという感じでしょうか。

公

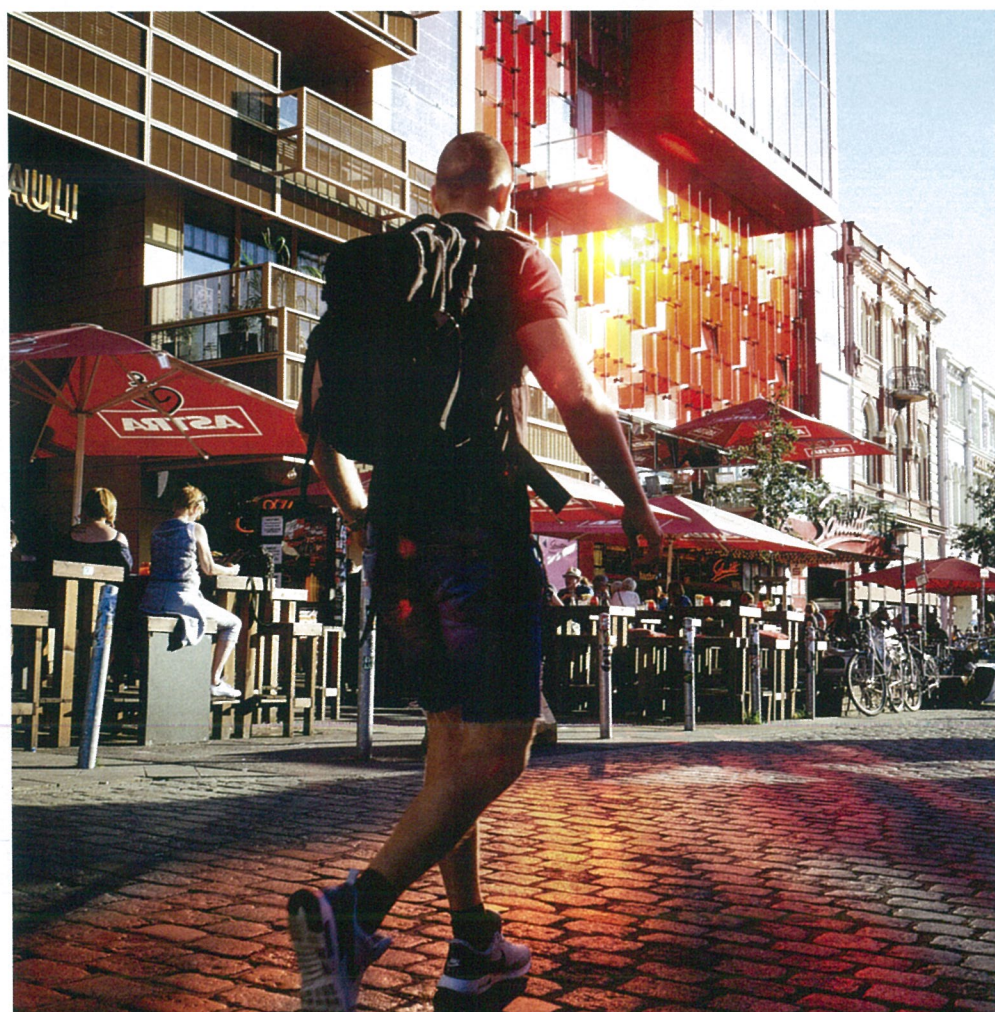
公共交通機関は効率的で、観光にはとても便利。ハンブルグ国際大会の参加登録をするとパスがもらえます。「市街電車にフェリー、ほか何でも乗れますよ」と国際大会委員長のジョン・ブラウントさん。

世界へのゲートウェイを自負し、ドイツ初のロータリークラブがあるハンブルグは、世界中のロータリアンが一堂に会する舞台としてまさにうってつけです。本大会のテーマ「一生の思い出をつくろう(Capture the Moment)」は、「ロータリーが皆さん

左下：ザンクト・パウリの Empire Riverside Hotel の最上階にある Skyline Bar 20up では、オリジナルのカクテルとエルベ川対岸の巨大な港の眺望が楽しめる

右下：遊覧船から大型貨物船まで、多種多様な船がエルベ川を行き交う





左上：ザンクト・パウリのレコード店 Freiheit & Roosen など、いろいろな店に立ち寄ってハンブルグを探索しては？
 左下：世界的に有名なレーバーバーンには無数の楽しみ方があり、ハンブルグで夜遊びといったところをおいて他にない
 右下：メッセ（コンベンションセンター）の近くには、レストランやバーでにぎわうシャンツェンフィアテル地区がある

の人生に対して、そして世界に対して持っている力と潜在力のことを言っている」とブランドさんが説明します。「私たちの現状と実力、つまり組織としてのロータリーとクラブの可能性を把握したいのです。それを皆さんにぜひ体験してもらいたいと思います」

ハンブルグのコンベンションセンターであるメッセは市街地の中心、主要なホテルから歩いて10分で、公共交通機関ですぐのところにあります。ボヘミアンなカローネン・フィアテルや高級感のある街のローターバウム、かつてはユダヤ人地区で今は緑豊かな大学街のグリンデル、若いロータリアンやローターアクターにとっては非常に魅力的でおしゃれなシャントゥエンフィアテルなど、会場はレストランやカフェ、お店、公園が数多くある地区に囲まれています。

旧市街には、中心の駅からラートハウスへと伸びるメンケベルク通りはハンブルグのショッピング通りです。ノイシュタットのアーケード街には高級ブティックが軒を連ねているほか、5階建てのヨーロッパパッサージュに

入っている店舗やレストランの数は何と100軒以上。しかも、これはハンブルグ観光のごく一部にすぎません。5日間の旅を終えたとしても、ハンブルグ探索のまだほんの入り口に立ったところなのですから。

すでにハンブルグ再来訪をいつにしようかと考えながらハンブルグを後にして、ようやくハンブルグの魅力が理解できました。ハンバーガーと呼ばれるハンブルグ市民は、自分たちが楽しむための街をつくり上げたのです。もちろん、博物館や公園、劇場、レストランにカフェを満喫する楽しみは、旅行者とも喜んで分かち合いますが。

「魅力的な街ですが、市民は控え目で謙虚です」とフォン・メラーさん。「見せびらかさないのです。『気に入るかもしれないから、見てみたらどう?』と声を掛けるのがハンブルグ流です」

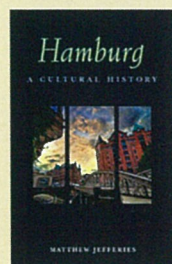
2019年6月1日には、ぜひ皆さんも訪れることをお勧めします。

2019年ロータリー国際大会（6月1～5日開催）の詳細と登録は riconvention.org から。

書籍に見るハンブルグ

マシュー・ジェフリーズ著

『Hamburg: A Cultural History』



どの偉大な都市もこういう本が書かれるべきです。簡潔で、面白い豆知識が満載の本書は、ハンブルグの創成期までさかのぼり、いろいろな地区や観光名所、価値観や習慣、ハンブルグの人々を取り上げています。

トーマス・マン著

『ブッデンブローク家の人々』

家族をテーマとした1901年作の長編小説。ノーベル賞受賞作家トーマス・マンの出身地に近いリューベックを舞台としています。ハンブルグと同様に、湾岸都市のリューベックは商人や貿易商が集うハンザ都市です。

(岩波書店、河出書房新社より翻訳版あり)

キース・ロウ著

『Inferno: The Fiery Destruction of Hamburg, 1943』

綿密な研究のもとに書かれた歴史書。第2次世界大戦時の連合国によるハンブルグ空襲とその影響を、ハンブルグ市民と爆撃機の乗組員の視点から描きます。

ハンス・エーリヒ・ノサック著

『The End: Hamburg 1943』



空襲の3カ月後に書かれた体験談。空襲と、その経験がどのように生存者の魂に影響を与えたかを悲痛なほど明確に描き出します。

ロバート・ミュラー著

『The World That Summer』

1936年のハンブルグが舞台。その時代と場所に人生を形作られた少年を主人公とする半自伝的小説。

アルネ・ベルストルフ著

『ベイビーズ・イン・ブラック』

1960年代初頭、ハンブルグの芸術科の学生がリバプールから来た若者、当時まだ無名だったビートルズの一人と出会います。ビートルズファンをこの時代に連れ戻してくれるグラフィックノベル。

(講談社より翻訳版あり)



People of action around the world

世界中で活躍
「世界を変える行動人」

イギリス

カメルーン

サモア

アメリカ

パナマ

パナマ

パナマ市のローターアクトラーたちは20年にわたり毎年、医療キャンプを実施、医師や歯科医師、薬剤師を国内の内陸部に派遣し、貧困層や移住者に医療の手を差し伸べています。パナマ・ローターアクトクラブは今年、パナマ・ロータリークラブ(RC)の会員であった故・フレッド・ヴィジルの遺志を継ぎ、診療回数を増やすことにしました。2017年6月から今日までの間に診察した患者の総数は2,000人を超えます。5月下旬には、会員と医療従事者がエレーラ県チェボを訪れ、約900人の住民を対象に健康診断や医薬品の無償提供、衣料や食料の寄付を行いました。

カメルーン

カメルーン南西部にあるコルブ国立公園は、動植物の楽園です。カメルーン政府はこの公園の管理を強化しましたが、その結果、この地域に住む人々、特にこの公園で狩りをして生計を立てている人の生活に影響が出ています。

このような人々を救うため、カナダ・アルバータ州のピースリバーRCは奨学金プログラムを立ち上げました。11～15歳までの子どもたち5人を対象に、コルブ熱帯雨林保全協会が運営する学校に通うための奨学金を支給するというプログラムです。同協会によると、ピースリバーRCの会員やプロジェクトリーダーのコートニー・ヒューズさんたちが、生活改善と自然保護の活動を行い、貧困や識字率の向上、紛争の解決に、積極的に取り組んでいるそうです。

イギリス

認知症の患者とその家族が抱える悩みを和らげ、患者の大切な人、介護者にのしかかる負担を軽減するため、ロイストンRCは「メモリーカフェ」と呼ばれるイベントを毎月開催しています。

この会合の目的は、アルツハイマー病などの認知症を患う人々が社会との交流を図ることであり、こうした交流は生活の質を改善するとの研究結果も出ています。ロイストンRCの会員たちは、バレンタインデーやジェームズ・ボンド、学生時代の思い出、王室の戴冠記念といったテーマで一緒に語り合うことで、このイベントを盛り上げています。

「運営には毎年1,500ドル(約17万円)ほどかかりますが、地元の人々のボランティア支援もあって、コミュニティや友情を大切にすることを育むことができます」と、元クラブ会長で本プロジェクトのリーダーでもあるデイヴィッド・アイゾッドさんは語ります。

コルブ国立公園は300種を超える野鳥の生息地です。



アメリカ

およそ 10 年もの間、アラバマ州のタスカルーサー RC は毎年、飛行機をチャーターして約 800 人の退役軍人をワシントン D. C. に招待し、戦没者慰霊碑を訪問しています。その際の参加者の滞在費も同クラブが負担しています。5 月 9 日には 9 回目となる訪問を行いました。「第 2 次世界大戦を経験した方が 2 人おり、一人が 99 歳、もう一方が 95 歳です。またベトナム戦争で従軍した人が 94 人、朝鮮戦争も 1 人います」と、同クラブの会長エレクトとして 2009 年にこのプロジェクトを立ち上げたジョーダン・プラスターさんは説明します。ロータリアン 15 人を含む 65 人のボランティアが同伴するため、会員は 700 ドル（約 8 万円）ずつ出し合い、計 9 万 5,000 ドル（約 1,000 万円）にも上る費用を拠出しました。

Honor Flight Network と提携したこのプログラムの参加者らは、第二次世界大戦記念碑、ベトナム戦争戦没者

慰霊碑、合衆国海兵隊記念碑、アーリントン国立墓地を訪問し、護衛兵の交代の儀式も見学しました。「これまでの人生で一番楽しかった旅として心に残りました」。ベトナム戦争で従軍したモーリス・ソーダース・ジュニアさんはクラブでこう話しました。

「訪問した先々で、全国各地からやってきた観光客が彼らの前に列をなし、軍役によるこれまでの貢献に感謝の意を伝えていました」とプラスターさん。参加者の多くがワシントン D. C. を訪れるのは初めてだそうです。「彼らがこのように称賛されるのは当然のことです」とプラスターさんは言います。

アーリントン国立墓地には毎年、300 万人以上の人々が訪れます。

サモア

約 12m の津波により 190 人以上の犠牲者を出すなど、甚大な被害をもたらした 2009 年 9 月の南西太平洋の地震の直後、アピラ RC の会員は、シェルターボックスのチームを支援しました。その際、へき地の学校では必要品が不足し、水も不衛生な状態にあることを知りました。

そこで着目したのが、識字率でした。アシュバートン RC とニュージーランドのリッカートン RC が協力し、棚の製作、配管の設置、奨学金の資金提供、そして家具やノートパソコン、数十万冊もの書籍の提供を行いました。書籍の配送に必要な複雑な物流システムの管理はアピラ RC が担当しています。

-BRAD WEBBER



第47回ロータリー研究会は神戸の地で開催します

第47回ロータリー研究会招集者 R I 理事 石黒 慶一
 第47回ロータリー研究会招集者 R I 理事 三木 明
 第47回ロータリー研究会実行委員長 安平 和彦

今年度のロータリー研究会は、三木明国際ロータリー（R I）理事の地元である第2680地区（兵庫県）の神戸市・神戸ポートピアホテルにて、11月18日（日）～21日（水）に開催します。

本研究会には、バリー・ラシンR I会長夫妻ならびにマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ財団管理委員夫妻を迎え、バリーR I会長には「インスピレーションになろう」、マリオ財団管理委員には「世界でよいことをしよう」というテーマで基調講演をしていただきます。これらを受けて、「若い人々の参加」「職業奉仕と日本人ロータリアンの心」「若者を守ろう・危機管理」「規定審議会に向けて」の4つのセッションで意見の交換を考えています。

記念講演は、国立研究開発法人理化学研究所計算科学研究機構統括役・元富士通(株)常務理事の井上愛一郎氏に、「スーパーコンピューター・京と若い人びと」という演題でお話をいただく予定です。

R I会長ならびにロータリー財団管理委員歓迎晩餐会では、オープニングとして、神功皇后元(西暦201)年に創建された生田神社に伝わる古式ゆかしい神楽に、宝塚音楽学校の竹内平吉氏と藤間小勘二氏が新たな息吹を加えた優雅な「生田舞」が披露され、乾杯後はホテル自慢の料理を楽しんでいただけます。

希望晩餐会では、ロータリー財団国際親善奨学生としてバークリー音楽大学でジャズの作曲を学び、サクソ奏者として活躍する佐藤恭子氏とその仲間たちによるジャズ演奏が行われます。

なお、登録資格者は『ロータリー章典』によれば、「元・現・次期R I役員およびそのゲスト」に限定されており、今回の研究会では「元R I会長・元・現・次期R I理事、ガバナー（元・現・エレクト）およびそのゲスト」となりますところ、ガバナーノミニ、ガバナーノミニ・デジグネートの皆さま、ならびにガバナー補佐（現・元・エレクト）の皆さまや地区委員長などの皆さまも、ご希望がございましたら、招集者のゲストとしてお迎えします（要登録料）。ぜひとも大勢のご参加をお待ち申し上げます。

スケジュール	
11/18 (日)	10:00～17:00 ロータリー財団地域セミナー
11/19 (月)	10:00～17:00 メジャードナー午餐会、ガバナー会、ガバナーエレクト研修セミナー、ガバナーノミニ研修セミナーほか諸会合 18:00～20:30 R I会長ならびに財団管理委員歓迎晩餐会
11/20 (火)	9:00～17:40 ロータリー研究会1日目 18:30～20:30 希望晩餐会
11/21 (水)	9:00～15:40 ロータリー研究会2日目 13:20～14:20 記念講演

※登録などの詳細については、各地区ガバナー事務所にお問い合わせください。

会場

神戸ポートピアホテル
 〒670-0046
 兵庫県神戸市中央区港島中町6-10-1
 Tel: 078-302-1111 Fax: 078-302-6877
 ご不明な点は下記事務局まで

第47回ロータリー研究会事務局

〒670-0932
 兵庫県姫路市下寺町43 姫路商工会議所
 新館2階 姫路ロータリークラブ事務局内
 Tel: 079-223-7463 Fax: 079-222-7802
 E-Mail: rotary.institute4748@gmail.com

多地区合同青少年交換プログラム

RIJYECからRIJYEMに

RIJYEMアドバイザー 近藤 真道 (高槻西RC・元RI青少年交換委員)

一般社団法人国際ロータリー (RI) 日本青少年交換多地区合同機構 (RI Japan Youth Exchange Multi District organization) の頭文字を集めて、RIJYEM (ライジェム) と称します。

2000年7月、ロータリーの青少年プログラムを支援する組織として設置されたJYEC (日本青少年交換委員会) でしたが、2005年RIの通達により、青少年交換プログラムに参加する地区は法人化、賠償責任保険加入、危機管理委員会設置の3条件を満たさなければならぬとのことで、2007年7月にNPO法人RIJYEC (国際ロータリー日本青少年交換委員会) として設立しました。

さて、2017年1月にRIから『ロータリー青少年保護の手引き』が世界のガバナー宛てに配信されました。これは、ロータリアンに青少年の安全を考え、彼らを守るために最善を尽くす責任を課した「青少年と接する際の行動規範に関する声明」の具体的な指針となるものです。これには、RIの常設プログラムに指定されている青少年プログラム全てが包括されています。

この『手引き』を契機にRIJYEC理事会は、34地区ガバナーの賛同と地区内クラブの了承を得て、青少年交換プログラムをRIの「多地区合同青少年交換プログラム (Multidistrict Youth Exchange Program)」として進め、加えて多地区合同組織体として法人化することにしました。

そして、2018年4月、RIJYECを改編したRIJYEMが設立されました。ようやくRIの理事会決定、つまりロータリー章典に準拠できたわけです。多地区合同組織体のRI承認が2017年11月、一般社団の法人登記が2018年4月に完了し、8月26日、初の総会を開催しました。下記の役員の任期は2020年8月末日までの予定です。

Annotation

多地区合同活動 (Multidistrict Activities)

2つ以上の地区のクラブが合同で関与する奉仕活動、プロジェクト、組織は、RIの定める基準に従うことを条件に、奨励されています。詳細はロータリー章典などを参照。

■一般社団法人 国際ロータリー日本青少年交換多地区合同機構 (RIJYEM)

事務所 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-6431-8106 Fax. 03-6431-8107

理事長 鈴木孝雄 (東京池袋)

理事 荻本正美 (釧路ベイ) 松良千廣 (仙台南) 上山昭治 (東京武蔵野中央) 岡部一輝 (南砺)
剣田廣嘉 (高山中央) 刀根莊兵衛 (敦賀) 岡部泰鑑 (大阪城南) 富田英壽 (甘木) 田原榮一 (広島中央)
水野 功 (東京飛火野) 猿渡昌盛 (東京武蔵府中) 神野重行 (名古屋名駅) 井原 實 (さいたま新都心)
相澤光春 (ふじさわ湘南) 池田徳博 (鶴岡西)

監事 井上暎夫 (千里)

社員 丸山淳士 (札幌真駒内) 平澤孝夫 (秋田東) 栃木秀磨 (足利わたらせ) 山本和則 (新潟南)
高柳育行 (本庄) 川野正久 (川崎北) 中川博司 (伊那) 松村友吉 (焼津) 北中登一 (大阪狭山)
佐々木善教 (松山北) 滝澤功治 (神戸須磨) 佐藤芳郎 (岡山南) 木下光一 (大分城西)
菊地 平 (ジャパンカレントロータリーEクラブ) 宮崎清彰 (諫早北) 関口徳雄 (浦安) 保延輝文 (石岡)
今井高志 (弘前) 竹内正幸 (太田)

研修部門委員 渡辺浩子 (福島21) 白相淑久 (馬頭小川) 倉茂 章 (頸北) 津留起夫 (市原) 小松栄一 (寒河江)

大森順方 (東京北) 若林俊樹 (戸倉上山田) 北川雅一朗 (金沢) 柚木裕子 (かながわ湘南)

柴田正明 (長浜) 間石成人 (高槻西) 土井晶二 (高槻西) 黒田健一 (西宮イブニング)

渡邊芳一 (清水中央) 本間啓介 (村上) 貞包 忠 (大川) 大島浩輔 (徳島プリンス)

太田嘉正 (東京中央) 羽賀亮介 武内陽子 落合由理菜 (名古屋アイリス)

アドバイザー 近藤真道 (高槻西) 市川伊三夫 (東京銀座) 渡邊和良 (浦和北)

顧問 斎藤直美 (豊田)

8月末日現在 順不同・敬称略

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

「ぼくない」をチャンスに

ローテックス 加藤 光

私の大学では2年次以上になると、下の学年の授業を補助するSA（スチューデント・アシスタント）制度があり、後輩の学習を支えるファシリテーターとしての役割を担いつつ授業を行っています。教員を目指しているわけではない私が、SAに関心を持ったのは、「SA ぼくない」と言われたからです。

私は、ローテックス（元青少年交換学生）の活動で「常識を破る面白さ」

を知りました。ローテックスたちと一緒に活動すると、海外を経験してきたみんなは考え方が豊かで、「そ



んな考え方もあるのか！」と驚きの連続でした。そして私もそうなりたいと憧れるようになりました。

そこで「SA ぼくない」私がSAになり、授業内容以外でまず考えたことは授業環境です。例えば、椅子を撤去したフリースタイルの授業や全員制服限定の日、パワーポイントを使わず受講生と一緒に構築するアドリブ感満載の授業といった、型にはまらない非日常的な演出です。さらに私は派遣されたタイでの経験を前面に押し出し、今では皆が「サワディカップ」とあいさつしてくれるまでになりました。受講生から「授業 ぼくない」と言われたことはうれしい経験でした。

地区のローテックスの委員長の時も、来日学生からは半年たつまで「委員長だと思わなかった」と言われました。ローテックス活動で培った「ぼくない」をチャンスに変える力をフル活用して、今後も歩んでいきます。

神奈川県横浜市在住。立教大学3年。第2580地区2014～15年度青少年交換学生としてタイに派遣（スポンサークラブ：東京池袋西RC）。好きなことは絵を描くこと。

新たな道づくり

ローターアクト 小早川拓馬

父の所属していた横浜鶴見北ロータリークラブが主催する薬物撲滅キャンペーンの運営を手伝ったことがきっかけで、ロータリーの存在を知りました。共に活動していた横浜東ローターアクトクラブ（RAC）に参加したいと熱心をお願いしたところ、当時14歳で規定の年齢には足りませんでしたが、横浜東RACの運営を非公式に手伝わせてもらえることになりました。現在28歳でローターアクト歴は14年。ローターアクトのおかげで、日本だけでなくアジアに友人がいます。この交友関係は私の財産です。

現在の仕事は主に石油プラントの配管を設計し、その工事を監督することです。現場ではリーダーシップが求められます。私は21歳の時にローターアクトクラブの会長を経験し、組織の動かし方、運営、人との接し方、



礼節などを学びました。監督は現場を指揮し、安全かつ効率よく人を作業させ、工期を管理します。これはローターアクトでやってきたことと共通しています。会長を経験し、人を動かすとは、こんなにも大変かと思いましたが、今では仕事に役立っています。

年齢規定で残すところあと2年、人生の半分をローターアクトに費やしてきた私にとって、これほど長く続けられたのはローターアクトが好きだからです。だからこそ、残された時間の中で、後輩たちにローターアクトの魅力を発信し、クラブをさらなる発展へとつなげ、成長させたいです。

神奈川県横浜市出身。2008年横浜東RAC入会、17年習志野中央RACへ移籍。第2790地区ローターアクト代表ノミニー。石油プラント設計士。趣味は乗馬、ゴルフ、菓子作り。千葉県在住。

●皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月はシークワーズ。パズルは一般的な問題で、ご家族の方でも楽しめます。キーワードを埋めていき、最後に残る言葉はロータリーと少し関係があります。どんな関係かな。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

問題

リストにある、元素の名前を盤面から探しましょう。言葉を全て探すと、何文字かが使われずに残ります。その文字を上から下に順に読んでできる言葉は？

ルール

どの言葉もタテ・ヨコ・ナナメ 8 方向のいずれか一直線に読めます。途中で曲がったり、とばして読むではダメです。同じ文字を複数の言葉が使うこともあります。小さい文字は大きな文字で探してください。

元素名のシークワーズ

アルゴン	ケイソ (ケイ素)	バリウム
アルミニウム	ゲルマニウム	ヘリウム
イオウ (硫黄)	シュウソ (臭素)	ベリリウム
ウラン	タンゲステン	マグネシウム
カドミウム	チタン	マンガン
カリウム	チッソ (窒素)	ランタン
ガリウム	ドウ (銅)	リチウム
カルシウム	ナトリウム	ルビジウム
キン (金)	ネオン	ロジウム
ギン (銀)	バナジウム	
クロム	パラジウム	

カ アル ミ ニ ウ ム ウ リ バ
ゲ ル マ ニ ウ ム ウ リ ガ テ
キ ゴ シ ユ ウ ソ ジ ツ パ ク
バ ン ム ウ リ カ ビ リ ラ ロ
ナ ト リ ウ ム ド ル チ ジ ム
ジ ギ ン ラ ウ ミ ノ ウ ウ ウ
ウ マ グ ネ シ ウ ム ム ム リ
ム ン オ ネ オ ム ウ リ ヘ リ
ハ ガ ケ イ ソ ツ チ タ ン ベ
タ ン グ ス テ ン タ ン ラ イ

答



毎月 10 人に『ロータリーの友』
名前入り木製パズルをプレゼント！！



※パズルは 3 種類あり
ます (種類はお選び
いただけません)

◆パズル de ロータリー応募方法◆ 郵送での応募は郵便はがきに、①「10 月号の答え」②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き 添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階 (一社)ロータリーの友事務所 P 係までお送りください。④に関する回答は、「声」欄 (縦組み P29) に転載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

WEB 応募は下記の URL、または右の 2 次元バーコードから。

<https://rotary-no-tomo.jp/puzzle.php>



◆締め切り◆ 2018 年 11 月 10 日 (土) 必着

●パズル de ロータリー (7 月号) の答えと当選者は、横組み P46 に掲載しています。

詰め碁



出題

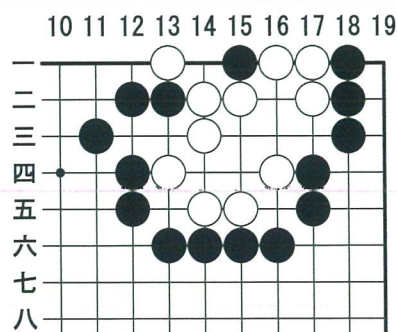
日本棋院

問題

眼を取る筋があります。
(3 分で初段)

●詰め碁の解答は、P47 に掲載しています。

(※詰め碁にはプレゼントはありません)



クローンを出席させよう

アメリカ・ペンシルベニア州ラングホーンRC

THE ROTARIAN 10月号から

創立：1961年
創立会員：22人
現在会員：40人

共同体意識：

2011年以降、ラングホーン・ロータリークラブ（RC）は、地元を重点に置き、活動しています。5万5,000ドルを集めて、交差点に電光掲示板を設置し、公共の情報、ニュース、イベントを告知しています。今年3,000人が参加したクラブの動物フェアや家族デー、そして、キング牧師記念日にポリオ撲滅のための募金活動をしように行われた地元のスパゲティディナーもこの掲示板で知らせました。その他にも、クラブは地元の公立学校にも力と資金を注ぎます。平和センターと呼ばれる地元のNPO団体と協力して、中学生向けのいじめ防止プログラムを実施しています。

娘の家族の近くに住もうと、東海岸へ移ることにしたビル・カウフマンさんは、フィラデルフィアから約40km北東にあるラングホーンの町を見つけました。ワシントン州タコマの2つのロータリークラブで会員増強委員を務めた経験を持つカウフマンさんは、ラングホーンRCに入会すると、自然と会員増強の役割に就くことになりました。しかし、ここで電子商取引コンサルタントである彼のブランディングスキルが試されることになります。

クラブは歴史的な建物の中にあるレストランで昼の例会をします。この会場で例会を開催するには最低限20人の参加者が必要ですが、それを下回るという危機に陥ることがありました。「例会を開催できず、会員を失いつつありました」と、カウフマンさんは言います。

理事会で議論しても、これといった解決策は見いだせず、にいたところ、ある会員が、自分の会社の部長を例会に來させるようになりました。「『これだ!』と思った瞬間でした」と、現在、クラブ会長のカウフマンさんは言います。クラブは代理出席を認めることにしました。それができるのは会員の家族または仕事関係者で、名札と郵送の費用をカバーするために、クラブに年会費25ドルを払う必要があります。このプログラムは、最小限のコストでほとんど形式的なこともなく、実行されました。

カウフマンさんはこのコンセプトを「会社と家族会員のハイブリッド」と呼び、目新しさから「クローン」と呼んでいます。

「冗談半分で始めましたが、実にうまくいきました」と、2017-18年度会長のジョー・サンティさんは言います。「これは代理で出席した人にロータリーが何をしているか

CLUB INNOVATION：

クラブは仕事を理由に会員が例会に出席できないという課題に取り組んだ結果、会員に仕事仲間または家族を指名させ、代理として例会やプロジェクトに参加してもらうことに決めました。会員の代理は「クローン」と呼ばれてからかわれたり、クローン羊のドリーのまねをして「メー」と鳴いたりもしますが、寛容の精神であるロータリーのDNAを共有するクローン会員もそれを楽しんでいます。

を見てもらう機会になります。私たちにクローン会員を送っている会員自身も、最大限の会員資格を実感することができず。クローン会員が奉仕活動に参加すると決めたなら、彼らは私たちに

ジャッキー・メーソンさんは、2月にクラブの最初の公式クローン会員

として認められました。彼女は約50人が働く配管と暖房サービス会社を経営するケビン・サイフェルト会員の会社で働いています。「私は、いつもロータリアンのすることに興味を持っていました」と、彼女は言います。「彼らは非常に温かく歓迎してくれますし、情報も得ることができます」

サイフェルトさんはとても忙しく、会員資格がなくなることや心配していたことから、この取り組みを歓迎しています。「毎週例会に行かなくても、輪の中に入ることができます」

メーソンさん和他2人のクローン会員は、クラブが開催する動物フェアで、ポニーの乗馬体験やフードブースを手伝いました。会員のローリー・ホップマンさんの同僚であるクローン会員、スティーブン・モイヤーさんはクラブの既存の枠にとらわれない考え方に感謝しています。「クローン会員であろうとなかろうと、活動に参加することができて本当に幸せです」と言います。「このプログラムを継続発展させれば、クローン会員が最終的に正会員になり始めると、私は思います」

—BRAD WEBBER

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。



上：地域の清掃プロジェクト
下：非営利団体・シルバースター
による糖尿病検査

国境を越え、ロータリアンが 再建手術を支援

2012年、リカルド・ロマンさんがデパートで買い物をしていたとき、20代前半らしき女性が近づいてきました。「見覚えはない」とロマンさんは感じたそうですが、それもそのはず。その女性と以前に会ったのは10年以上も前。そして何よりも、彼女の笑顔に劇的な変化があったからです。

チリのレニャーカ・ロータリークラブ(RC)の会員であるロマンさんは、こうしんこうがいれつ口唇口蓋裂や他の先天性欠損症がある子どもを支援するプログラムの全国コーディネーターを担っています。この女性は、支援を受けた子どもの一人でした。

『これが私のロータリアンスマイル』、と彼女は言ったんです」

そう振り返る、ロマンさんの声は震えていました。

このプロジェクトは1993年、アメリカ・サンフランシスコのロータリアンが、手術を行う医療団をチリに派遣したことから始まりました。これこそ現在、26カ国にチームを派遣するまでに発展したプログラム、ロータープラスト(Rotaplast)の始まりです。

2004年からチリのロータリアンがプログラムを主導するようになって以来、数年間で同国の多くの医師が参加するようになり、がん患者の乳房再建

手術を行えるほどプログラムは拡大しました。

「スペイン語を話す人と英語を話す人が一緒に活動して結果を出していることがロータリーの素晴らしさ」と、アメリカ・オハイオ州フェアローンRCの整形外科医、ジェームズ・リーマンさんは話します。

今年2月、リーマンさんは、アメリカの形成外科医、麻酔科医、看護師のチームと共に、チリ北部の国境から約130km南の港町イクイケを訪れました。チームの食費・宿泊施設の支払い、国内交通費は、近くの鉱物産業からの資金援助や地元会員が賄いました。飛行機代は医師たちが自己負担した他、オハイオ州の非営利団体がスタッフ渡航費を負担しました。

チリでは、年に約600人の口唇口蓋裂の子どもが生まれています。政府が8つの治療センターを設立しても、その順番待ちリストは長く、何年も待たなくてはなりません。

そのため、チームが活動する病院では、土曜の朝早くから250人を超える患者の行列ができました。チリ全国から患者が集まり、中には2,000km以上も旅してきた家族もありました。

手術室は4つあり、それぞれ口唇口蓋裂、耳の再建、乳房再建、その他の手術に使用します。チームは多忙です。患者のニーズと複雑さに基づいて

決定が行われ、今回の滞在中に患者82人に手術をしました。多くの患者は完全な再建まで複数回の手術を要し、中には完了まで数年間、毎年手術を受けなければならない人もいます。

最後の手術が終



わっても、患者とロータリーとの関係は続きます。

冒頭で元患者と再会したロマンさんは、その後、その女性をロータリーの行事に招待しました。300人の会員を前に、彼女は自分の人生を変えた手術について講演。彼女の輝くロータリアンスマイルに、多くが涙を流しました。

-Diana Schoberg

今後のR I 国際大会

2019年6月1～5日

ドイツ・ハンブルグ

(以下予定)

2020年6月6～10日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021年6月12～16日

台湾・台北

2022年6月4～8日

アメリカ・テキサス州ヒューストン

統計

全世界ロータリアン総数

1,208,448人

クラブ数 35,748 クラブ

地区数 538 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 259,049人

クラブ数 11,263 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 528,701人

クラブ数 22,987 クラブ

国と地域 150 以上

2018年8月14日現在

ロータリーの友
 Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



Daniela Prado Sarasua



ロータリー財団管理委員長からのメッセージ
2018-19 年度ロータリー財団管理委員長

ロン D. バートン

国際大会へのカウントダウン 世界への玄関口

ドイツの主要な港湾都市として知られるハンブルグは、何世紀にもわたり街の特性を形作ってきました。8 世紀から要塞として、河川の湾曲部で地域の貿易を守ってきたハンブルグは当初「ハンマブルク (Hammaburg)」と呼ばれていました。現在でも都市国家としてその独立性を維持しており、「自由ハンザ都市ハンブルグ」として知られ、今日、ハンブルグの市民は自らを誇りを込めて「ハンズアーテン (Hanseaten)」と呼んでいます。

中世の全盛期には「世界への玄関口」となり、これは今でもこの街の公式スローガンとなっています。19～20 世紀には 500 万人もの移住者がハンブルグの港から外国へと旅立っていました。彼らの歴史や背景はバリンシュタット海外移住者博物館で知ることができます。また、国際海洋博物館ではハンブルグの海に関する歴史を紹介しています。

ハンブルグは今日、ヨーロッパの中でも最も混雑する港町のひとつとなっており、2017 年の港湾取扱貨物量は 1 億 3,600 万 t に上ります。またクルーズ船の寄港地としても人気があり、見どころも多く、改装した貨物船で食事を楽しんだり、川船の上にある教会に立ち寄ったりすることもできます。ボートツアーも数多くあるので、船からハンブルグの港湾の風景をお楽しみいただけます。

ハンブルグはグローバル化を背景に、ビジネスや文化、テクノロジーの近代的かつ多文化的な拠点としてその重要性が高まっており、相互に関連し合う世界において中心的な役割を果たしています。

-STEFAN MEUSER

2019 年ハンブルグ国際大会の参加登録はこちら riconvention.org

1905 年の創立以来、ロータリーは平和の推進者としてその役割を果たしてきました。1914 年の国際大会において、「世界各国の間で平和維持に影響を与える団体」を目指すという決議が採択されました。そして 1921 年の国際大会では、奉仕の理念における親睦を通じて国際平和と親善を推進するという目標をロータリー定款に盛り込みました。1945 年にはロータリーは国際連盟の設立において主要な役割を果たし、サンフランシスコで開催された国連憲章会議では、およそ 50 人のロータリアンが使節や顧問、相談役として活躍しました。

そして今日では、「平和の推進」がロータリーの 6 つの重点分野の一つとなっています。プロジェクトの資金源が地区補助金かグローバル補助金であるかにかかわらず、ロータリーの全ての奉仕プロジェクトが平和に大きな影響を与えています。その形はさまざまで、「平和」に関するプロジェクトや「水と衛生」に関するプロジェクト、「基本的教育と識字率の向上」に関するプロジェクト、「経済と地域社会の発展」に関するプロジェクトだけでなく、人間の健康に関する分野、すなわち「母子の健康」や「疾病予防と治療」に関するプロジェクトも平和に大きな影響を与えることができます。どのようなプロジェクトでも構わないのです。困っている人々の生活の質を改善することが、私たちの世界を良くすることにつながる結果となります。そして人々の生活の質の向上が、平和を実現する上で必要不可欠な要素なのです。

さらにロータリーは毎年、世界各地の最大 100 人の職業人をロータリー平和フェローとして選出しています。選出されたフェローには奨学金が授与され、6 カ所あるロータリー平和センターの一つで研究を行い、人権や国際政治学、公衆衛生学、開発学などの分野で修士号または専門能力開発の修了証の取得を目指します。これまでに 1,100 人以上の職業人がこのプログラムに参加しており、良い結果が出始めてきています。

将来を見据え、ロータリー財団の管理委員は最大限の効果が出せるよう、このプログラムだけでなく、平和活動の改善方法についても議論を重ねています。ご賛同の方は、ロータリー平和センターの大口寄付推進の取り組みをご支援いただき、次の世代を担う平和構築の専門家の育成にご協力ください。

Ron D. Burton
財団管理委員長





地区別クラブ数・会員数一覧表

(2018年7月末現在)

地区	R C 数	会員数	17年7月末 会員数
第2500地区	67	2,316	2,305
第2510地区	69	2,606	2,613
第2520地区	79	2,253	2,283
第2530地区	65	2,360	2,401
第2540地区	42	1,141	1,130
第2550地区	51	1,768	1,737
第2560地区	56	2,124	2,116
第2570地区	51	1,639	1,650
第2770地区	74	2,592	2,576
第2790地区	83	2,835	2,821
第2800地区	49	1,610	1,617
第2820地区	55	1,957	1,978
第2830地区	41	1,205	1,179
第2840地区	45	2,127	2,095
第2580地区	70	3,056	3,076
第2590地区	56	2,039	2,060
第2600地区	54	1,964	1,964
第2610地区	64	2,664	2,668
第2620地区	79	3,032	3,049
第2630地区	75	3,183	3,155
第2750地区	99	4,731	4,791
第2760地区	85	4,904	4,866
第2780地区	67	2,413	2,358
第2640地区	69	1,818	1,900
第2650地区	96	4,634	4,629
第2660地区	81	3,623	3,630
第2670地区	74	3,083	3,025
第2680地区	73	2,782	2,820
第2690地区	66	3,063	3,061
第2700地区	61	3,230	3,184
第2710地区	73	3,311	3,291
第2720地区	75	2,476	2,431
第2730地区	66	2,392	2,383
第2740地区	57	2,247	2,252
34地区合計	2,267	89,227	89,094

日本のロータリー

会員概数 88,956人

クラブ数 2,258

(左の表中34地区合計から、第2750地区のP Bグループを引いた数です)

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ9 R C 271人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は34地区合計からP B グループを引いた数。17年7月末P B グループ9 R C 会員数282人。

地区会員数修正 本誌9月号横組みP48(6月末)表中、2520:2,211人、2840:2,112人、2580:3,016人、2750:4,731人、2650:4,577人、2700:3,171人、34地区合計会員数:88,072人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数87,792人。

ご案内 左記一覧表は、3つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組みP44奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

※『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載しています。

ロータリーの友 Home Page www.rotary-no-tomo.jp

インターアクトクラブ名称変更

足利工業大学附属高等学校

→足利大学附属高等学校(2550・足利東)

承認:2018年5月25日

藤花学園尾山台高等学校

→金沢龍谷高等学校(2610・金沢みなと)

承認:2018年5月25日

龍谷大学付属平安中学・高等学校

→龍谷大学付属平安高等学校

(2650・京都洛中)

承認:2018年7月20日

新ロータリーアクトクラブ

厚木中RAC

(2780・神奈川県・厚木中)

結成:2018年7月1日 会員数:12人

事務所:〒243-0017 厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2階 厚木中R C 気付

会長:竹田翔哉 幹事:遠藤澁大

大阪帝塚山RAC

(2660・大阪府・大阪帝塚山)

結成:2018年7月1日 会員数:21人

事務所:〒545-0053 大阪市阿倍野区松崎町2-3-5 藤和シティスクエア503 大阪帝塚山R C 気付

会長:北山智彌 幹事:池島詠美

◆ 公共イメージ向上のための広報誌『世界と日本』第11版刊行

広報誌『世界と日本』を、今年も改訂し制作。見本誌とご案内状(注文用紙付き)は、友誌9月号と同送いたしました。なお、会員候補者のための広報誌『あなたも新しい風に』は第9版が最新です。ご注文はどちらも在庫ある限りとなります。

◆ ウェブサイトで友事務所出版物

友事務所の出版物のお申込みは、ウェブサイト(www.rotary-no-tomo.jp)でも可能です。クラブ・会員専用の「注文・各種変更」からご注文を。

ロータリーの友

11月号主要記事予定

横組み ロータリー財団月間

特集 財団補助金の活用/学友の活躍

縦組み 児童虐待の実情

児童養護施設 大村子供の家副施設長・元ロータリー財団奨学生 松本幸治

クラブを訪ねて 浦添R C



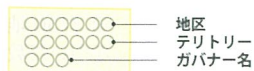
ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階

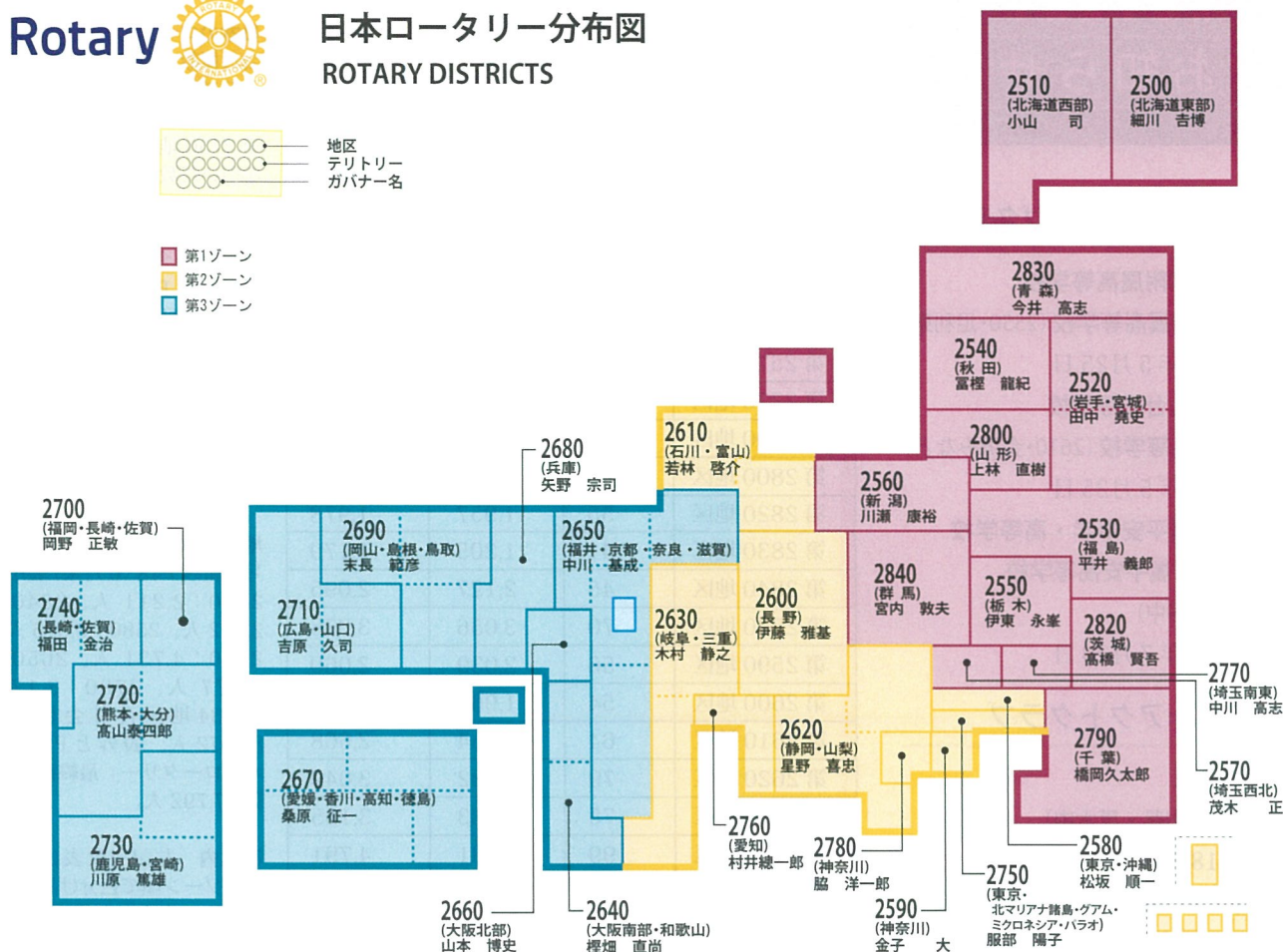
一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第66巻 10月号

2018年9月30日印刷 2018年10月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員

石黒 慶一	(鶴岡西)
三木 明	(姫路)
松坂 順一	(東京葛飾東)
服部 陽子	(東京広尾)
脇 洋一郎	(茅ヶ崎湘南)
山本 博史	(大阪南)

■ 理事会

代表理事	片山 主水	(名古屋東南)
理事	鈴木 宏	(宇都宮北)
	上野 孝	(横浜)
	安平 和彦	(姫路)
	片岡 信彦	(土浦南)
	橋本 長平	(京都東)
	清水 良夫	(横浜)
	柳谷 悦磨	(能代)
	田山 雅敏	(上野東)
	柳澤 光秋	(高知東)
	新本 博司	(那覇)
	浅田 豊久	(東京六本木)
	横山 武志	(東京北)
	中里 公造	(川口モーニング)
	堀口 昇治	(東京西)
	野中 茂	(川崎)
	津村 政男	(東京臨海東)
	渡辺 誠二	(東京みなと)
	野崎 恭子	
監事	小川 湧二	(川崎鷺沼)
	宮嶋 康明	(新千葉)

■ 職員

所長	渡辺 誠二	(東京みなと)
編集長	野崎 恭子	
編集	稲川 やよい	
	黒野 稔二	
	山名 愛	
	飯田亜由香	
	熊谷健太郎	
管理	富澤 美子	
	半田 弥生	
	福元菜穂子	

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員おすすめの本(入手可能な市販書籍)を紹介。書籍名、作者名、出版社、発行年と推薦文(320字以内)。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句(首)まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1カ月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー ★★

3種類のパズル(クロスワード、数独、シークワーズ)を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…友ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…友ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人(現役・学友)を紹介。推薦対象者(インターアクター、ロータリーアクト、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど)について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブ活動の参考としてご提供をお願いします。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は友ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



NEW GENERATION 皆さんの周りの若い人をご紹介します！

横組み「New Generation」のコーナーでは、ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者を掲載しています。現役、学友問いません。身近にいるロータリーに関わる若者を『友』編集部にご推薦ください。特にインターアクターの推薦をお待ちしています。ロータリー学友だけでなく、クラブや地区独自の奨学生の推薦も可能です。推薦者の記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードを。編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp へお寄せください。



※写真ならびに原稿は、友ウェブサイト、広報誌など、(一社)ロータリーの友事務所発行の出版物に掲載場合があります。

「パズル de ロータリー」(7月号)の答え

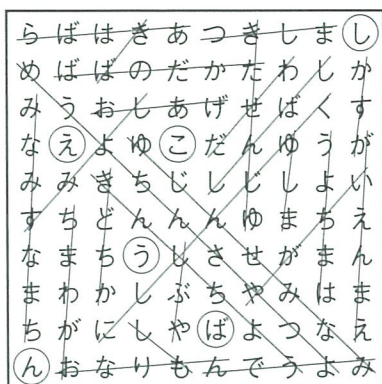
7月号の答え「しばこうえん」



答えは「芝公園」です。東京都港区にある公園または町名で『ロータリーの友』を作っている事務所の所在地です。同じビルには第2750地区ガバナー事務所、ロータリー米山記念奨学会、ロータリー

文庫、ガバナー会など、ロータリーに関連する事務所が集まっており、国際ロータリーの日本事務局へは歩いて10分ほどで行けます。

増上寺を中心に広がる芝公園は、1873(明治6)年に開園し、日本で最も古い公園の一つとされています。園内には東京都指定史跡で前方後円墳の丸山古墳があり、頂には、江戸時代の測量家・伊能忠敬が日本全国を測量する際に近くの高輪大木戸を起点としたことから、



その功績を顕彰した遺功表が建てられています。すぐ近くには東京タワーもあり、歴史あるものと新しいものが融合した町並みとなっているため、観光客などの撮影スポットになっています。近くまで来た時はぜひ友事務所にお立ち寄りください。

応募総数 154人 正解者 150人

当選者(敬称略・順不同)／高宮真樹(宮崎西RC)、作田陽子(郡山南RC)、川原真奈美(瀬戸田RC)、山本敏夫(草津RC)、品川鐵夫(富山みらいRC)、池田長示(鳥羽RC)、高田洋(多良木RC)、柴田知啓(五條RC)、小曾戸健治(葛生RC)、宮崎 隆(下関RC)

日の丸リムジンのハイヤーサービス 「腕よりも心で」

当社は安全運行・マナーやモラル・情報管理・きめ細やかな心遣いに配慮する教育と、業界で最も多く英語のできるドライバーを雇用し、様々な用途に対応する車両を保有することで、国公賓をはじめとするVIP送迎業務に関し多くの実績を要しております。お客様には様々なシーンでご利用いただけるよう、ご対応しております。



<多様なサービス>

- ・定期送迎サービス(通勤利用)
- ・専属送迎サービス(役員車・社用車)
- ・空港送迎サービス
- ・ゴルフ送迎サービス
- ・スポットでのご移動に

海外からの大切なお客様、少人数グループ、ご家族とのレストランやショッピングなど行き先・滞在時間などご要望通りにご利用可能です。

<多彩な車両>

- ・ロールスロイス
- ・ベンツマイバッハ
- ・ベンツSクラス
- ・TOYOTAセンチュリー
- ・レクサス
- ・TOYOTAクラウン
- ・NISSANフーガ

- ・テスラモーターズモデルS
- ・テスラモーターズモデルX
- ・TOYOTAアルファード
- ・TOYOTAハイエース
- ・TOYOTAハイエース改造タイプ
- ・ベンツVクラス
- ・ベンツプリンター(Coming Soon)

● お問い合わせ・ご予約は ●

株式会社日の丸リムジン 丸の内営業所

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-12-1 新有楽町ビルB1F

ご予約専用メールアドレス: hino.reservation@hinomaru.co.jp

ご予約専用電話: 03-3215-0818

お問い合わせ・ご相談・ご予約は お気軽にご連絡下さい。



HINOMARU LIMOUSINE

◆ P39 詰め碁の答え ◆

黒先白死（16の三）

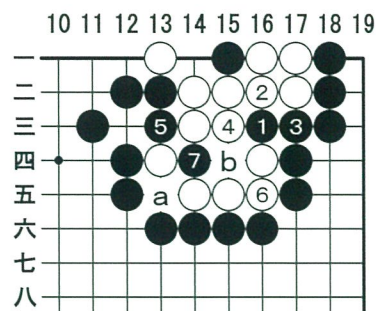
この問題に関するお問い合わせは、下記（公財）日本棋院認定係までお問い合わせください。

TEL：03-3288-8723

FAX：03-5211-8814

◆ 解説 ◆

黒1とハネて、白2の応手に黒3と戻る手が冷静です。白4を誘った後、黒が5と打ってもaと打っても、白は窮します。黒5に白6は黒7のホウリコミが眼を取る筋です。黒5でa、次に白5は黒bで白死です。初手黒3は白1とオサえられます。続いて黒2と白三子を抜いても、白bと急に手を入れて、ぴったり二眼です。



□表紙について

横組みの表紙 自分の力で生きられる幸せ



イラストレーター おかドド

「手に職」という言葉がとても好きです。自分が望んだ職であるかどうかは別として、お金を稼げる、つまり生きていくのに必要な術の1つを身につけているという意味で、とても力強さを感じるからです。

縦組みの表紙 運動会

イラストレーター ますこひかり
走れ走れ、やったーうちのとこ1等賞！ こらー、そこ、列に戻りなさい！



あ 編集部のあとがき

今月の特集テーマは「明治150年」！ 母方が会津の自分、編集に気合が入ります。そういや年始に雪の会津を訪れた時、町にあふれる掲示物の文字は「戊辰150周年」。「明治維新」という言葉は使いません。「勝った方はお祭りだろうけど、やられた側のこっちはね！」と息巻くパーティーのおとうさん。酒の上の冗談が本心か、東京生まれの自分は判断できないものの、生の歴史に触れた気がした鶴ヶ城近くのバーの夜でした……。そんなこともあり、会津と薩摩の友好クラブ締結をはじめ、各クラブの皆さまのエピソードに興味津々。歴史が縁でつながるクラブ、他にもあるでしょうか。『友』編集部にお寄せください。／9月号特集「子どもの貧困・居場所づくり」もいかがでしたでしょうか。皆さまのクラブの事例など、こちらも『友』編集部にお寄せください。（編集部・ちよい歴女 山名）

SEIKO

周年記念に
時計を
贈りませんか？

時と空間を彩り、時代を経ても変わらぬ品質と信頼性。
皆さまに永く愛される商品を心を込めてお届けいたします。



名入れ・記念プレートも承ります

お気軽にお問い合わせください

セイコータイムシステム株式会社

〒135-8610 東京都江東区福住2-4-3 Tel.03-5646-1601 / Fax.03-5646-1602
http://www.seiko-sts.co.jp

札幌 / Tel.011-640-6280 東北 / Tel.022-261-1323 信越 / Tel.0263-27-8601
名古屋 / Tel.052-723-8531 大阪 / Tel.06-4705-9311 広島 / Tel.082-245-2571
九州 / Tel.092-475-1291

声

7月号の

感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】

ロータリーの友

【感想】ロータリー用語や普段あまり使わないカタカナ語の意味が、ページ下方にあつたら、理解しやすいのではないかと。

【対象記事】

国際ロータリー(R)テーマ紹介・インスピレーションになろう(横P 20)

【感想】文中に「残念なことに、ロータリーがどんな団体で、どんな活動をしているのかを十分に理解している人は多くありません」とありました。あえて、言いたくない言葉を伝えていることが素晴らしい。その後の文章も読みたくなります。

【対象記事】

クラブイノベーション・ノマドロータリーEクラブ(横P 55)

【感想】ノマド(定住しない民)もすごいのに、ロータリー活動をしながら例会を欠かさない。年2回の会合が1週間続くこともあって、奉仕活動のスピードを上げているとのこと。私たちの普通の例会にも、変化のヒントをもらった気がします。

黒石RC 小友美保子

【対象記事】

Rテーマ紹介・インスピレーションになろう(横P 20)

【感想】Rテーマの翻訳について、日本で「インスピレーション」を使う場合、靈感とか思い付きといった意味で使われることが多い。このままでは「靈感を感じる人になろう」と誤解する人がいると思います。アメリカのロックバンド・シカゴの歌にあるように「THE INSPIRATION」の訳は「勇気を与えてくれる人」です。従って、「人に勇気を与える人になろう」にすれば、分かりやすいと思います。

日出RC 加賀山 茂

【対象記事】

エバンストン便り・国際大会へのカウントダウン「あなたの知らないドイツ」(横P 58)

【感想】「ハンブルグ」という表記について、ドイツ語の発音の規則から、正しくは「ハンブルク」です。開催地の名称を正しく記載しないのは、いかなるものでしょうか。

名古屋瑞穂RC 平野 好道

【編集部から】

ドイツ語では「ハンブルク」となりますが、英語圏では最後のgを「グ」として発音することが多いとのこと。『友』誌は公式地域雑誌として、Rの資料に合わせ、「ハンブルグ」と表記しています。

【対象記事】

ガバナーの横顔(横P 22〜39)

【感想】ガバナーの紹介記事は毎年楽しみにしている。自分が所属する地区のガバナーについてはお付き合いがあつて分かるが、全国各地にも素晴らしい人がいることが分かり、実に頼もしい。ロータリーの層の厚さを認識させ、やる気を起こさせてくれる。 本宮RC 高田 宗彦

【対象記事】

ロータリー日本100年史・神崎正陳氏の「米山の生の声から伝わってくること」(横P 46)

【感想】判断が伴って初めて常識だ」とある。私も常識を間違つて認識していました。米山梅吉翁の貴重なお話を掲載していただき、感謝しています。 東予RC 大岩 知喜

【対象記事】

詰め将棋(横P 56)

【感想】7月号から詰め将棋(詰め碁と隔月掲載)のコナーが開設され、長年の将棋ファンとして喜ばしい限りです。藤井聡太七段の活躍や羽生善治永世七冠の誕生など、将棋界は注目されています。ロータリーでも将棋ファンが増えることを願っています。 横浜鶴見北RC 今井新一郎

【対象記事】

スピーチ・藤重佳久氏の「音楽教育は人間教育」(縦P 4〜8)

【感想】指導の際、叱ることは感情的に容易ですが、褒めるのは非常に難しいことです。この講演録を読んでも、今更ながら自分自身に反省しています。 河北RC 松本 秋景

【対象記事】

卓話の泉・星野泰三氏の「がん治療の新薬」(縦P 19)

【感想】薬のほとんどは発売後に評判が落ちるとも聞きますが、新薬に対する期待の表れなのでしょう。即効性が求められているのでしょう。効く薬は取り扱いを注意しないと毒になるということですね。 日立北RC 鈴木 國友

【対象記事】

ロータリーアットワーク(文章編)・福山RCの「福山RC3000回例会」(縦P 29)

【感想】感激したのは3000回例会ではなく、親子、孫の3代そろって在籍していることです。親子2代はよく聞きますが、3代はびっくり。一度、訪問してみたいと思いました。 東京東村山RC 野澤 秀夫

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトをご覧ください。

ための休憩所を設け、熱中症にならないよう、塩分などミネラルの吸収を助けるクエン酸入りのドリンクを無料で配布しています。今年はJRの観光キャンペーンが展開されたこともあり、初日から800人以上が、当クラブの休憩所に立ち寄ってくれました。

同公園内には女優の吉永小百合さんがJR東日本のテレビCMを撮影した場所があり、同じ場所ですぐ撮影する女性の観光客も多くいました。

休日の野外ステージでは地元中高生、大学生による和太鼓や吹奏楽の演奏、合唱などがあり、感動を呼びました。団体客が来ると、当クラブの休憩所のスタッフは大わらわ。遠く中国からの観光客もいました。立ち寄った皆さんからは、温かなおもてなしと冷たいドリンクに、「ありがとう」との感謝の言葉をいただきました。なお、休憩所では、ポリオ撲滅の募金も、忘れずお願いしました。

就活でも活躍を期待！ 金足農業高校生

秋田港ロータリークラブ

第2540地区・秋田県

当クラブは6月25日、今年の夏の甲子園で準優勝した、地元の秋田県立金



緊張した様子の生徒を前に模擬面接

足農業高校で「高校生就職懇話会」を開催しました。

当日は会員5人と会員企業の面接担当経験社員2人、学校からは生徒24人と就職指導の先生2人が参加。就職希望の高校生に対して「企業はどういう人材を求めているか」をテーマに、会員が面接に臨む際の心構えや態度などを話した後、参加生徒一人一人との模擬面接を行いました。

就職のあつせんではなく、高校で就職のための本格的な指導を受ける前に、実際の企業人の言葉に耳を傾け、面接の仕方を経験してもらうことが目的です。1991年に懇話会としてスタートし、その後、本格的な模擬面接を行う今日のスタイルとなりました。初めての面接体験ということで、と

ても緊張した様子の生徒たちでしたが、後日、「就職に対する意識が高まりました」「相手が求めている質問に簡潔かつ適切に答える力を身に付けました」といった感想と共に、感謝の言葉が添えられた手紙が届きました。クラブとして、今後も継続していきたい活動です。

社会奉仕から青少年奉仕へ

大阪城南ロータリークラブ

第2660地区・大阪府

大阪市天王寺区にある大阪教育大学附属天王寺中・高等学校のキャンパスには、「学びのもり」と名付けられた緑地がある。日本の里山で見かけるような、いろいろな種類の樹木が配され、保護者や生徒により手入れされている。多様な学習活動を行う場として活用されており、屋外で精神を解放させながら読書を行うことをコンセプトとする「道草館」という読書スペースが設置され、生徒たちは木陰に佇み自由に読書することができている。

この収蔵書籍は、教師やPTAの推薦、生徒の希望によって選ばれた素晴らしい本ばかりであるが、刷新するために順次廃棄されていることを、私が学校医の業務で訪れた折に知った。



学びのもりで図書の贈呈式

当クラブはかつて、社会奉仕事業として大阪府立生野聴覚支援学校に図書を寄贈していたことがある。今回は両校の間をクラブが仲介し、廃棄される書籍の一部を聴覚支援学校に寄贈する提案をし、6月13日、「学びのもり」で第1回贈呈式が実現した。

図書寄贈事業は、天王寺中学・高校の生徒が社会奉仕について考えるよい契機となるだろう。また、両校の生徒が交流を通じ、理解し助け合う意義を考えることになれば、青少年奉仕事業として大いに意義のある活動になる。単なる「物」として図書を寄贈して終わるのではなく、将来を担う青少年が助け合い、奉仕をする「心」の交流へと発展することを願う。

(浅井晃・記)



おそろいのシャツでロータリーをPR

リタイアメント」という手法を導入し、ポリオ撲滅や医療、教育への理解と協力を訴え、寄付を募ってきました。これはロータリアンとして称賛に値する活動であり、職業奉仕の規範となる取り組みと思います。

AACRには毎回約2000人が参加しており、今回も多くの寄付金が集まりました。長野県と地元NPO法人、松本空港RCの3団体に、それぞれ70万円の寄付があり、6月29日に（公財）ロータリー日本財団を通じて全額を寄付しました。

国際ロータリーではポリオ撲滅のため、2017年からの3年間、毎年5000万ドルの寄付目標を発表しています。これに呼応し、ビル&メルinda・ゲイツ財団は、年間5000万ドルを上限として、2倍額をマッチング

する誓約を延長しました。

今回、当クラブから70万円、つまりマッチングにより計210万円の寄付したとすれば、ポリオワクチンが一人分約60円ということですので、何と約3万5000人が投与を受けられることとなります。寄付をしてくれた選手の皆さまに心から感謝しています。

（前田祐一・記）

創立60周年記念事業で キッズテニス教室を開催

東京日本橋ロータリークラブ

第2750地区・東京都

6月23日、クラブ創立60周年の記念事業として、中央区立久松小学校において、当クラブと中央区教育委員会との共催で「キッズテニス教室——2020東京パラリンピックを応援しよう」を開催。この教室は、同教育委員会が行っている課外活動「プレイ（play + study）からの造語」の一環として開催されたものです。

テニスの指導は（一社）童夢にお願いし、車椅子テニスにおける日本のトッププレイヤー、本間正広選手と藤本佳伸選手を招いて開催。当日は当クラブの小堺裕一郎記念事業委員長（当時、以下同）の開会宣言、古沢熙一郎会長らのあいさつに続いて、各選手から自



車椅子テニス選手の話に耳を傾ける子どもたち

分の経験を語っていただきました。

藤本選手は高校時代、器械体操の練習中に鉄棒から落下して車椅子生活に入ったそうです。しかし、何事にもくじけずに目標に向かって進むことの重要性を強調していました。

また、本間選手は大工仕事の際に2階から落下して車椅子生活になったとのこと。勇気を出して一歩を踏み出す大切さを語りかけていました。

続いて、子どもたちも初めて車椅子に乗ってトレーニングを行いました。その後、車椅子テニスの練習をしました。だが、ボールを打つのに精いっぱい、車椅子を操作しながら、というところまでは難しいようでした。

終了後、子どもたちは選手からサインボールをプレゼントされ大喜び。「楽しかった」との感想がほとんどで、日

頃経験をすることができない車椅子テニスを通じて、2020東京パラリンピックへの興味を持ってもらえたのではないか、と思いました。

（坪井昌造・記）

熱中症予防に クエン酸ドリンク

大田原ロータリークラブ

第2550地区・栃木県

6月16日～7月8日、大田原市で「くろばね紫陽花まつり」が開催されました。会場となった黒羽城址公園とその周辺には6000本以上のアジサイが植えられています。当クラブでは毎年、地元の中学生や新社会人と共に、アジサイを植栽しています。

また、祭期間中は毎年、観光客の



無料休憩所でおもてなし。ポリオ撲滅募金もお願い

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介。600字以内、字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

第28回慰霊の日に 平和学習クリーン奉仕活動

沖縄分区分区インターアクトクラブ

第2580地区・沖縄県

当地区沖縄分区分区インターアクトクラブは毎年、宜野湾市にある嘉数高台公園で、6月23日の沖縄慰霊の日を前に「慰霊の日 平和学習クリーン奉仕活動」を行っています。ここは沖縄戦の激戦地で、当時の砲弾跡やトーチカ（防衛陣地）、陣地壕が今も残され、慰霊塔も数多くある折りの場です。展望台からはアメリカ軍普天間飛行場が見下ろせ、沖縄の過去と現在を実感できる場所でもあります。

6月17日、第28回の今回は3校からのインターアクト三十数人、3クラブからロータリアン二十数人が参加。広い園内で落ち葉や紙くず、たばこの吸い殻などを拾い、約1時間でごみ袋



インターアクトによる献花

20枚がいっぱいになるほどでした。

清掃活動で汗だくになった後は、慰霊塔の前に集合し、献花、千羽鶴の奉納、黙とう、ロータリアンによる沖縄戦の講話があり、戦争の悲惨さと平和の尊さを改めて学びました。参加したインターアクトからは「かつて悲惨な歴史があったことを忘れてはならない」「平和について改めて考えることができた」などの感想がありました。

今回は前日に台風が直撃し開催が危ぶまれましたが、当日は好天に恵まれ、会を主催した長位好長顧問教師会長によると「この28年間、雨による中止は一回もありません。天気も生徒たちの応援をしてくれているようです」とのこと。暑い日差しの中、爽やかな汗と笑顔があふれた一日となりました。

（那覇東RC 渡慶次薫・記）

クラシックカー・ラリー

京都城陽ロータリークラブ

第2650地区・京都府

4月30日、2017-18年度のクラブ会長を務めた西尾善三郎会員の意向で、クラシックカーや、スーパーカーといわれる名車のオーナーの協力を得て、社会奉仕・職業奉仕・青少年奉仕の3委員会の協同事業として「第1回ロータリー・クラシックカー・ラリーin城陽」を開催しました。城陽市の久御山町役場から市内の文化施設・文化パルク城陽までの約20キロを走行、その後、文化パルク城陽内の臨時駐車場で展示して、来場者にチャリティー募金を呼び掛けました。

当日は晴天の下、51台もの車が勢ぞろい。同役場前で久御山町長と共に出発式を開き、スタートしました。スーパーカーの中にはとても貴重で高価な車種があり、地域住民が沿道から走る姿を眺めていました。展示会場には多くの人が集まり、各車のオーナーにいろいろな質問をしていました。

各種団体の協力を得て、模擬店や物販コーナーも設置し、約5500人の来場者がありました。地元紙やテレビで告知した結果だと思えます。募金もたくさん集まり、城陽市と久御山町の



51台もの車が並んだ展示会場

各社会福祉協議会へ寄付することができました。

自転車ロードレースで ポリオ撲滅

松本空港ロータリークラブ

第2600地区・長野県

当クラブには、2000年のシドニーオリンピックにマウンテンバイククロスカントリー日本代表として出場、全日本チームの監督も務めた鈴木雷太会員がいます。その彼がプロデュースしている自転車ロードレース「アルプスあづみのセンチュリーライド（ACR）」は、毎年4月と5月に開催されています。

鈴木会員は、ACRに全国から参加する選手に向け、申し込み時に「チャ

ROTARY AT WORK



**ブルガリア国花のバラ
五輪選手団と協同植樹**
〈村山RC・村山ローズRC〉
村山市は東京五輪のブルガリア新体操代表チームのホストタウンとして、昨年から選手団の事前キャンプを受け入れている。クラブも交流に協力すべく、村山市とブルガリアの国花が共にバラであることから、香りが良いブルガリア産タマスクローズを東沢バラ公園に植えることにした。苗木を送ってもらい、選手、幼稚園児と一緒に植樹した。
(6月19日 第2800地区山形県)

ROTARY AT WORK



**大歓声！
カブトムシ相撲大会**
〈柴田RC〉
カブトムシは子どもたちに大人気の昆虫。飼育することで、自由研究の教材や自然に親しむきっかけにしてみよう、と、餌と虫かごを付け、240匹を柴田町立西住小学校に寄贈した。当日は相撲大会も行い、児童は選り出したカブトムシを、丸太で作った土俵の上で力比べさせ、歓声を上げながら応援していた。
(7月19日 第2520地区宮城県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

五輪を機に町の清掃活動を実施
〈東京お茶の水RC〉
今年1月から毎月1回、土曜日にウオーキング・クリーン・プロジェクトを実施している。千代田区内の清掃活動をしながら地域の歴史を学び、最後は反省会という名の懇親会を行う活動。温故知新、新会員との連帯感も促進され、一石三鳥のプロジェクトになっている。この活動は2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックまで継続する。
(6月23日 第2580地区東京都)



ROTARY AT WORK

会員が接客 カフェに子どもたちを招待
〈門司西RC〉
北九州市の勝山公園内にオープンするカフェレストランに、市内の児童養護施設の子どもたちを招待した。このお店はPark PFI(民間資本で都市公園を活用・整備し利用者の利便向上を図る手法が適用された全国初の施設で、会員の企業が運営している。他の会員も制服を着てサービスを手伝った。子どもたちは新しい店で自分で注文をし、大人になった気分を楽しんだ。
(7月11・12日 第2700地区福岡県)



ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



留学生と交流登山

〈室蘭北RC〉

クラブ国際奉仕委員会が主催し、室蘭工業大学の留学生と室蘭岳（鷲別岳）交流登山を実施した。活動は今回で3回目。定員30人のところに70人の応募があるほどの人気イベント。抽選で選ばれた留学生と好天の下、登山に励んだ。下山後にはロッジでジンギスカンパーティーを開き、懇親を深めることができた。

（6月10日 第2510地区 北海道）

ROTARY AT WORK



特別支援学校生徒の作品を 展示・販売

〈東京東江戸川RC〉

特別支援教育への理解促進と生徒の社会参加意欲の向上を目的とし、都立白鷺特別支援学校の生徒が作った作品を江戸川区内の信用金庫店舗で巡回展示した。区内しんきん協議会の協力を得たもので、展示台はクラブが寄贈。「白鷺マルシェ」と題した作品は購入することができる。生徒の作品を多くの人に見てもらえるよう期待している。

（7月10日 第2580地区 東京都）

ROTARY AT WORK



日台の友好を願う サクラを植樹

〈八代東RC〉

4月に八代市と台湾の基隆（キールン）市が友好都市を締結した。これを記念し、台湾の友好クラブである基隆西北RCと八代市で植樹を実施。基隆西北RC会員、熊本第5グループのガバナー補佐、八代白百合学園高校IACの会員、八代市議会議長が参加し、ソメイヨシノ3本を、新八代駅前植えた。春に花が咲くのを、今から楽しみにしている。

（6月1日 第2720地区 熊本県）

ROTARY AT WORK

江の島海岸をきれいに 協同作業を実施

〈第2780地区〉

地区米山学友会委員会の主催で毎年行っている「江の島海岸クリーンキャンペーン」。今年も脇野一朗ガバナーをはじめ、米山奨学生と学友、会員の総勢200人以上が参加して実施。大勢の海水浴客でにぎわう中、プラスチックの破片や流木などを回収。その後、米山学友会が準備したバーベキューを囲み、楽しい一日となった。

（7月8日 神奈川県）



ROTARY AT WORK



**交通安全5つのちかい
啓発うちわを配布** 〈鯖江RC〉
鯖江市東公園陸上競技場で行われた「特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会」で、市が制作した交通安全啓発うちわにクラブ名を加え親子連れなど約1000人の参加者に配布。うちわには市のキャラクターと共に、5つのちかいとして交通安全の標語を掲載。交通事故ゼロを目指して、ルールを守る大切さを啓発することができた。
(7月16日 第2650地区 福井県)

ROTARY AT WORK



**地元の川で自然観察
水遊びも楽しむ**
〈志布志RC・志布志みなとRC〉
自然保護活動を行うNPO法人「メダカの学校がこしま」と連携し、毎年8月に自然との対話をテーマに野外活動を行っている。子どもたちが自然に親しみ、故郷を思いやる気持ちを育む目的で始まり、今年で26回目。今回は小魚、エビ、カニなどを手づかみで捕る自然観察会や水鉄砲作りなどを通して、子どもと保護者は学びと遊びを体験できた。
(8月5日 第2730地区 鹿児島県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

**市民の宝 名勝庭園を
協同で美化清掃**
〈宇部西RC／宇部フロンティア大学付属香川高校1AC〉
宇部市内の宗隣寺にある国指定の名勝庭園「龍心庭」で清掃活動を行った。45年前から継続する活動で、ロータリアンとインターアクター、米山奨学生と一緒に作業を行った。暑い日差しの中、池の水を抜いた後にヘド口を取り除き、落ち葉などを片付けて美化に取り組んだ。住職からは、庭同様参加者の心もきれいにいったと思うとの言葉をもらった。
(7月8日 第2710地区 山口県)



ROTARY AT WORK

**創立60周年記念事業
ロータリーの集い開催**
〈伊丹RC〉
「第16回ロータリーの集い」を開催した。第1回から第15回までは会員の深川純一バスターガバナーが講師となり、ロータリーの勉強会として継続してきた。今回はクラブ創立60周年記念事業として「この素晴らしいもののロータリー」をテーマに、地区から5人のバスターガバナーが講演。地区内外から120人が参加した。クラブでは今後も継続を予定している。
(6月16日 第2680地区 兵庫県)



ロータリー アットワーク

ROTARY 写真編 AT WORK

米山梅吉翁の生涯を 米山学友、奨学生が熱演

ロータリー米山奨学生学友会（東京）
第2580地区 東京都

「アメリカに行つて、しっかり勉強してきなさい」「ありがたうございます!」こうして、米山は皆に見送られてアメリカに出發したのでした。その時、梅吉、20歳。7月7日、都内で行われたロータリー米山奨学生学友会（東京）総会で、米山学友と米山奨学生が寸劇「米山梅吉物語」を上演。米山翁の生涯を演技とせりふの朗読、音楽で表現したもので、昨年8月、「世界米山学友による感謝—N熊本」で米山奨学生学友会（関西）が制作・初演したものを改編。東京で初のお披露目となりました。

難航したのが人集めと日程調整。皆、学業や仕事で忙しく、昨年10月の初日練習に集まったのは8人。ロータリアンも練習場の提供や出演などで協力し、練習を重ねること15回。「最後は30人のチームで演じることができました。皆が米山精神を学び、交流して仲良くなれました。今後も他の学友会などで上演機会が増えればと思います」と、総監督で同学友会理事長の梁一強さん。劇の最後には、全員が壇上で拍手を浴びました。

劇中、アメリカでの苦学生時代、梅吉の師・本多庸一先生（東京上野RC・外山昌一会員）がこう諭します。「速く行つてまづくするより、遅くていいからしっかりといいものを残したほうがいい」。米山梅吉を演じたエンフォルド・ガンエル・アネさん（モンゴル）の心には、このせりふが個人的に響いたそうです。「自分も今、社会で何かやりたい気持ちがあるのにお金や時間的な理由などで悶々としていました。でも、この言葉を聞いて『ああ、焦らなくてもいいのかな』と感じました」。出演者、約120人の観客ともども米山精神への理解を深め、多くの縁、そして歴史をつなぐ舞台となりました。（取材：『友』編集部 山名愛）

風となるまで遊びけり夏の山

長野・飯田南

木下 親亮

乙女らの湯上がり匂ふ夕涼

東京西南

菊池 恭三

入院の夫と見つめる夏の空

東京荒川

井上 久子

豪雨禍の搜索続く暑さかな

神奈川・横浜戸塚

中村 裕一

年波のゴルフは楽し生ビール

山梨・甲府西

太田 道夫

騒音も空に貼り付く酷暑かな

愛知・新城

鳥居 栄一

梅漬に八十路の勤め果しけり

岐阜長良川

奥村 幸江

馬欄に掛け忘れられたる夏帽子

富山南

升田 義次

あまいろは麦藁色に五月空

福井南

松山 古来

天の川はやぶさ二号ドッキング

大阪・堺東南

武田 耕道

Tシャツの白き二の腕薄暑かな

香川・高松

大平 昇

遮断機の上り極暑の動き出す

徳島・阿波池田

山下 玲子

駅前に緑陰を得て汽車を待つ

福岡城南

吉武 草徑

お見合いの二人を残し夏座敷

大分中央

岩男 好員

竹は皮脱ぐ山の辺の道に風

埼玉・日高

落合 好雄

三角錐を引いて進める母鴨の後追い泳ぐあどけない六羽

島根・隠岐西郷

高井 初子

大雨を降らせあまたの命取り

素知らぬ顔の今日の青空

和歌山・田辺

山路 守

ザンビアの入国管理の事務所横

ヒヒとツチブタ我らを歓迎

岐阜加納

鶴飼 武彦

鶴見川の辺に立てる地藏堂

神奈川・横浜

長谷川武雄

今時の胸に子供をくくりつけ

昂然と歩く女性頼もし

千葉・富里

寒郡 政雄

一幅の絵画のごとし窓に見る

天空の藍きわまりて夏

茨城・古河東

小山 幸子

父の日に娘より届きしシャツまとい

街いくとときの心嬉しき

長野・佐久コスモス

中澤 道保

くつきりと花弁彫られし紫陽花に

八仙花の名あり漆芸展にて

香川・高松

平峯 千春

祭にて町内安全祈願する

住持の経にただ低頭す

奈良

寺田眞佐子

入院の夫を毎日見舞ふとき

待ちつ待たれつ逢引めきて

東京荒川

井上 久子

新しき友を迎へて新年度

初例会は賑やかに発つ

秋田・能代

成田 繁穂

満点でないから味方だと思っ

大阪西

鴨谷増美子

池の水抜いて雑念消していく

兵庫・神戸中

吉井 邦弘

パリに着きラビアンローズ口ずさむ

福岡イブニング

能美 誠

半世紀前は三十九歳でした

広島・呉東

正岡 一良

泳ぎ方変えて人生楽になる

大阪東淀ちやまち

小坂 克彦

ウインドに自分を映し闊歩する

長崎・諫早

下釜 貞志

君に逢う墓前に咲いた彼岸花

神奈川東

吉田 隆男

立食パーティ健康に良い残り物

神奈川東

我妻 隆邦

一刀流でも打って走って絵にはなる

大阪・堺清陵

物種 唯修

そうだねと言ってくれば仲直り

東京日本橋東

井口 弘子

広辞苑スマホに負けるように見え

富山・射水

江守 正

頑固じゃない意志が強くて堅いだけ

京都・宇治鳳凰

辻 幸男

新会長点鐘の的定まらず

山梨・甲府北

土橋 幹夫

良き酒は闇と手酌で深くなる

愛知・新城

鳥居 栄一

俺と松散髪すんで爽やかに

新潟・吉田

佐藤 良一

運動会気持ちが先を走ってる

福島・本宮

高田 宗彦

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇葉書ウラにもクラブ名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



稲畑 汀子 選

あなどりてをらねど梅雨の豪雨かな

京都・福知山 松山ひとし

地球温暖化の影響なのであるかは分からないが、今年の気象の変化の厳しさは、これまでと違った印象を受けるものであった。雨が降れば百ミリを越える強烈な降り方をして、たちまち洪水という被害に繋（つな）がる。作者も豪雨にいかに対処するべきか、降る雨に無事を祈る心の推移が想像される真摯（しんし）な一句である。

夕立の洗ひ上げたる星明り

大阪北 吉田 邦男

近頃の都会では、明るい街のために、星空が望めない。また、雲の退かない夜空は、人々の生活の中に星の存在を忘れさせてしまったようにも思う。暑かった一日を洗い落とすように夕立があり、空が洗われたように澄んでいるのに気づいた作者。星も見えてくるのに気がついた作者の心の推移が想像される。

ひとり居の夜の濃くなる花みかん

大阪心斎橋 西村 拓夫

雪嶺や日光きすげ踏み場なし

東大阪東 溝畑 洋子

四代目の寿司屋たつぷり水を打つ

北海道・登別 寺島きしを



佐佐木幸綱 選

洪水の中を泳ぎて屋根の上に
一頭の馬生きて見つかる

岡山・倉敷東 吉岡 洋子

西日本豪雨で大きな被害を受けた倉敷市真備町。その真備町の農場で飼育されていたミニチュアホースが、洪水で流されたのでしょうか、なんと民家の屋根の上で生存しているのが発見された、というニュースを私も読みました。写真も見た記憶があります。

そのニュースを、ドキュメンタリー風に、そして簡潔に、短歌形式でまとめてみせた工夫に注目しました。

酔い酔いてワインボトルの底にある
濃に変身してみたき夜

宮崎 蘭田 潤子

赤ワインで酔っぱらっている気持ちになった状態を表現しているようです。たぶん、よく飲む作者なんでしょう。年代物の赤ワインはボトルの底に濃ができます。その濃に変身すれば、ずっとワインに浸かっていられるわけです。

「なかなか人にとあらずは酒壺（しゅ）になりてしかも酒に染みなむ」。いつそのこと酒壺に変身したという『万葉集』の伴旅人の歌を思い出しました。

田植前箱の早苗の美しさ
早苗のみどりに手を触れてみる

長崎・松浦 太田 晴康



てじま晩秋 選

平成を送る業界陽が当たたる

群馬・伊勢崎 茂木 克美

たくさんさんの想い出に温かく包まれた平成の時代も来春、変更となるでしょう。「平成の天皇」お疲れさまでした。明治、大正、昭和、平成と綴られてきました元号はどんな名に変わるのでしょうか。国民全体の関心事でありますね。

遊歩して歩いてみたい江戸の街

神奈川東 田口健太郎

註記に江戸東京博物館見学してとあります。私も幾度か行き、最後に感じたのが「あの時代の日本人は総じて背が低かったのだなあ」というものでした。実物大に建つ長屋。その江戸の町並みもコンパクトでありました。

世界一高くついてもいい平和

大阪大淀 長谷川眞哲

戦後七十三年、わが国は戦争をしていません。つまり、平和な世の中がありがたくも続いております。これは実に素晴らしいことです。ずっとずっと続けていかなければ、です。国民全体の大切な願いと言えましょう。

譲られた屋台の椅子が暖かい

新潟 小林 悟

そろそろこうした光景を見かける楽しい季節になります。日本人の暖かい場面……いいですね。勝手な解釈で申し訳ないですが、昔からのこの雰囲気は孫子の時代まで続いてほしいと密かに念じております。

ビーガンとは

鶴岡市観光物産課
国際交流員 ミヨ・サラ

食生活でのマイノリティーの一つにビーガンがあります。ビーガンとは、ただお肉を食べないだけでなく、動物性食品を完全にやめている人を指す言葉です。肉や卵、乳製品、はちみつも口にしません。食生活以外にも広がる概念で、皮革や羊毛製品を着ません。動物実験が行われた化粧品も使わないというライフスタイルを送っています。

アメリカでは、肉食の健康被害に迫った「What the health」や、家畜の実態やその痛みに切り込んだ「COWSPIRACY」というドキュメンタリー映画が話題となり、ビーガンブームになっています。

ビーガンになる理由の一つに健康面があります。動物性食品を食べることで、肥満になったりコレステロール値が高くなるなど、健康への悪影響を考えるとビーガンになる人がいます。

倫理的な理由でビーガンになる人もいます。動物にも感情があり、痛みを感じるから食べてはいけないと思う人たちです。例えば、子牛から離されたお母さん牛が約3

週間鳴いていたという報告があり、そうした状況のことを残酷だと感じる人がビーガンになります。

環境破壊も理由の一つです。スイーツによく使われるパーム油を生産するために、多くの森林が伐採、焼き払われるため、生息するオランウータンなどの野生動物を減少させています。こうした環境と動植物への影響を考えるとビーガンになる人もいます。

肉を食べないとタンパク質不足になると思う人がいるかもしれませんが、大豆、野菜などがあれば、肉なしでも生きることができます。むしろ大豆のタンパク質には人間の体に必要な必須アミノ酸を多く含みます。

世界には、ビーガンをはじめとするベジタリアンやハラル食品しか食べないイスラム教徒の人など、さまざまな人がいますが、食生活における差別は、他の差別と同様に人を傷つけます。今後、海外から留学生や観光客をより多く受け入れるためにも、食生活の多様性を受け入れ、理解が必要です。彼らのニーズに応えるため、飲食店のメニューにビーガンロゴを貼ったり、アレルギー性の食品を英語で表示するなどしてはいかがでしょうか。まず、他人の食生活を理解することが国際化への一歩です。

(第2800地区・山形県・鶴岡RCにて)

村上海賊の娘

単行本 全2巻／新潮文庫 全4巻

真岡西RC 谷中 洋子

『村上海賊の娘』は、和田竜による長編時代小説で、2014年の本屋大賞と吉川英治文学新人賞を受賞。約1000ページある大作だが、単行本だけでも100万部を売り上げるミリオンセラーとなっている。

1576(天正4)年の第一次木津川口の戦いで村上水軍の当主・村上武吉の娘で、20歳の景の活躍を描いている。景は軍船に乗り、瀬戸内の海で狼藉を働く者を成敗するなど、男の戦いの中で活躍する。

景の天衣無縫の生活はもとより、奇想天外な海戦は、一気に読み進めさせる。時代小説の第一人者の力量のほどがうかがい知れる。景ほどではないが、オテンバだった少女時代を懐かしみながら読み進めることができた。映画やテレビドラマでも見てみたいと思う。(第2550地区 栃木県)



和田竜 著
新潮社 2013年10月刊
(写真は新潮文庫、2016年7月刊)

●人生を変えた一冊、思い入れの深い一冊、最近感動した本を紹介。320字以内。詳細は投稿規定が「友」ウェブサイトにて！

卓話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主を選んで要約、掲載しています。

ペットを介した感染症

京都府中丹西保健所 所長 糸井 利幸

最近、犬、猫の飼育場所が屋外から屋内に移り、人との直接的な接触が増えています。動物との生活には癒やし効果がありますが、まれに動物を介した感染症、人獣共通感染症が起こります。

多くの哺乳動物の口腔内にいる常在菌によつて起こる疾患がパストレラ症です。75割以上の犬や猫の口腔内に存在し、猫の爪にも20〜25割で確認されています。かまれり、引つかれたりすると局所の感染だけでなく、呼吸器疾患、敗血症、髄膜炎などで死に至った例や犬と接触した母親が感

染し、胎児が死亡した例も報告されています。

ウルセランス菌感染症も犬、猫などから感染し、呼吸困難となり死亡した例が報告されています。この菌に感染したペットは、くしゃみ、鼻水、目やに、皮膚疾患などの症状とともに、元気がなくなります。このような症状を認めたら、早めに獣医師の診察を受けましょう。

猫ひっかき病では、菌を保有している猫にかまれたり、引つかれると傷口感染を起こし、痛みを伴うリンパ節の腫れ、微熱、倦怠感が持続します。大半は軽症で自然治癒しますが、重症になると肝障害、肺炎、脳炎などを起こします。

鳥類から人に感染するオウム病はインフルエンザと似た症状ですが、治療が遅れると気管支炎や肺炎を起こします。鳥類との過度に密接な接触を避け、飼育ケージの清掃時にはマスクを着用しましょう。

どの病原体も、高齢者、乳幼児など免疫力が低下している人は人獣共通感染症を起こす危険性が高く、動物と触れ合った後は手を洗うことが重要です。まれに胎児にも影響を及ぼすため、特に妊婦は、ペットとの過度な接触は避けたほうが無難です。

(第2650地区・京都府・福知山西南RCにて)

私の一冊

文系人間のための「AI」論

佐賀南RC 古川 尋美

「AI（人工知能）」のある未来を哲学的立場から考察」の説明文とタイトルに引かれ、手にしました。早稲田大学文化構想学部教授の著者は、テクノロジー哲学の講義で、人気SFアニメや漫画などをテキストに、AIやサイボーグ（人間と機械の融合体）について学生と共に考えているとのこと。

AIの発達は目覚ましく、現在も碁や将棋の対局、感情を持つロボットの開発、会社経営や先端医療への活用など、既に人間の仕事を奪いつつあるように見えます。将来はハイパーAIが出現、人間の能力を超える特異点（シンギュラリティ）に達すると、人間の脳はAIと融合、サイボーグ化することが必至とのこと。AIの未来を通して人間の進むべき道について分かりやすく解説する、興味深い好著だと思います。(第2740地区 佐賀県)



高橋透 著
小学館（小学館新書）
2017年4月刊



全国「西南」RCの皆さんに復興中の熊本城を見ていただきました

まだまだ復興道半ばですが、熊本の元気を肌で感じていただけたようで、うれしく思いました。話は変わりますが、熊本県北部に位置する山鹿市の伝統工芸品に「山鹿灯笼」があります。室町時代に紙製の金灯笼に姿を変え、その後、金灯笼を頭に掲げた女性が舞い踊る「山鹿灯笼踊り」が誕生しました。懇親会では、この山鹿灯笼踊りを披露していただきました。皆さまはこの踊りに魅入っておられました。

交流会の名札には職業分類を記載しました。同じ業種で話が弾み、情報交換ができ、友情の輪が広がったと思います。この集いを熊本で開催できたことを、熊本西南RC会員一同、感謝しています。とても有意義な時間を過ごすことができました。

(第2720地区 熊本県 不動産開発)

私の心象風景

京都西南 中井 昌美

「光陰矢の如し」と申しますが、私が渡辺貞一画伯(1917〜81)の作品と出合ってから、いつしか45年の歳月が経過しました。

大阪の西美会倶楽部での渡辺貞一展を訪ね作品に感動して、3点を購入したのが渡辺コレクションの始まりでした。以後、多くの人々の協力もあり、紆余曲折の末にいつしか手元に162点の作品が集まりました。

さて、私がなぜこれほどまでに、渡辺氏の作品に魅了されたのか。それは美しい色彩と堅牢なマチエール(質感)に加え、卓越したデッサン力、強調と省略、全ての作品に流れる通俗的なセンチメンタリズムを排した詩情あふれるリリズムを感じるからです。また、ほとんどの作品は夜がテーマにもかかわらず、単なる夜景にとどまることなく夜の「しじま」が見事に表され、私にとって全てが期待と好奇心にかき立てられ、その魅力の虜になりました。以来、渡辺コレクションは私のライフワークとして、他では味わえない豊潤な人生を送ることができて私は幸せです。

唯一の心残りは、生前の渡辺画伯と会うことができなかったことです。しかし、美喜子夫人や長女ののぼらさん、そのほかの渡辺家の方々をはじめ多くのひととの素晴らしい出会いがありました。その中には、七戸RC会員の石井淳夫さんもいます。

石井さんと出会ったのは、私が年齢を重ね、渡辺コレクションを、今後は画伯ゆかりの地で活用してもらえればと、ふるさとである青森県の七戸町に全ての所蔵作品を寄贈すると決めたからのことでした。

石井さんは、七戸町立鷹山宇一記念美術館で理事を務めており、私のコレクションの受理に当たって大変な尽力をいただいた上、渡辺画伯の生誕100年を記念して昨年開催された特別展では、ロータリー関係をはじめさまざまなところに声を掛けてくださり、特別展を成功裏に運ぶことができました。

このたび、私が寄贈した作品の中から厳選した作品が、京都で展示されることになりました。この期間中に京都にお越しの際、私が魅了された作品をご覧いただけましたら幸いです。

(第2650地区 京都府 総合ビル管理)

「国画会90年」記念展 孤高の画家 渡辺貞一
10月13日〜11月11日。美術館「えき」KYOTO
(ジェイアール京都伊勢丹7F隣接)



渡辺画伯の故郷・青森で特別展を開催(2017年9月)



わがまちの味 和歌山 城下町の味

地区会議の時に出了たお弁当。徳川御三家紀州・和歌山城の満開の桜の下で昼食を、というイメージで創作されたのでしょうか。2段重のちらし寿司で、見た目の色合いも鮮やかで、上品な逸品です。春に散った桜を懐かしく感じながら味わいました……。

井手 良明（和歌山・和歌山城南RC）

際ロータリー（RI）の方向性がずれてきているようで、RIと各クラブの間に相当な開きがあると感じます。言い換えれば、ロータリーのステータスが失われてきたように思えてならないのです。さらに近頃は、職業奉仕委員会と青年奉仕委員会のそれぞれの責務を、社会奉仕委員会に統合する話も出てきており、次第に単なるボランティア組織になりつつあるのではないかと危惧しています。

ロータリーは心を磨くことを第一義とする団体であり、毎週の例会に出席することで、心を磨き続けることができると思っています。今、私に「ロータリークラブの最大の課題は何か」と問われたら、「ロータリーの心をつなぐ」とではないかと答えます。

私の職業分類は「農業」。日々、自ら育てる作物から命をいただく、この素晴らしい農業に取り組んでいることに感謝しています。最近のわが国の農業を取り巻く環境は、今後の貿易交渉で農産物の輸入量増加が予想され、維持存続が危うくなりました。しかし、今の農業は、昔の3K「きつい、危険、汚い」から新しい3K「かつこよく、感動があり、稼げる」になったともいわれます。ただ近い将来、担い手不足が深刻になり、危機的な状況になると思われます。

ロータリーの3Kを考えてみますと、「高齢化、高コスト化、クラブ運営の硬直化」。私はロータリークラブが元気であれば地域社会が元気になると思っています。今は農林水産業と同様の問題が起きているように思えます。

最近、藤井聡太棋士、大谷翔平選手など、若い方々の活躍は目覚ましいものがありますが、ロータリーも「ロータリーの目的」と「四つのテスト」を自ら日常生活で実践し、ロータリークラブの良き伝統と品格を時流に流されることなくつなぐため、若い世代とクラブ運営を見直し、誰でも活用できる独自の情報機器のツールを活用するなどして、魅力的なクラブにしていくなければなりません。今必要なこと、そのためにすべきことを考え実践し、若い人から選ばれるクラブになることが重要です。

私たちシニア世代は、若い人たちから、まだまだ頑張ろうという力強いパワーをもらいます。私もロータリークラブでさらに親睦を深め、学び、地域社会への奉仕に取り組みたいと思っており、ロータリーがさらに発展していくことを切に願っているところです。

ロータリアンの皆さまのいろいろなご意見をお聞かせいただけたら幸いです。

（第2650地区 福井県 農業）

「全国西南の集いIN熊本」を開催

熊本西南 中村 修

毎年恒例の「全国西南の集い」を、今年は熊本で5月12日に開催しました。この集いは全国に「西南」と名前が付くロータリークラブが集まって交流するもので、4年前に京都西南RCの提唱で始まりました。今回の参加クラブは岡山西南RC、熊本西南RC、京都西南RC、鹿児島西南RC、福知山西南RC、東京西南RC、広島西南RC、熊本西南RCの8クラブ、総勢130人での開催となりました。

2年前の熊本地震では、この集いに参加いただいた各西南RCから多額の義援金を頂き、熊本復興のためにさまざまな形で、ありがたく使わせていただきました。その一つが、熊本城の復興です。熊本市では、熊本城の天守閣（大天守）を2019年までに再建し、2036年までに城全体を地震前の状態に戻したい、との目標を掲げています。全体の復旧費用は600億円を超えるといわれています。

今回、参加いただいた皆さまを、その復興中の熊本城にご案内しました。「熊本地震のすごさが分かった」「怖かったでしょう」「一日でも早い復興を願っている」

皆さまから、さまざまな言葉を頂きました。

交流深まる

ヒマラヤンアカデミー

平塚西 成田 清

平塚西RCは2003年、ネパール・ヌワコット郡ヴィドウルという小さな村に「ヒマラヤンアカデミー」を建設。発端は1999年、米山学友のラジェシュ・プラダナング君が、当クラブで祖国の実情を熱く語ったことでした。山田雅孝会員が「われわれの基金を使って学校を建てたらどうか」と発言。この言葉で計画がスタートし、2000年5月、当時の伊藤延雄会長が現地訪問を提案。手を挙げた3人の会員のうちの一人が、私でした。入会して約3年、ロータリーのことは何も分からないまま、「ヒマラヤに行ける」というだけで一緒に歩いて行きました。

バンコク経由で、飛行機の乗客の3分の2はヨーロッパや日本からの登山客。空港を出ると、ラジェシュ君が待っていてくれました。同時に、十数人の子どもたちに取り囲まれて「マネー！マネー！」とせがまれ、あつけにとられました。夕方、カトマンズ市内の2つのロータリークラブを訪問。2番目に行ったパタン西RCの当時の会長は、初対面のわれわれを歓迎し、例会後の懇親会にも招いてくれました。何も知らないままネパールに来て、例会に突然訪れたわれわれを旧知の仲間のように迎え入れてくれた時、ロータリーの輪の大きさと、ロータリアン同士、同じ志で行動していることに驚きを感じました。



現地から送られてきた学校のテレビ取材映像を例会で紹介

翌日、現地に向け約80キロの道のりを出発しましたが、かつて日本のODAで造った道路はメンテナンスが行き届いておらず、あちこちに大きな穴が開き、約3時間半かけて昼頃着きました。現地ですぐ案内されたのが仮設の校舎で、中が2つに区切られ、十数人の生徒がここで授業を受けていました。次に案内された、村長や地区の有力者数人がいた部屋には電気がなく、窓は壁に穴が開いているだけ。昼間なのに薄暗い部屋でした。

ラジェシュ君の通訳で、村の実情がわれわれに伝えられ、ぜひ学校が欲しいと熱く語る彼らの様子を見て、私たちが何とかせねばと思うようになりました。村の有力者の一人が近くで牧場を営んでおり、「もし学校を建てるのなら土地を提供する」と、小高い所にある牧場まで案内されました。

それから3年後に完成したヒマラヤンアカデ

ミーの校舎は、平屋で8教室。3年後には教室が足りなくなり、総2階の16教室に増築しました。現在の生徒数は350人で、大学に進学した生徒が7人もいるとのこと。当初は授業料を払えない生徒が多く、クラブで運営費を送金していましたが、5年で打ち切り、今は自主運営されています。

昨年は、平塚市立神田中学校の生徒に描いてもらった絵手紙120枚を送ったところ、ヒマラヤンアカデミーから、同数の絵手紙が送られてきました。今後も継続して、この絵手紙の交換行事を行う予定です。

(第2780地区 神奈川県 不動産管理)

ロータリーの心を つなぐ

福井西 中村 敏雄

今年は明治150年。近代日本の幕開けに、私の住む福井県からは松平春嶽、橋本左内など、多くの偉人が活躍しました。当時の人たちが新国家の立ち上げに際して何を考え、どう行動したのか考えるのは大切なことと思います。

ロータリークラブも1905年、アメリカ・シカゴで誕生して以来、113年以上の歴史を経ています。また、日本のロータリーも、2020年10月には100周年の大きな節目を迎えます。

しかし、2016年規定審議会でクラブの自主性と柔軟性が強調され、職業奉仕と例会を重視する日本のロータリークラブの在り方と、国

ただ、この大地震により、子どもたちのその後の就学を阻害した最大の要因は、従来の貧困だけでなく、死亡や重篤な傷病による障害などの身体的被害であった。これは2015年の世界教育フォーラムで、もはや「万人のための教育」を阻害するのは貧困だけではなく、紛争や自然災害によるものだとする「仁川宣言」の1節に説得力を与えている。

なぜなら、基礎教育が無償となったにもかかわらず、本人が死亡した場合はもちろん、親を亡くしたり、けがをして障害を負ったことで学校へ行けない子どもたちが、この大地震後のネパールに多く現れたからである。

つまり、学校を増やしても、通学路を直しても、学用品を与えても、就学できない子どもたちが増えたのである。故に、自然災害の多発する途上国において、誰一人取り残されずに基本



クラブが支援する現地の学校での一コマ

的な教育の機会を与えるには、死なない、障害を負わない、緊急時には周囲と助け合うという「防災教育」が求められているのである。

今回、私は防災教育が子どもたちやコミュニティのレジリエンス（強靱性）を高めた事例を、ロータリーの教育援助活動を基に実証研究し、国際開発に携わる研究者の間で発表、その成果を共有することができた。このように、ロータリーの奉仕活動は、学術的視座からも事例研究を得る潜在能力が高いと思われる。

（第2820地区 茨城県 ホテル）

心に残っている言葉

前橋東 馬場 誠

今年6月2日、前橋市内で地区会員増強セミナーが開催されました。会員増強の現状、増強事例の発表、基調講演、ガバナー補佐報告と進みました。

基調講演は「アンケートにてわかった日本の課題」と題し、第2750地区パストガバナーの水野功氏が話をされました。会員の高齢化、会員維持、情報をクラブ内外にどのように発信するか、といった課題を挙げられていました。

水野氏がロータリーへの入会の際に先輩から言われ、今でもずっと心に残っているという言葉を紹介されました。

「①経営者であれば自分の時間をコントロールせよ ②ロータリーの役職は1年だから、返事は『イエス』か『はい』だ ③メーカーアップ

があるのだから、100%出席せよ」。そして、「私はこの言葉を忠実に守ってきた」と言われました。この言葉が私の心に残っています。

回光返照。自分自身を見失わない、自己を律することの大切さを教えられたように思います。自戒も込め、自己を律することをないがしろにすれば何が起こりうるか。昨今、その事例に事欠かないのではないだろうか。

さらに水野氏の次の言葉も心に残っています。「誰が最初に一步を踏み出すか」。私は、ああでもない、こうでもない、と躊躇してしまします。禅僧の澤木興道老師は、よくこうおっしゃったそうです。

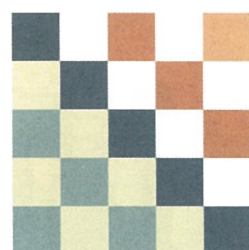
「鳴こかい、飛ほかい、鳴こかい、飛ほかい、鳴かずに、ひつ飛べ!! ひつ飛べば大きな生命に生かされるんや。大死一番、ぎぎきたい、あれこれ躊躇する、これが一番あかん」と。氏の言葉に、この老師の言葉を思い出しました。

水野氏が外国のロータリーの会合に出た時のエピソードも、印象深いものでした。一人の青年が近寄ってきて、こう言ったそうです。「私は元米山奨学生です。日本のことを忘れることができません。お世話になったクラブには、一生の恩を感じています」。

また、お願いとして、「寄付は第2の奉仕、会員の浄財が未来への大きなプレゼントであることへの理解の促進を」と話され、最後に、「あるクラブは、昨年は会員数40人でした。現在は120人、3倍です。皆さん、リーダーシップを発揮してアクションを」と結ばれました。

（第2840地区 群馬県 不動産賃貸管理）

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

スリランカ建国70周年 記念式典に参加して

甲府シティ 河村二四夫

2月4日、東京都港区麻布の小谷ホールで、スリランカ建国70周年記念式典が開催され、500人が参加しました。昨年5月に開催した当クラブの創立25周年記念例会でのご縁で、第2620地区米山記念奨学生学友会会長のラシタ・アサンカ・エリヤーワさん、甲府シティロータリークラブ（RC）から窪田浩之会員と私が招待され、出席してきました。

多民族国家スリランカを反映して、式典あいさつは①シンハラ語、②タミル語、③ヒンディー語、④アラビア語、⑤英語、⑥日本語と多言語で、司会者が次々にマイクを交代し、あいさつしていました。冒頭、内戦の戦没者への黙とうに続き、昨年例会で卓話していただいたダンミカ・

ガンガーナート・ディサーナーヤカ駐日スリランカ大使のあいさつなどがあり、催しは粛々と進められました。日本も国際化が急速に進み、今後、式典などで複数言語のあいさつが必要となることが予想されます。

スリランカでは、不幸な内戦が30年間も続いたため、建国記念日には全国民が平和を祈り、心穏やかに過ごします。この日は酒類などは禁止だそうです。式典の最後に、スリランカの人気女性シンガーの美声を聴き、閉式となりました。

東洋の真珠、「国連加盟国で最も日本を支持する国」ともいわれるスリランカのために、建国70周年のお祝いとさらなる平和、経済の発展を祈りたいと思います。

（第2620地区 山梨県 自動車販売・整備）



多民族国家スリランカの建国70周年記念を共に祝いました

ロータリーの 学術的貢献

下館 新井 和雄

6月2日、第19回国際開発学会春季大会が、東京・広尾の聖心女子大学で開催され、学会員として発表の機会を得た。聖心女子大学といえば、ロータリー財団の奨学生の先駆けとしてジョージタウン大学に留学された緒方貞子さんの母校である。

緒方さんについては、国連難民高等弁務官や人間の安全保障委員会議長、国際協力機構理事長を歴任されるなど、国際社会への多大な貢献は論をまたないが、巨星を誕生させた学びやで、私が所属する下館RCの奉仕活動を研究論文にして発表する機会を得たことに感懷を覚える。

下館RCの、ネパールでの教育援助活動は15年目に入り、延べ56人の会員と家族が現地を訪れ、貧しい子どもたちの教育に手を差し伸べてきた。今日、ネパールでは世界中の多くのロータリークラブが人道支援を実践しており、教育分野においても、ユネスコが中心となって目指す「万人のための教育」（2015年までに世界中の全ての人が読み書き・計算ができるようになる取り組み）の達成に近づいたかに見えた。しかし、2015年に発生したM7.8のネパール大地震により、学校をはじめ多くの公的施設や個人の住居が損壊し、子どもたちやその家族は困難な状況に陥った。国際機関、あるいは2国間、そして市民社会団体やNGOによる支援を受け、教育環境は逐日、復旧している。



大阪堂島ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
OSAKA DOJIMA



前列左から城ヶ辻さん、金沢さん、脇田さんと並んだ3代の会長。後ろは奉仕活動の中心、切原毅さんと村川幸作さん

理事会で決まったことに
賛意を表する先輩の潔さ

会員増強委員会が、「毎週月曜日の昼に開かれている例会を隔週にしてくれるなら、会員を50人まで増やす」と提言したのを受けて、脇田執行部は「2018年の1月を期して、例会は第1、第3月曜の月2回とする」と提案、10月の総会に諮ったのだ。侃侃諤諤の議論となった。

「変えなくてはいけないロータリー、変えてはいけないロータリー」と言いつつ、「こんなことやっているのかな」と脇田会長自身

身は悩んだ末に、反対票を投じたようだ。結果は、1票差で執行部案が認められた。

城ヶ辻さんは振り返る。

「あの時、重鎮の藤本さんが挙手をして、理事会が提案されたことについては賛意を表すると発言されたことが大きかったと思います。私自身は反対票を投じたのですが……」

ともかくも、今年1月から大阪堂島RCの例会は月2回となった。

入会して間がない弁護士の高田修一さん、税理士の三反田純一郎さん、2人の若手も、「ロータリークラブのことは、先輩や知人から聞いて知っていた。月2回なら、本業が忙しい



時でも出られる。会う頻度が少ないのでコミュニケーション不足の感はあるが、おいおい溶け込めるでしょう」と歓迎している。

脇田会長から金沢伸吉現会長に引き継がれる時点で、会員は16人増えて41人になっていた。目標の50人は目前である。

めでたし、めでたし……。ということで、本稿はここで終わりとするつもりだったが、もう少し駄文を連ねる。



高田修一さん(左)と三反田純一郎さん

それにしてもこの夏は暑かった。打ち水をすれば多少は涼しくなるので夕方、ある日の夕刻、庭に出て水をまき始めたのだが、冷酒をかなり飲んでいたのでバランスを崩して転倒、左肩の骨を折ってしまったのだ。だから、8月5日の大阪行きは退院後3日目だった。

三角巾で腕を吊った姿で、久しぶりに中之島周辺を歩いた。うん、高層ビルがたくさん建ったけれど、御堂筋も四ツ橋筋も40年前と変わらず一方通行だ。でも、ミナミやキタに行っても昔なじみの店はもうないだろうなあ。

幕末、緒方洪庵が淀屋橋の近くに開いていた蘭学塾「適塾」が今は一般公開されている。そこをのぞいてからホテルに行くと、大阪堂島RCの三代の会長さんほかのメンバーが待ち構えていた。

そして、大阪らしいところへ……といって、生野区新今里のふぐ料理店「あじ平」に案内された。えーっ、夏にふぐ？ なんて言ってはいけない。大いに活気のある店だった。

そこで、この一年余りのクラブの変貌ぶりについて、みなさんが縦横無尽、意気高らかに語ってくれたのである。こちら、入院中は控えていた酒を勧められるままに飲んでしまった。愉快な一夜だった。



池田史生(いけべ・ふみお)元週刊朝日記者。現在はフリーランスの記者。佐藤 敬(さとう・たかし)写真家。人物の撮影を軸に活動。



大阪堂島ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
OSAKA DOJIMA

(左)江戸時代にこの地が米取引の中心地だったことを示す石碑。(右)大阪市中央公会堂



1年余り前、城ヶ辻保さんが会長の時、30周年の記念式典をしたのを機会に何人かの創立会員が退会、会員は25人に減ってしまった。ピーク時には60人を超えていたというのに、第2660地区5組に所属する13クラブの中で最小のクラブとなり、合併話が出るほどになった。

さて、その大阪堂島RCの現在である。

切った大見えが現実に
藤本さんに、100年生きてきて言えることは？ と問うと、
「人生は『つき』だと思う。私は『つき』に恵まれていたということ。もちろん、時には無謀ともいえる決断をして『運』を切り開いてきているのですが……」
と、楽しそうに笑う。

そんな時、次の2017—18年度の会長になった脇田克廣さんは、あろうことか片山勉ガバナ（当時）の前で、「会員増強に励み、50人まで増やします」と大見えを切っていました。



クラブがまとめた堂島の歴史本

親睦活動委員会が企画のクリスマス会は毎年、家族会の形で行ってきたが、昨年はいろいろな事情で、親と離れて暮らす児童養護施設の小学生18人と付き添いの職員5人を招いた。

ドRCとの二十余年にわたる交流など、親睦活動の盛んなクラブだったが、ここはひとつ、奉仕の原点に立ち返って活動しよう、と方向転換を図った。

楽しかった「みんなで歌えて楽しかったが、手話は難しかった」「ごちそう、おなががばくはつしそうなくらい食べました」「オムライスは今まで食べたうちでいちばんおいしかった」「ドラえもんの勉強用の本、ありがとうございました」といったお礼状が寄せられているが、その会では、子どもたちからのお礼の歌を聞いて、招いた方のクラブ側に、胸を詰ませ涙ぐむ人が多かったという。



緒方洪庵の適塾など、近辺には江戸以降の史跡も点在している

「汗をかける人は汗を、それができない人は財布を出しましう」が合言葉だ。

そんな奉仕活動を通じて、若い会員が新しい会員を誘う好循環が生まれ、会員が徐々に増えだした。





大阪堂島ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
OSAKA DOJIMA



堂島の橋から日本銀行方面を眺める

ウンプラザホテル大阪で行われる例会の前、約束の時刻に藤本さんは姿を現した。猛暑というのに、きちんとネクタイを締めた背広姿である。ステッキこそ手にしているが、背筋はピンと伸びている。つい2カ月ほど前、白寿記念のゴルフ大会に参加なさったそうだが、なるほどお元氣だ。口跡も確かで、闊達な話しぶり。

こちらが40年余り前、堂島川と土佐堀に挟まれた中之島の朝日新聞大阪本社に通っていたことがあると話す、その10年ほど前、ロンドンへ

東京5万ポンドライブをしたことで知られる辻豊記者は、大阪外国語学校（現・大阪大学外国語学部）の英語科の同級生だった、と即座に返ってくる。「司馬遼太郎さんも同窓だけれど、えっ、1923年生まれ？ 先輩だと思っていたけれど、私のほうが上か……」

ご自身は、1919（大正8）年、大阪府北河内郡九個荘村（現・寝屋川市）の生まれ。小学校時代の恩師に「英語をしつかり勉強しろ」と勧められたのがきっかけで、大阪外語に進み、1940年に卒業、住友電工に就職した。翌41年、召集されて陸軍の兵となり、朝鮮の京城で龍山歩兵部隊配属となった、といった思い出を滑らかに話される。

藤本さんは1987年、住友系の鋼材販売会社・三沢興産の会長時代に『僕と軍隊・奇跡の生還（満州脱出記）』という回顧録を出している。それによると、1年後、ハル



藤本眞一郎さん

ビンのロシア語教育隊に派遣され、白系ロシアの元貴族などに付いて1年近く猛勉強、ロシア語通訳となった。1943年、龍山の原隊に戻ったが、大半の戦友はビルマ方面に出勤していた。仮に皆と一緒だったら、どうなっていたか。

44年、満州国の首都・新京の特殊情報研究部に新京の特殊情報研究部・新京の特殊情報研究部

究班に移り、ソ連軍の暗号情報を解読する仕事に携わった。普通の兵隊よりかなり恵まれたサラリーマンのような生活だったとか。45年の夏、ポツダム宣言の内容をキャッチ、広島に新型爆弾が落とされたという情報も得たりする中、8月8日、今度は米軍の暗号解読研究のため、大連に出張となった。その翌日、ソ連軍がソ満国境を越えて進撃してきた。新京にいたままだったら、どうなっていたか。

8月15日の玉音放送を聞いた1週間後、ソ連軍が進駐してきて、大連湾に面した村での捕虜収容所生活が始まった。ロシア語のできる藤本さんは、調達という名の略奪に行くソ連兵に同行させられたりした。断腸



100歳にして趣味はゴルフ



の思いだった。

9月15日、装備を冬季用にして移動する支度をせよとの指令が出た。内地送還かと喜ぶ兵士たちもいた

が、これはシベリア送りかもしれないと察した藤本さんは、なじみの薄かった収容所の部隊から脱走、かねてよしみを通じておいた満州人漁師に船を出してもらって大連に逃げた。そのまま部隊に残っていたら、どうなっていたらうか。



「白寿の会」にはニュージーランドからもお祝いの来賓が

大連では、住友銀行の支店で世話になった。年末、内地に向かう密航船に潜り込むことができた。46年の元日に大連を発したが、エンジンのない風任せの帆船だったから、日本人180人がすし詰めの小船の航海は悲惨を極めた。嵐に遭って帆柱が折れ、舵も壊れ、2月1日、済州島の海岸近くで座礁した。吹雪の中、朝鮮の若い人たちに救出された。まさに九死に一生を得た末、米軍の配慮もあって、大連を出てから54日目の2月23日に博多に帰還することができた。

藤本さんの回想記は、達意の文章で詳細につづられている。73年後の今、細かに紹介したいところだが、こまめとする。

例会を月2回にする決断 100歳の長老会員が理解示す

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

もしもあのとき、そこに残っていたら
どうなっていたか

大阪堂島ロータリークラブ(RC)には、
1987年の創立以来31年、例会を一度も欠席し
たことがない100歳になる会員がいる、と耳に

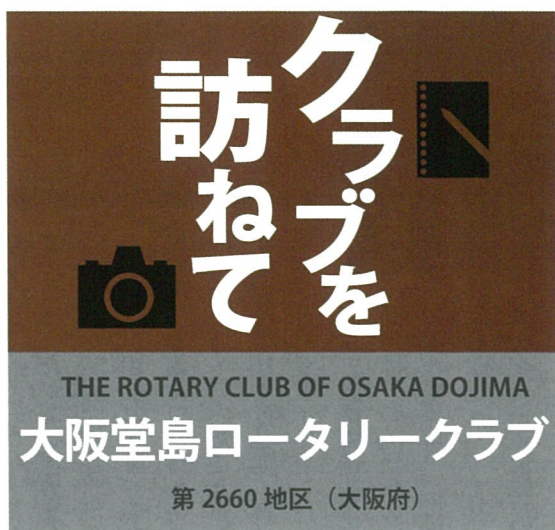
した。藤本眞一郎
さんという方であ
る。

当方の遠縁に
も、間もなく
111歳になる女
性がいる。今はさ
すがに弱ってし
まったが、彼女も
100歳になる
前、パスポートを
取り直し、濟州島
などへの船旅に出
る元気さだった。

彼女と藤本さんとを比べてみたいという個人的な
興味もあって、ぜひともお目にかかりたいと希望
した。

それにしても、この夏は暑かったなあ。

第100回全国高等学校野球選手権記念大会が
甲子園で始まったばかりの8月6日、ANAクラ



日々変わりゆく大阪の街を背景に



福島県の会津坂下町にある幼稚園の設計です。会津坂下では、小学校や幼稚園の統合整備事業が行われることになり、幼稚園を木造平屋建てとすることが決まったのです。

まず、材料を、どの段階で、誰に発注すれば幼稚園全体に必要な木材が入手できるのかを検討しました。材木店、工務店、森林組合と役場が一緒になって検討。鉄筋コンクリートなら、発注書一枚でさつと答えが出てきますが、木造の場合はそこから始めないと駄目なのです。皆で相談しながら、地域材の調達方法を考える。でも、一回経験すれば次回からは楽になります。とにかく工事が始まる前に、設計図通りに実現できるよう材料を確保しようということです。

遊戯室には、丸太の柱が使われました。他にも、地域の材料をできるだけ使って会津の子どもたちの五感を刺激し、伸び伸びと遊べるような工夫が試みられています。竣工後には、子どもたちには親が作ったぬか袋を持たせて、それで床磨きをするようになりました。みんな床にごろごろと寝転んで、遊び感覚なのでしょう、寝転びながらぬか袋で床を磨きます。

掃除を、子どもたち自身がする。鉄筋コンクリートの幼稚園舎だったら、考えられないようなことがこの幼稚園では起きています。このように、木造ということは、いろいろな意味で、使う人たちに与える影響は大きいものです。

先年、ご当地の十和田市に、住宅用の木製のサッシを生産する会社がありました。サッシはアルミというイメージがあるかもしれませんが、実はヨーロッパなどでは、木製のサッシはそんなに珍しいものではありません。

アルミと比較すると、木材の熱伝導率は1200分の1と低く、実は熱を通しにくいのです。窓枠を通じた熱交換が起きにくいので、結露が発生しなくなります。熱が伝わる熱貫流率の観点からは、木製サッシはアルミサッシに比べ20〜30%少ないので、冷暖房費が節約できることになります。

ただ、国内での生産規模が小さいので、アルミに比べるとどうしても、値段としては高くなってしまう、という傾向がありました。けれども、秋田県産のスギの間伐材などを使い、大量生産すれば、コストも低くなります。この会社の工場も木造です。八甲田山を控えて、田園風景の中におさまる、夜も灯りがもれてくる工場は、素晴らしい景観です。このように、各地で木材や木の製品を使おうという試みは、広がっています。

さて、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場について、最初に決定した案は白紙撤回となり、次の案について、国が公募することになりました。そして、木造建築を推進しているわれわれとしては、競技場の屋根が木造でできるかどうか挑戦してみようと、チームで設計を試みました。すると、構造的には、木造でも可能であることが分かりました。

そこで、東京オリンピック・パラリンピック担当大臣に交渉に行き、頭から「燃えやすい」「地震に弱い」ということで度外視にせず、できれば、公募要項には木造も可能ということを入れてほしいと要請しました。また、応募が予想される大手ゼネコンに面会に行き、ぜひ木造の屋根にもチャレンジしてほしい、とお願いに行きました。

結果、鉄骨と木造を合わせた屋根の建築案が採用されました。たぶん、出来上がったものを下から眺めれば、木造の良さが出てくる、と想像しています。公共建築も木造が可能だという意識が広まるのではないかと期待しています。

木は、水と太陽の下に光合成を行い、空気中の炭酸ガスを吸収する生物です。それを資源として扱えば、木材となります。木材を活用すれば、地球の資源保存にもなります。

皆さま、建物利用者の立場から、公共の建物には木造を推進してください。全てが木造でなくとも、新国立競技場のように鋼材や鉄筋コンクリートとの組み合わせ方式でも、一部には地域の木材と地元の人材を駆使して造っていただけたらと思います。この方式を日本中で展開していけば、総じて木造建築という、日本が誇る建築技術も復活し守っていくことができます。

一方で私たち建築士会は、文化庁、文部科学省の、「伝統建築工場の技・木造建造物を受け継ぐための伝統技術」と題する、ユネスコ無形文化遺産への提案を支持しています。

日本の伝統的な木の文化そのものをユネスコの世界無形文化遺産に認定してもらう運動です。木を使った建築技術や、専門職人の学校があることなども総合的に含めての認定を狙っています。地球規模で考えて、現地に合わせて行動せよ、いわゆる「Think globally, act locally」ですね。または「Let's action, make a difference」という形です。どうぞ、今後も木の文化を高めていくことをロータリーでも、推進していただければと思います。

の2カ所に住まいがある、という形を役所は認めることにしました。人道的には素晴らしい施策ですが、役所としては課題が残ります。

しかし、十津川村のように、地方自治体の責任・判断でこのような点を処理していくと、可能性が広がり、新しいことがいろいろでき、生きた地域のまちづくりになると思います。明文化されたルールと、習慣化している慣習法とを、うまく使い分けながら進めていくというのも1つの方法であると思います。

「高森のいえ」にはいろいろな特徴があります。その一つに、山古志で学んだ屋根付き廊下・雁木^{がんぎ}があります。雁木は豪雪地帯の町並みづくりの手法の一つで、商店街に連続してひさしを長く張り出し、歩道とした構造物のことです。隣へ行き来するには棟に雁木があると、雨が降っても傘を差さずに済みます。

これを高森に応用しました。ベンチも設置し、ちよつと一休みして庭を眺めながら井戸端会議もできます。中庭には自由に使える畑や共有スペースもあるので、元氣のある人は野菜を育てたりして、コミュニケーションも取りやすく、見守りもしやすいのです。

一つ一つの部屋は広いとは言えませんが、ふすまの開閉により空間を変えられる仕立てにしました。手すりを付けるか否かなどの個人的な対応は、ケアマネジャーと建築士が協力して動くことで良い仕事になっていきます。緑側のある生活です。時には皆で一緒に食事をしたり、若者と共にリハビリを行うなど、新しい村づくりが十津川村で進められています。

木造建築の勧め

私は地球上で、日本ほど木材資源に恵まれている国はないと思っています。日本の国の3分の2が森林だといわれています。こういう恵まれた国柄だということを、利用しないという手はありません。また、地域によって使用する樹種は変わりますが、もともと日本人には、建築、家具、什器^{じゅうき}に至るまで木材を使うという文化が、生活の中に根付いています。

2010年、「公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律」が公布・施行されました。2階建て、3階建てまでは原則木造で造り、鉄筋コンクリートで造る場合には内装に木を使うという内容です。構造から全部造るのは「木造化」、内装レベルの方は「木質化」といいます。この法律の衆参両院での審議は、与党も野党も反対する人はゼロで通りました。しかし、残念ながら木造化は少しずつしか進んでいません。

なぜか。鉄筋コンクリートで建築する建物の発注ならば、すぐに業者を決めて、発注量を決めて……ということが進みますが、木造にしようとなると、どれほどの予算で、どんな建築物を立案して、誰に発注しているのか、発注先が分からないのです。設計者は設計者で、材木を使った設計の仕方となると、通常のように右から左には造ることができない。工事を行う人たちも同様です。

そもそも、どこからどういう材料を調達すればよいのか、どういう職人がいるのかも分からない。材料調達の面でも、公共建築物を建てるほどの、ある一定のまとまった木材量や材種をそろえることは困難です。発注者も、設計者も、工事者も、材料供給者も木造となると、慣れないものですから、いわば手足がすぐんで動けなくなる、という状態になってしまっています。

それでも、好奇心旺盛で意欲的な人がどの分野にも現れて、少しずつ木造建築物は多くなっています。林野庁では支援委員会をつくり、手を挙げた人のところへ専門家を派遣しています。

最初に委員会のメンバーが支援に行ったのは、



■(公社) 日本建築士会連合会会長

三井所清典

1939年 佐賀県生まれ。63年 東京大学工学部建築学科卒業。68年 同大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了、芝浦工業大学建築学科専任講師。82年 同大学教授。2006年 同大学名誉教授。1970年 (株) アルセッド建築研究所設立、代表取締役所長。2001～13年 NPO 法人木の建築フォーラム代表理事。07～13年 東京建築士会会長。10年 (公社) 日本建築士会連合会副会長。12年 同会会長、現在に至る。石川恒夫監修・日本バウビオロギー研究会編『日本で実践するバウビオロギー―健やかな住まいづくりのために―』2006年など著書多数。日本建築学会賞、木の建築賞、地域住宅計画賞など受賞多数。

平均積雪量が3メートルになるという豪雪地帯です。雪国で家造りをする経験を踏まえて、私は山古志の復興に取り組みました。

実は、初めて私たちが震災後の復興住宅造りに取り組んだのは、山古志でした。地元の大工さんたちと話し合いをしながら、プランを固めていきました。個々の復興住宅の設計担当は地元の建築士で、復興公営住宅の担当は私の事務所の若手建築士です。そして山古志や長岡の役場の人にも積極的に入ってもらい、ワークショップを進めていきました。

地域の資源とは、単に材料に限らず、人材も立派な資源です。人材は地域の力と言ってもいい。復興の時に人材を活かしていくシステムを取りますと、平常時の家造りの時も、復興時の工夫をベースに仕事ができますし、地元の大工さんたちがその後のメンテナンスに参加できる。あるいは、新築ではなく修理で手当てする家もあるわけですから、修理に関しても大工さんが、同じ技術で対応していき、大工という生業が継続可能であるという利点もあります。

山古志で仕事をしていると、孤島のような世界にしていることを実感できました。この空間に大工がいて、製材所があつて工務店があり、設計者、屋根屋、畳屋……職人集団が一緒になつて建物を造るわけですから、建物の維持管理ができるのが当然というのも分かり、結果、建物も長生きできるといことがつくづくと分かりました。

こんな体験を積みながら、考えていくうちに思ひ至ったのが、「生業の生態系の保全」という言葉です。植物や動物の生態系を大切にしましょう、ということとは現代社会ではほとんど常識になつて

います。しかし、人間の生業については、大切にしていこうという概念が抜けているのではないのでしょうか。事実それまで私たちは、技術が進化していくと古い技術は消えていくという感覚、淘汰され消えていくのは当然であるかのように思っていました。

しかし、一つの世界として存在する山古志で仕事をしていくと、ここで古い、伝統的な技術が途絶えてしまつては大変だ、都会から新技術を持った人が常によつて来るわけではないのだ、ということに気が付きました。そこで、「生業の生態系の保全」ということを考え、前からあつた家を修繕して住んでいる人と新しい家を建てて住む人、全員が、ずつと安心して住めるようにしていかななくてはならない、と強く思つたのです。

よく考えてみると、これは山古志だけの問題ではありません。日本各地、都会においても考えていかななくてはならないことに気が付きました。一般的な工業製品の日々の変化は当たり前のことですが、住宅のように短くて30年、長いと200年とか……そういう、長く生きていくものに対しては、それに対応する技術、生業が安易に変わつてもらつては困ります。

そういうことを考えていくと、長寿命の建築というものに対しては、一般的な工業製品とは異なつた考えで維持していかななくてはならない、造つていかななくてはならない、と自然に思えてくるのです。

公共建築を造る時も、大工さんや左官屋さんとか屋根屋さんとかの一部を、ゼネコンが連れてくる人たちではなく、地元で普段から仕事をしている人たちを雇用すると、「公共建築で仕事ができ

た」と言つてうれしくなり、誇らしくもなります。お連れ合いや職人仲間と一緒に喜んでくれ、息子さんたちも後を継ぐ、と言うようになる。

実際は、ゼネコンが雇用する人たちの賃金の方が安く、地元の人を雇用すると高くつくことが多いそうです。しかし、地元の公共建築物をゼネコンの人たちと地元の職人たちが一緒に造るという体験は「生業の生態系の保全」につながります。ですから私は、各地の自治体で仕事をする時には必ずこのことについて、首長さんに話をします。会津や熊本、新潟でも誰もが自分の住み慣れた場所ですらせる仕組みづくりが大切だと思われま

す。次は、奈良県の十津川村で行つた仕事です。ここは日本で一番大きな村と言われている、東京の23区を全部合わせたよりもちよつと広い単位の村です。ここには55の集落が谷間（たにあい）ごとに散在しています。

高齢化が進み、役場では介護事業や地域医療などについて、細かい対応がし切れなくなつてきていました。そこで、7カ所に施設を造ろうという計画が立てられました。今、1つ目が出来上がったところです。地元の木材を使つて建てた平屋造りの「高森のいえ」が完成しました。

住み慣れた地域で住民が生涯安心して暮らせるように、住民同士の助け合いやつながりをデザインして建てた小さな住宅団地です。約5200平方メートルの敷地に、単身者用3棟と2人世帯用1棟、子育て世帯用1棟の計5棟が並んでいます。デイサービスで利用する福祉施設も隣接しています。

ところが、役場から以前に住んでいた家を処分してこの施設に入るよう依頼すると、皆さんに嫌がられてしまうということで、自宅と高森のいえ



写真提供：十津川村 地元の木材を使って十津川大工が建てた平屋造りの「高森のいえ」。背景の斜面に点在する復興住宅も見える

活動を進めていくと、いろいろな可能性に気付くようになります。道路沿いに直売所も造ってみました。地元の人たちに、まず都内の大学の学園祭に出店してもらい、自分たちがつくったものを、大勢の人に販売することを体験してもらいました。その後、地元で直売所を造り、自分たちがつくったものを販売するようになりました。

南会津産のナメコでつくるナメコ汁などはすぐおいしいので、完売してしまいました。数年後、毎週直売所を出すなら、常設の調理場がないとだめですよ、と保健所から指導が入ったくらいで、学生たちと一緒に小さな調理場を設計しました。このように、単に植樹活動をするだけではなく、店舗まで造るといふ集落の事業は、2011年、東北で農林大臣賞を受賞した3つの活動のうちのひとつに選ばれました。この活動は、学生が代替わりしながら、継続して手伝っています。

熊本では、先の震災の後、復興住宅をどう造るかというテーマで話し合った結果、熊本の木材、畳、和紙を使い、地域の力を活かすということ、で、地元の業者、工務店、職人といった地域の力で造ることになりました。

まず、隙間風の入らない暖かい住居の提供を第一に考えました。これは脳卒中や肺炎、心臓疾患という疾病の面から見ると、寒い時期にこれらの病の発生率が高いからです。そして、木造でもそのまま住み続けられるような、耐震性の高い家。建築基準法で決められている耐震性が5割増しの耐震強度を、基準としました。

同時に、せっかく復興していくのですから、できるだけ地域の風景の中に馴染む形、材料、素材を使って、調和など美的な要素も大切にしようと

心掛けました。なるべく、私たちのプロジェクトにおいては、地震の前と変わらない熊本の風景が回復できるよう願って、頑張りました。

熊本の人たちからは、玄関から勝手口まで抜けられるような広い土間が欲しいという、要望がありました。これは子どもたちが遊んだり、近所の人と立ち話ができる空間を、ということです。

そして、続き間のある間取り。居間と食堂が一体になっているのはやはり便利です。それから水回り。勝手口の外で野菜を洗ったり手足を洗ったりできる水場があると便利、という提案もありました。ちよつときれいになってから、風呂場でシャワーを浴びることができるといいな、という意見です。土のいっぱい付いた野菜や泥まみれのまま家に入らないようにしたい。これらは熊本ではごく普通の生活行為だったのです。

とはいえ、まずは家を建てねばなりませんから、急ぐ必要もあります。できるだけコンパクトに建てつつも、今後増設できるように、柔軟性のある木造の家造りを手伝ってきました。

以上のような事柄について、熊本建築士会でコンセプトが練られ、仮設住宅に住んでいる人々一人ひとりと相談をしながら、復興住宅の提供を進めています。地域に根差し、地元の工務店が建設する、熊本の素材を活用した地震に強い木造の家を、「くまもと型」復興住宅として展開しています。

生業の生態系の保全

2004年の新潟・山古志での大きな地震も皆さまのご記憶にあると思います。山古志は、冬の

地域資源を活かした 復元力のあるまちづくり

地域の資源とは、単に材木とかイグサに限らず、人材も立派な資源です。私たちは植物や動物の生態系を大切にしていますが、私たち人間の生業（なりわい）については大切にしていこうという概念が抜けています。住宅のような長く生きていくものに対しては、それに対応する技術、生業を大切にしていかなければなりません。

(公社) 日本建築士会連合会会長 **三井所清典**
Kiyonori Miisho

都心でも 立派な森がつくられる日本

かねてより、私は木を活かした、木によるまちづくりに努めており、これからの日本はこれを推進せねばならないと思っております。

まず、突然ではありますが、明治神宮の森についてです。私がこの森について深く認識するようになったのは、明治神宮本殿の横の神楽殿の設計に携わった時からです。実は、神楽殿は地下2階の構造となっております。本殿の高さを超えてはならない不文律があるからです。

神宮の森の中には、現在、中央に本殿、東側に神楽殿が位置します。神楽殿の設計依頼を受けた時、私は森の木を切らないで建てる、という方針を支持しました。

明治神宮としては、森の木を一部切つて、そこに平屋の広い神楽殿を造る意向もあったようでした。一口に神楽殿といっても、神楽の舞を神に捧げながら祈る、800人の願主が入るような、大変広い造りが求められました。

神楽殿の場所には以前、便殿（休息のための御殿）がありましたが、空襲で焼失し、そこには建

物がなくて空き地になっていました。私はそこに何とか立体的に重なった施設を、森の木を切らないで神楽殿を造りましょう、という提案をしたわけです。

さて、明治神宮の森は一見、自然の森のように見えますが、社殿の創建は1920年ですから、2020年で100年です。100年たてば、立派な森になるのです。40年くらいたった樹林です。すでに立派な「森」として感じた経験があります。計画的に植樹すれば、日本という国ではある意味放置していても、都心でも立派な森づくりが可能です。ということですが。

福島県の南会津町で、温かい公営住宅を造るプロジェクトに、地元の大工さんと共に携わったことがあります。

冬は零下15〜20度になることもあるという寒冷地ですが、例年、5月の連休の頃になると一斉にウメ、モモ、サクラ、コブシ、レンギョウなどが咲き、びっくりするような風景が現れます。この風景の時季にお客さまを迎えられたらいいな、というコンセプトで「花のお宿の里づくり事業」を始めました。最初の年は自費で木の苗を買い、学生を連れて植樹しました。この里づくり事業に関わった学生の一人は、この事業を修士論文のテーマにもしました。

翌年は、この花いっぱい風の風景づくり事業のために、行政が予算を立ててくれました。この年は20本くらいのサクラを植えました。別の集落でもこの事業を進めよう、ということになりました。植樹場所や何の木をどこに植えるかについて、学生たち、地元の人たちと検討し、山の手入れなども行いながら、作業を進めました。

10月は経済と地域社会の発展月間 米山月間です

ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

地域資源を活かした復元力のあるまちづくり…… 4
（公社）日本建築士会連合会会長 三井所清典

シリーズ クラブを訪ねて…… 9
例会を月2回にする決断 100歳の長老会員が理解示す

大阪堂島RC・第2660地区

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

友愛の広場…… 13
スリランカ建国70周年記念式典に参加して

甲府シティ 河村二四夫

ロータリーの学術的貢献

心に残っている言葉

交流深まるヒマラヤンアカデミー

ロータリーの心をつなぐ

「全国西南の集いIN熊本」を開催

私の心象風景

◆わがまちの味

卓話の泉…… 18
ペットを介した感染症

ビーガンとは

私の一冊…… 18
佐賀南 古川尋美／真岡西 谷中洋子

ロータリー 俳壇

ロータリー 歌壇

ロータリー 柳壇

◆稲畑 汀子 選

◆佐佐木幸綱 選

◆てしま晩秋 選

ロータリー・アット・ワーク…… 22
米山梅吉翁の生涯を

米山学友、奨学生が熱演

ロータリー米山奨学生学友会（東京）

〈写真〉志布志・志布志みなと／鯖江／宇部西・

宇部フロンティア大学付属香川高校IAC／

伊丹／東京東江戸川／室蘭北／第2780地区／

八代東／柴田／村山・村山ローズ／

東京お茶の水／門司西



第28回慰霊の日に平和学習クリーン奉仕活動 沖縄分区分IAC

クラシックカー・ラリー

自転車ロードレースでポリオ撲滅

創立60周年記念事業でキッズテニス教室を開催

熱中症予防にクエン酸ドリンク

就活でも活躍を期待！ 金足農業高校生

社会奉仕から青少年奉仕へ

声 7月号の感想…… 29
表紙 横組み 「自分の力で生きられる幸せ」

表紙 横組み 「自分の力で生きられる幸せ」

縦組み 「運動会」

表紙題字 加藤光峰

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆本誌中のRCはロータリークラブ、Rは国際ロータリーの略です。

◆横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。

◆本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

◆表紙については横組み47ページを参照。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

管理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp



この数センチ、わずかと見るか、着実と見るか。

パラリンピック
砲丸投 F32 男子
4年間で2 cm 更新

オリンピック
走高跳 女子
8年間で1 cm 更新

オリンピック
砲丸投 男子
28年間で5 cm 更新

オリンピック
棒高跳 男子
4年間で6 cm 更新

オリンピック
走高跳 男子
8年間で1 cm 更新

パラリンピック
走幅跳 T12 男子
4年間で6 cm 更新

パラリンピック
三段跳 T12 男子
4年間で7 cm 更新

オリンピック
三段跳 女子
12年間で6 cm 更新

パラリンピック
走高跳 T46 男子
4年間で1 cm 更新

パラリンピック
走高跳 T44 男子
8年間で8 cm 更新

DNPは大きな革新と見ます。

上に描かれた線分は、オリンピック、パラリンピック記録(陸上競技)の更新距離を実寸で表したものです。そのほとんどがわずか数センチ。しかし私たちDNPは、ここに「革新」を見ます。挑戦し続け、革新を起こすことでしか、新しい記録は出せないからです。技術も同じです。世界を驚かせるような革新は、一步一步着実に研究を進める中でしか生まれません。DNPは新しい価値を世の中に提供するために、日々、研究を続けます。それはやがて、今日までの枠を超える革新を生み、未来のあたりまえをつくりだす。

そう信じて、DNPはもう、全速力の助走を始めています。
東京2020オリンピック・パラリンピックへ。その先へ。

未来のあたりまえをつくる。



DNP
大日本印刷



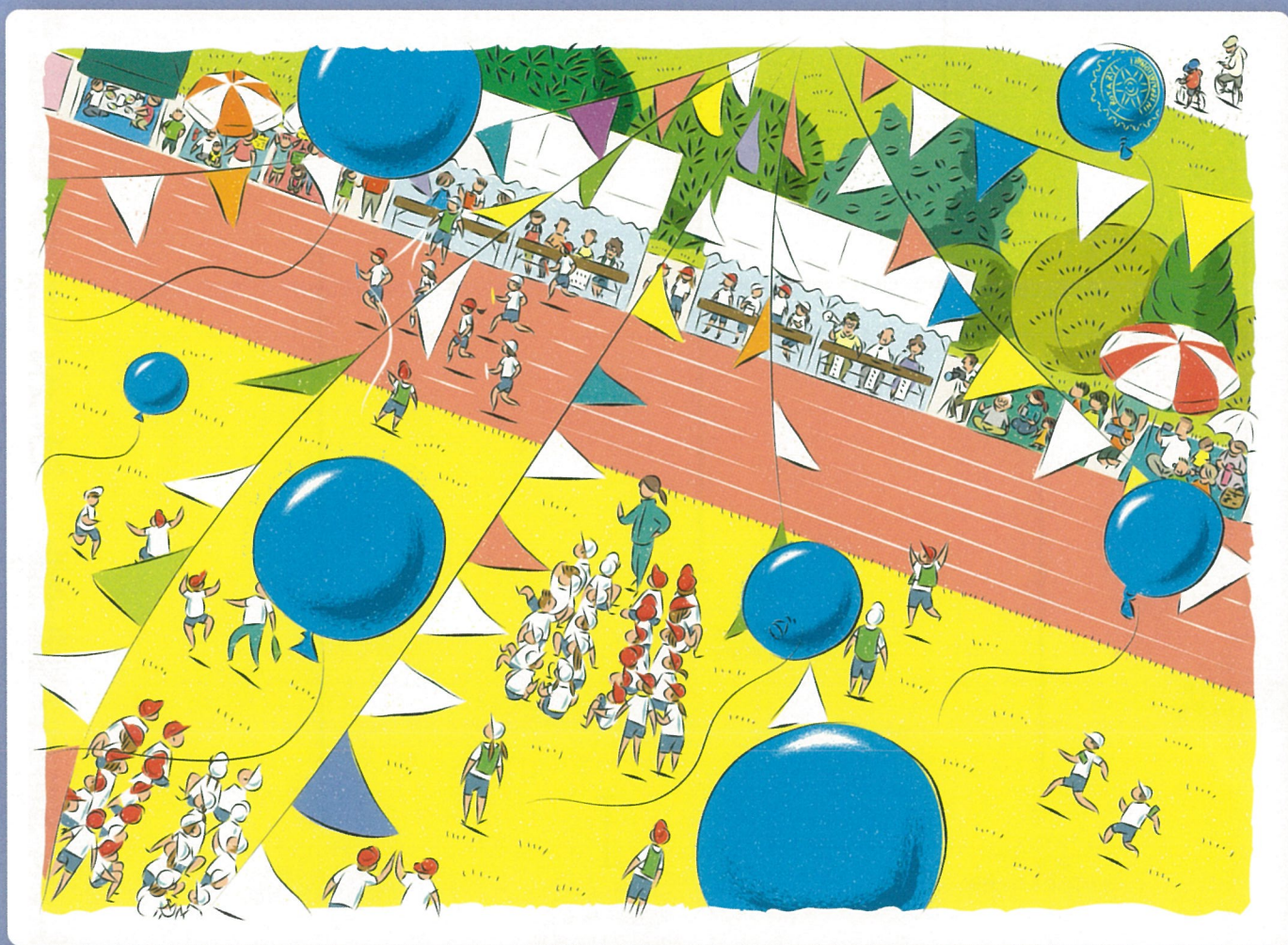
東京2020オフィシャルパートナー(印刷サービス)

ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

ロータリーの友

10

2018
OCTOBER
VOL.66 NO.10



SPEECH

地域資源を活かした
復元力のあるまちづくり

三井所 清典

クラブを訪ねて
大阪堂島ロータリークラブ

Rotary

